

SONY

CATALYST EDIT™



ユーザー マニュアル

改訂日 2016年4月13日

XDCAM, XDCAM EX, XAVC, XAVC S, NXCAM, SxS and Professional Disc are trademarks of Sony Corporation.

Avid and DNxHD are trademarks or registered trademarks of Avid Technology, Inc. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

All other trademarks or registered trademarks are the property of their respective owners in the United States and other countries. 詳しくは、<http://www.sonycreativesoftware.com/licensenotices>

Sony Corporation may have patents, patent applications, trademarks, copyrights, or other intellectual property rights covering subject matter in this document. Except as expressly provided in any written license agreement from Sony Corporation, the furnishing of this document does not give you any license to these patents, trademarks, copyrights, or other intellectual property.

Sony Creative Software Inc.

8215 Greenway Blvd.

Suite 400

Middleton, WI 53562

USA

The information contained in this manual is subject to change without notice and does not represent a guarantee or commitment on behalf of Sony Creative Software Inc. in any way. All updates or additional information relating to the contents of this manual will be posted on the Sony Creative Software Inc. Web site, located at <http://www.sonycreativesoftware.com>. The software is provided to you under the terms of the End User License Agreement and Software Privacy Policy, and must be used and/or copied in accordance therewith. Copying or distributing the software except as expressly described in the End User License Agreement is strictly prohibited. No part of this manual may be reproduced or transmitted in any form or for any purpose without the express written consent of Sony Creative Software Inc.

Copyright © 2016. Sony Creative Software Inc.

Program Copyright © 2016. Sony Creative Software Inc. All rights reserved.

Notice to users

Disclaimers

Original images will change in appearance after performing image conversion with this product. Therefore, to prevent copyright infringement on copyrighted material, obtain the proper permissions from the copyright holder of the original images before conversion. IN NO EVENT SHALL SONY CORPORATION BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL OR SPECIAL DAMAGES, WHETHER BASED ON TORT, CONTRACT, OR OTHERWISE, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THIS MANUAL, THE SOFTWARE OR OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN OR THE USE THEREOF. This software may not be used for purposes other than those specified. Sony Corporation reserves the right to make any modification to this manual or the information contained herein at any time without notice.

Software copyrights

This manual or the software described herein, in whole or in part, may not be reproduced, translated or reduced to any machine-readable form without prior written approval from Sony Corporation. © 2016

Sony Corporation.

目次

目次	5
はじめに	7
[Catalyst Edit] ウィンドウ	7
プロジェクトの操作	9
プロジェクトの作成	9
プロジェクトを開く	9
プロジェクト メディアの再リンク	10
プロジェクトの保存	11
タイムライン インスペクタの使用	11
プロジェクトのレンダリング	14
プロジェクトのエクスポート	15
プロジェクトのエクスポート：サポートされている機能	16
メディアの検索	19
サポートしているビデオ形式	23
メディアの追加とクリップの作成	38
メディアの再生	41
ビデオのプレビュー	41
タイムライン上の移動	45
再生のインポイントとアウトポイントのマーキング	46
トラックの編集	47
トラックのプロジェクトへの追加	47
トラックの削除	48
トラックの移動	48
ピクチャインピクチャ エフェクトの作成	49
トラックコントロールの調整	54
トラック インスペクタの使用	57
タイムライン設定の調整	62
クリップの編集	63
編集ツール	63
クリップの選択とカーソルの配置	65
クリップの移動	66

クリップのトリミング	68
ストリーム編集 (L-J カットおよびロール)	71
クリップの分割	73
クリップのスリップ	73
クリップのトリミング	75
クリップの切り取り、コピー、貼り付け	79
クリップの削除	81
リップル編集	81
クリップのスナップ	82
フレームに合わせてクオンタイズ	83
マーカーの使用	84
ネスト化されたタイムライン	85
クリップ フェード	87
クリップのボリューム オートメーション	88
クリップのメディアの置換	91
編集操作の取り消しとやり直し	93
クリップ インспекタの使用	93
エフェクトの適用	99
ビデオ エフェクトの使用	99
ビデオ ジェネレータの使用	102
タイトル クリップの追加	102
単色クリップの追加	106
色のグラデーションのクリップの追加	108
ビデオ トランジションの使用	110
ピクチャインピクチャ エフェクトの作成	111
キーフレームを使用したビデオ パラメータのアニメーション作成	116
オーディオの操作	119
オーディオ ボリュームとパン	119
マルチチャンネル オーディオの操作	120
オーディオ レベルのモニタ	128
トラック メーター	129
Catalyst Edit オプションの編集	131
キーボード ショートカット	133
ジェスチャ	139
キーワード	140

第 1 章

はじめに

Catalyst Edit は 4K、RAW、および HD ビデオ用の集中型高速切り取りツールです。

Catalyst Edit は HD、4K、および Sony RAW ビデオの編集に特化しているため、集中して創造性を追求することができます。柔軟性のあるタイムライン編集ツールによって、4K XAVC および Sony RAW ファイルの作業が HD の作業と同じくらい簡単になります。やっと、ショットの詳細や高ダイナミックレンジカラーを最大限に利用できるようになりました。Catalyst Edit があれば、オーディオエンジニアリングの学位がなくても、革新的なワークフローによってカメラ オーディオをあらゆる方法で使用できるため、マルチチャンネル オーディオの悪夢を終わらせることができます。Catalyst Edit は Catalyst Prepare と統合され、メディアの準備段階から編集段階までの連続性を提供します。

[Catalyst Edit] ウィンドウ

[Catalyst Edit] ウィンドウは 5 つの主なセクションに分割されています。


- ツールバーを使用すると、頻繁に使用する機能に簡単にアクセスできます。
- ウィンドウの左側には、プロジェクトに使用するメディア ファイルをコンピュータで参照できるメディア ブラウザと、使用可能なビデオ エフェクト、ジェネレータ、およびトランジションを参照できる [プラグイン] ペインが表示されます。
- [ビデオプレビュー] にはカーソル位置のビデオ フレームが表示され、プロジェクトを再生することができます。
- タイムラインは、プロジェクトを作成する場所です。トラックを追加してメディア クリップを整理し、トラックにクリップを追加することができます。
- ウィンドウの右側には、アプリケーションのオプション、タイムラインのプロパティ、選択したトラック、選択したクリップを編集できるインスペクタを表示することができます。



プロジェクトの操作


プロジェクト ファイル (.ceditprj) には、ファイルの場所、編集、挿入ポイント、トランジション、エフェクトなどのソース メディアに関する情報が保存されます。


プロジェクト ファイルはマルチメディア ファイルではありません。プロジェクト ファイルには元のソース ファイルを指すポインタが含まれているため、変更を加えることなくプロジェクトを編集でき、ソース ファイルを破損せずに創造性を発揮できます。

 Catalyst Edit を使用すると、プロジェクトのバックアップ コピーが自動的に保存されます。Catalyst Edit が予期せず停止した場合、次回起動時に自動保存プロジェクトが開きます。


プロジェクトの作成


作品制作の第一歩は、Catalyst Edit プロジェクト ファイル (.ceditprj) を作成することです。

1. メイン ツールバーの **【プロジェクト】** ボタン  をクリックします。
2. メニューの **【新規】** を選択し、プロジェクトを作成します。

 [Ctrl] キーを押しながら [N] キーを押すか (Windows)、[⌘] キーを押しながら [N] キーを押すと (OS X)、新規プロジェクトをすばやく作成できます。

プロジェクトを開く


1. メイン ツールバーの **【プロジェクト】** ボタン  をクリックします。
2. メニューの **【開く】** を選択します。

 [Ctrl] キーを押しながら [O] キーを押すか (Windows)、または [⌘] キーを押しながら [O] キーを押します (OS X)。

【開く】 ダイアログ ボックスが表示されます。

現在のプロジェクトを保存していない場合は、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。

3. 開くプロジェクトが保存されているフォルダを選択します。
4. 参照ウィンドウで Catalyst Edit プロジェクトファイル (.ceditprj) を選択するか、**【ファイル名】** ボックスに名前を入力します。
5. **【開く】** をクリックします。

 【最近使用したプロジェクト】 リストからプロジェクトを選択すると、最近編集したプロジェクトをすばやく開くことができます。


プロジェクト メディアの再リンク

プロジェクトを開いたときに、オリジナル クリップが見つからない場合、プロジェクト メディアの再リンクを求め
るプロンプトが Catalyst Edit に表示されます。

[プロジェクト メディアの再リンク] ダイアログを使用して、プロキシベースのワークフローを作成することもでき
ます。プロジェクトをレンダリングしたりエクスポートする前に、低解像度のプロキシ クリップを使用してプロ
ジェクトを作成し効率的に編集して、プロキシクリップをフル解像度バージョンに再リンクします。詳しくは、14
ページの "[プロジェクトのレンダリング](#)"または15ページの "[プロジェクトのエクスポート](#)"を参照してください。

1. プロジェクトを開きます。詳しくは、9ページの "[プロジェクトを開く](#)"を参照してください。

プロジェクトで使用したクリップが元の場所に見つからない場合、[プロジェクト メディアの再リンク] ダイ
アログが表示されます。

メディアを手動で再リンクする場合は、メイン ツールバーの **[プロジェクト]** ボタン  をクリックし、メ
ニューから **[再リンク]** を選択します。

2. クリップごとに、オリジナル クリップとリンクされたクリップが [プロジェクト メディアの再リンク] ダイ
アログに表示されます。

ソース クリップの新しい場所を選択するには、フォルダ パスをクリックし、新しい場所を参照します。


[フォルダの検索]、**[ファイルの検索]** (クリップが見つからない場合)、またはクリップのパスをク
リックし、新しいファイルを参照して代替ファイルを選択します。


  ボタンをクリックして、完全パスを表示します。


3. **[再リンク]** をクリックします。クリップが置き換えられ、プロジェクトが更新されます。

プロジェクトの保存

【保存】または【名前を付けて保存】コマンドを使用して、現在の Catalyst Edit プロジェクトに変更を保存することができます。

 プロジェクトに保存されていない変更が含まれている場合は、**(編集済み)** がタイトルバーのプロジェクト名の後に表示されます。


1. メイン ツールバーの【プロジェクト】ボタン  をクリックします。
2. 【保存】を選択して現在のプロジェクトを保存するか、初めて新しいプロジェクトを保存する場合や現在のプロジェクトのコピーを作成する場合は、【名前を付けて保存】を選択します。


 【Ctrl】キーを押しながら【S】キーを押すか (Windows) 、または【⌘】キーを押しながら【S】キーを押します (OS X) 。

【保存】ウィンドウが表示されます。

3. プロジェクトの保存先となるドライブおよびフォルダを選択します。
4. 【ファイル名】 (Windows) または【名前を付けて保存】 (OS X) ボックスにプロジェクトの名前を入力します。
5. 【保存】ボタンをクリックします。

タイムライン インспекタの使用

インспекタ  で【タイムライン】タブを選択して、プロジェクトタイムラインの設定を編集します。

 最後のトラックの下にあるタイムラインの空白の領域をクリックすると、インспекタが表示されている場合は【タイムライン】タブが自動的に表示されます。


最初のビデオ クリップをプロジェクトに追加すると、タイムラインの設定はメディア プロパティに合うように自動で調整されます。詳しくは、38 ページの "[メディアの追加とクリップの作成](#)" を参照してください。

サマリー



【名前】ボックスに値を入力して、プロジェクトのタイトルを設定します。

ビデオ



項目	説明
幅	レンダリングしたときの最終的なムービーのフレーム サイズを決定します。
高さ	
ピクセルアスペクト比	ボックスに値を入力して、プロジェクトのピクセル アスペクト比を変更します。
	コンピュータでは、ピクセルは正方形 (1.0 の比率) で表示されます。テレビでは、ピクセルは長方形 (1.0 以外の比率) で表示されます。
	不正な設定を使用すると、歪みやストレッチが発生する可能性があります。詳しくは、キャプチャ/ビデオ出力カードのマニュアルを参照してください。

項目	説明
フレームレート	ボックスに値を入力して、プロジェクトのフレーム レートを変更します。タイムラインのルーラーは、このフレーム レートで表示されます。
フレームレート	米国、北中米諸国、南米の一部、および日本におけるテレビのフレーム レート (NTSC) は、29.97 フレーム/秒 (fps) です。ヨーロッパおよびアジアの大部分を含む世界の多くの国では、テレビ規格は 25 fps の PAL です。フランス、ロシア、東ヨーロッパのほとんどの国では、PAL のバリエーションである 25 fps の SECAM が使用されています。
グレード	プロジェクトの表示に使用する色空間を選択するには、 【グレード】 ドロップダウン リストで設定を選択します。正しい色空間を選択することで、作業を進める上でビデオを適切な色空間で表示できるようになります。
	Catalyst Prepare ライブラリ () からメディアを使用している場合は、同じ 【グレード】 設定を Catalyst Prepare の 【オプション】 メニューと Catalyst Edit タイムライン インспекタで使用していることを確認してください。

音楽ファイル


項目	説明
サンプル レート	ドロップダウン リストからサンプル レートを選択し、オーディオを保存するのに使用される毎秒のサンプル数を指定します。オーディオが自動的にリサンプリングされます。 カスタム サンプル レートを使用するには、ドロップダウン リストから 【カスタム】 を選択して、編集ボックスにサンプル レートを入力します。
チャンネルの設定 チャンネル数	2 チャンネル (ステレオ) のプロジェクトを作成するには、ドロップダウン リストから 【ステレオ】 を選択します。 マルチチャンネル プロジェクトを作成するには、 【マルチチャンネル】 を選択して 【チャンネル数】 ボックスに数値を入力します。
ゲイン	メイン出力のボリュームを調整するには、フェーダーをドラッグします。つまみの中心をダブルクリックすると、フェーダーをリセットできます。新しい値を入力するには数値をダブルクリックします。  ボリュームを調整するときは、必ずオーディオ メーターを見てください。すべてのトラックのボリュームを追加するので、オーディオ出力がクリッピングしやすくなります。再生中に赤いクリップ記号が表示されないようにしてください。詳しくは、128 ページの " オーディオレベルのモニタ " を参照してください。
ミュート	 をクリックすると、プロジェクトのオーディオ出力がミュートになるか、ミュートが解除されます。

チャンネル出力

スピーカー アイコンをクリックして、チャンネルをオン  またはオフ  にします。

【モノラル】または【ステレオ】ボタンをクリックして、チャンネルがモノラルチャンネルかステレオペアの一部かを示します。【ステレオ】を有効にすると、チャンネルがリスト内の次のチャンネルとペアになります。




一度にすべてのクリップのチャンネルを設定するには、【チャンネル ツール】ボタン  をクリックして、【すべてモノラルに設定】、【すべてステレオに設定】、または【リセット】を選択します。

編集ボックスに名前を入力して、チャンネルを識別します。たとえば、小型マイクからの音声を認識するために、Lav1 と入力することができます。




タイムライン インスペクタとクリップ インスペクタで同じ名前が付けられているチャンネルは、マッチングされます。


Catalyst Prepare ライブラリ () のクリップを Catalyst Edit タイムラインに追加すると、Catalyst Prepare ライブラリで行ったチャンネル割り当ての設定がクリップに適用されます。

ビデオ エフェクト

選択したクリップにエフェクトが適用されている場合は、ビデオ エフェクト コントロールを使用して各エフェクトの設定を制御できます。詳しくは、100 ページの "[タイムラインへのエフェクトの追加](#)" を参照してください。



チェーンからプラグインを削除するには、【削除】ボタン  をクリックします。

チェーンから削除せずにプラグインをバイパスするには、【ミュート】ボタン  をクリックします。


プラグインの見出しをドラッグして、プラグイン チェーンの位置を変更します。

切り替え矢印をクリックすると、プラグインの各コントロールの表示/非表示が切り替わります。

プロジェクトのレンダリング

プロジェクトの編集が完了した場合、またはプロジェクトを最終的な形式で確認する場合は、レンダリングすることでプロジェクトが別の形式に変換され、1つのファイルとしてハードディスクドライブ上に作成されます。


プロジェクトのレンダリング処理を行っても、プロジェクト ファイル自体は影響を受けません（上書き、削除、変更されません）。元のプロジェクトに戻って編集または調整を実行し、レンダリングをやり直すこともできます。

1. メインツールバーの **【プロジェクト】** ボタン  をクリックします。
2. メニューの **【レンダリング】** を選択します。[プロジェクトのレンダリング] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **【名前】** ボックスに名前を入力して、レンダリングされたファイルを識別します。
4. **【出力先フォルダ】** ボックスにレンダリングされたファイルを保存するパスを入力するか、**【参照】** をクリックしてフォルダを選択します。
5. **【形式】** メニューから設定を選択して、AVC/AAC (*.mp4)、DNxHD、Apple ProRes (OS X のみ)、SStP、XAVC Intra、XAVC Long、XAVC S、または XDCAM クリップを作成するかどうかを指定します。



オーディオのみのファイルをレンダリングする場合は、**【MP3 オーディオ】**、**【Sony W64】**、または **【WAV】** を選択します。

画像シーケンスをレンダリングしたい場合は、**【DPX】** または **【OpenEXR】** を選択します。


6. **【レンダリングのプリセット】** ドロップダウン リストから新しいファイルに使用する設定を選択します。
 プロジェクト タイムラインに最適なプリセットを Catalyst Edit で選択する場合は、**【最適な一致】** プリセットを選択します。詳しくは、11 ページの "[タイムライン インспекタの使用](#)" を参照してください。
7. マルチチャンネル オーディオをサポートする形式でレンダリングする場合、**【オーディオ チャンネル】** ボックス内のコントロールを使用して、レンダリングしたファイルにプロジェクトのオーディオ チャンネルをマッピングします。

左側の列は、出力先ファイル内のオーディオ チャンネルを示します。右側の列のドロップダウン リストは、プロジェクトに設定したオーディオ チャンネルの数を示します。詳しくは、120 ページの "[マルチチャンネル オーディオの操作](#)" を参照してください。

各出力先チャンネルについて、ドロップダウン リストから出力を選択するか、**【未使用】** を選択してチャンネルに無音をレンダリングします。

8. プロジェクトのマーク イン/マークアウト リージョン内に含まれている部分だけを保存する場合は、**【ループ リージョンのみレンダリング】** チェック ボックスをオンにします。詳しくは、46 ページの "[再生のインポイントとアウトポイントのマーキング](#)" を参照してください。




このオプションでは **【ループ再生】**  を選択する必要はありません。


9. **【OK】** をクリックします。

進行状況は [Catalyst Edit] ウィンドウの上部にあるアクティビティ ペインに表示されます。

プロジェクトのエクスポート

プロジェクト交換ツールを使用すると他の一般的な編集プラットフォームとプロジェクトを交換でき、柔軟なワークフローが実現されます。

 エクスポートされたプロジェクトのサポートされている機能については、16ページの"[プロジェクトのエクスポート：サポートされている機能](#)"を参照してください。スムーズな交換を確実に得るために、これらの機能を念頭に置いて Catalyst Edit プロジェクトを設計してください。


1. メイン ツールバーの **【プロジェクト】** ボタン  をクリックします。
2. メニューの **【エクスポート】** を選択します。
3. エクスポートされるファイルのエクスポート先と形式を選択するには、**【プロジェクトのエクスポート】** ダイアログ ボックスを使用します。
 - a. **【プロジェクトの形式】** ドロップダウン リストからエクスポートの形式を選択します。
 - Apple Final Cut Pro X (*.fcpxml)
 - Adobe Premiere (*.prproj)
 - Avid Media Composer (*.aaf)
 - Sony Vegas Pro EDL (*.txt)
 - b. エクスポート時にストーリーボードのメディアを別の形式にトランスコードする場合は、**【メディア形式】** ドロップダウン リストから設定を選択します。元の場所の元のクリップにリンクする場合は、**【トランスコードしない】** を選択します。
 - c. **【出力先フォルダ】** ボックスに、プロジェクトのエクスポート先フォルダのパスが表示されます。ボックスにパスを入力するか、**【参照】** ボタンをクリックしてフォルダを選択できます。
 - d. エクスポートしたプロジェクト ファイルに使用するファイル名を設定するには、**【ファイル名】** ボックスに名前を入力します。
 - e. **【エクスポート】** をクリックします。

進行状況は [Catalyst Edit] ウィンドウの上部にあるアクティビティ ペインに表示されます。複数のエクスポート ジョブがキューに含まれている場合は、ジョブごとの進行状況が表示されます。




エクスポートしたプロジェクトと同じフォルダに、エクスポートの詳細が記載されている HTML レポート ファイルが作成されます。警告またはエラーはレポートに表示されます。

プロジェクトのエクスポート：サポートされている機能


Catalyst Edit では、プロジェクトをエクスポートすると、以下の機能がサポートされます。

 スムーズな交換を確実に得るために、これらの機能を念頭に置いて Catalyst Edit プロジェクトを設計してください。

Media Composer 6 (.aaf)

- タイムライン（フレーム レートを含む）
 -  Catalyst Editタイムラインは常に、ステレオでエクスポートされます。
- マーカー
- フレーム レート
- クリップ
 -  ネスト化されたタイムラインのクリップは、メインの Media Composer タイムラインにエクスポートされます。
親タイムラインのネスト化されたタイムラインと他のイベント間のクロスフェードは無視されます。
トラック ボリューム、ネスト化されたタイムラインのトラック ボリューム、およびクリップのゲインは合計され、Media Composer でクリップのゲインとして適用されます。
- オーディオ チャンネル ルーティング（タイムラインのチャンネル出力やクリップのチャンネル割り当てを含む）
- クリップのオーディオ フェードおよびゲイン
 -  オーディオ クリップのゲインとオーディオトラックのゲインはクリップのゲインとしてエクスポートされます。
- クリップのオーバーラップ
- トラックのゲイン（クリップのゲインに変換されます）

Premiere Pro CS6 (.prproj)

- タイムライン（幅、高さ、ピクセル アスペクト比、フレーム レート、およびフィールド順序）
 -  Catalyst Editタイムラインは常に、ステレオでエクスポートされます。
- マーカー
- クリップ（ネスト化されたタイムラインを含む）
- クリップのフェードおよびゲイン/不透明度
- クリップのオーバーラップ
- タイトル クリップ（マルチラインのテキスト、テキストの角度、テキストの色、背景色、およびシャドウ カラーがサポートされています）。
- トラックのゲイン、パン、ミュート、およびソロ

Final Cut Pro X (.fcpxml)

- タイムライン



Catalyst Editタイムラインは常に、ステレオでエクスポートされます。

マルチチャンネル オーディオを使用したプロジェクトは、Final Cut Pro の左チャンネルだけを通じて再生されます。

- マーカー (タイムライン マーカーは、クリップ マーカーとしてエクスポートされ、最後のクリップの後ろのマーカーは省略されます)

- クリップ (ネスト化されたタイムラインを含む)

- クリップのフェードおよびゲイン/不透明度



ビデオ クリップのゲインは、クリップの不透明度としてエクスポートされます。

オーディオ クリップのゲインとオーディオトラックのゲインはクリップのゲインとしてエクスポートされます。

- オーディオ チャンネルルーティング (タイムラインのチャンネル出力やクリップのチャンネル割り当てを含む)

- クリップのオーバーラップ

- タイトル クリップ (タイトルテキスト、フォント、フォント サイズ、太字、斜体、配置、色、シャドウ、アウトライン、および回転がサポートされています)



プロジェクトをエクスポートしたら、Final Cut Pro X のフォント サイズを確認してください。

- トラックのゲイン、パン、ミュート、およびソロ

Vegas EDL (.txt)

- タイムライン



Catalyst Editタイムラインは常に、ステレオでエクスポートされます。

- クリップ



ネスト化されたタイムラインのクリップは、メインの Vegas タイムラインにエクスポートされます。

親タイムラインのネスト化されたタイムラインと他のイベント間のクロスフェードは無視されます。

トラック ボリューム、ネスト化されたタイムラインのトラック ボリューム、およびクリップのゲインは合計され、Vegas でクリップのゲインとして適用されます。

- クリップのフェードおよびゲイン/不透明度 :



ビデオ クリップのゲインは、クリップの不透明度としてエクスポートされます。

オーディオ クリップのゲインとオーディオトラックのゲインはクリップのゲインとしてエクスポートされます。

- オーディオ チャンネルのルーティング

- クリップのオーバーラップ

第 3 章

メディアの検索

[メディア ブラウザ] ペインでは、コンピュータに接続されているドライブやデバイス上のメディア ファイルを参照することができます。

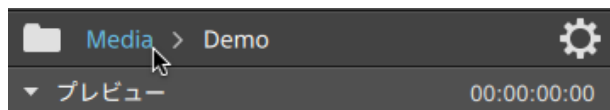
メディア ブラウザのファイルをダブルクリックすると、選択したトラックの最後にクリップとして追加されます。トラックが選択されていない場合は、新しいトラックが作成されます。詳しくは、47 ページの "[トラックのプロジェクトへの追加](#)" または 38 ページの "[メディアの追加とクリップの作成](#)" を参照してください。



フォルダの選択

[Catalyst Edit] ウィンドウの上部にある **【メディア ブラウザ】** ボタンをクリックしてメディア ブラウザを表示します。


メディア ブラウザを使用して、コンピュータ上のビデオ ファイルを参照します。

メディア ブラウザの上部に、現在のフォルダとその親フォルダが表示されます。親フォルダのリンクをクリックすると、1 つ上のレベルに移動することができます。



 すばやく移動するには、メディア ブラウザの下部にある **【ツール】** ボタン  をクリックして、**【場所へ移動】** を選択します。

リストモードまたはサムネイルモードでのファイルの表示


【メディアブラウザの設定】ボタン  をクリックして [メディアブラウザの設定] メニューを表示します。ここで、グリッドモードまたはリストモードのどちらでメディアを表示するかを選択できます。

グリッドモードでは、メディアブラウザにサムネイル画像とファイル名が表示されます。


リストモードでは、メディアブラウザにサムネイル画像とファイル名のシンプルなリストが表示されます。

- ファイルをクリックして選択します。
- 選択する範囲の最初のファイルをクリックした後、Shift キーを押しながら最後のファイルをクリックします。
- 複数のファイルを選択するには、[Ctrl] キー (Windows) または [Command] キー (Mac) を押しながらクリックします。




キーボード キーの組み合わせを使わずに複数のファイルを選択するには、【選択】ボタン  をクリックします。

ソースクリップの表示



1. ファイルを選択します。
2. メディアブラウザの下部にある【ツール】ボタン  をクリックし、【ファインダーで表示】 (OS X) または【エクスプローラで表示】 (Windows) を選択して、ソースクリップが含まれているフォルダのソースクリップを表示します。



タイムライン上のクリップを選択し、タイムラインの下にある【クリップ】ボタン  をクリックし、【ファインダーで表示】 (OS X) または【エクスプローラで表示】 (Windows) を選択して、ソースクリップが含まれているフォルダのソースクリップを表示します。

Catalyst Prepare ライブラリのメディアの表示


Sony Catalyst Prepare ライブラリのメディアを Catalyst Edit プロジェクトに追加することもできます。



.cpreplib ライブラリ () を開くと、ライブラリに含まれているすべてのメディアがピンにソートされて、メディアブラウザに表示されます。別のピン () がストーリーボードごとに表示されます。



クリップを [Catalyst Prepare] ウィンドウから Catalyst Edit タイムラインにドラッグして、クリップを作成することもできます。詳しくは、38 ページの "[メディアの追加とクリップの作成](#)" を参照してください。


メディアブラウザからのメディアのプレビュー

メディアブラウザのファイルを選択して、メディアブラウザの下部にある【プレビュー】ボタン  をクリックして再生します。

再生中は、【**プレビュー**】ボタン  は、【**一時停止**】ボタン  に変わります。再生を一時的に停止するには、【**一時停止**】ボタンをクリックします。このボタンをクリックしないと、選択したクリップの終了位置で再生が停止します。

グリッドモードでは、ビデオはサムネイルで再生されます。リストモードでは、ビデオのプレビューは、ファイルリストの上に表示されます。


プライマリディスプレイでのクリップのプレビュー

【**メディアブラウザの設定**】ボタン  をクリックして【メディアブラウザの設定】メニューを表示し、【**プライマリディスプレイ**】ボタンを使用してタイムラインの上にあるプライマリディスプレイでメディアブラウザファイルをプレビューします。

項目	説明
オフ	メディアブラウザからファイルをプレビューする場合、プライマリディスプレイは使用されません。
オン	メディアブラウザのファイルは、メディアブラウザと、タイムラインの上にあるプライマリディスプレイで再生されます。
2 アップ	メディアブラウザのファイルは、メディアブラウザと、タイムラインの上にあるプライマリディスプレイの左側で再生されます。プライマリディスプレイの右側には、タイムラインのカーソル位置にフレームが表示されます。

セカンダリウィンドウでのクリップのプレビュー

セカンダリウィンドウを使用している場合、セカンダリウィンドウでメディアブラウザファイルをプレビューすることもできます。詳しくは、131ページの "[Catalyst Edit オプションの編集](#)"を参照してください。

【**メディアブラウザの設定**】ボタン  をクリックして【メディアブラウザの設定】メニューを表示し、【**セカンダリウィンドウ**】ボタンを使用します。

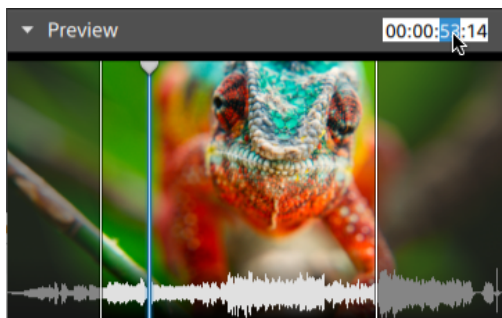
項目	説明
オフ	メディアブラウザからファイルをプレビューする場合、セカンダリウィンドウは使用されません。
オン	メディアブラウザのファイルは、メディアブラウザとセカンダリウィンドウで再生されます。
2 アップ	メディアブラウザのファイルは、メディアブラウザとセカンダリウィンドウの左側で再生されます。セカンダリウィンドウの右側には、タイムラインのカーソル位置にフレームが表示されます。

ホバースクラブの使用

【メディアブラウザの設定】メニューで【**ホバースクラブ**】を選択すると、マウスポインターをサムネイル（リストモードではビデオプレビュー）の再生カーソルの上に乗せて、再生位置を変更してメディアをスクラブできます。ボタンが選択されていない場合は、カーソルをクリックしてドラッグするとスクラブできます。

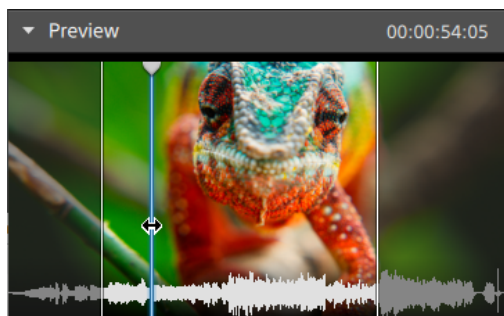
💡 メディア ブラウザで選択したクリップをスクラブするには、JKL キーを使用します。[K] キーを押しながら [J] キーまたは [L] キーを押すと、シャトル ノブ モードをエミュレートできます。左にスクラブするには [K] キーを押しながら [J] キーを押し、右にスクラブするには [K] キーを押しながら [L] キーを押します。

グリッド モードでは、ファイルを参照する際に役立つオーディオ波形がビデオ プレビューに表示されます。また、現在のカーソル位置がビデオ プレビューの上にあるタイムコードに表示されます。タイムコードをクリックして新しい値を入力すると、カーソルの位置を変更できます。



マークイン/アウト ポイントをメディア ブラウザに設定

マークイン/アウト ポイントはメディア ブラウザに表示されているため、部分的なクリップをタイムラインに追加できます。



- [I] キーを押してマークイン ポイントをカーソル位置に設定するか、[O] キーを押してマークアウト ポイントを設定します。
- マークイン/アウト ポイントをドラッグして、ポイントの位置を変更することもできます。

クリップをプロジェクトに追加すると、マークイン/アウト ポイントの間の領域のみがタイムラインに追加されます。詳しくは、38 ページの "[メディアの追加とクリップの作成](#)" を参照してください。

SxS および Professional Disc ボリュームの管理

SxS カードをフォーマットする必要がある場合は、[Memory Media Utility](#) を使用してください。

XDCAM Professional Disc ボリュームをフォーマットまたはファイナライズする必要がある場合は、[XDCAM Drive Software](#) を使用してください。

サポートしているビデオ形式

Catalyst Edit は、ボリュームからの読み込み、または独立したクリップとしての読み込みについて次のビデオ形式をサポートしています。

XDCAM

SD 形式

形式	フレームサイズ	フレームレート	フィールドオーダー	ビデオコーデック	ビットレート	オーディオチャンネル
DV	720x480	59.94i	ロー フィールド	DV	25 CBR	4x16 ビット
DV	720x576	50i	ロー フィールド	DV	25 CBR	4x16 ビット
MPEG IMX	720x512	59.94i	アッパー フィールド	MPEG-2 Intra	30、40、50 CBR	4x24 ビット / 8x16 ビット
MPEG IMX	720x608	50i	アッパー フィールド	MPEG-2 Intra	30、40、50 CBR	4x24 ビット / 8x16 ビット
非圧縮	720x486	59.94i	アッパー フィールド	非圧縮	90 CBR	4x24 ビット / 8x16 ビット
非圧縮	720x576	50i	アッパー フィールド	非圧縮	90 CBR	4x24 ビット / 8x16 ビット

HD 形式

形式	フレームサイズ	ピクセルアスペクト比	フレームレート	ビデオコーデック	ビットレート
MPEG HD	1280x720	1.0	50p、59.94p	MPEG-2 Long GOP	25 CBR
MPEG HD	1280x720	1.0	50p、59.94p	MPEG-2 Long GOP	35 VBR
MPEG HD	1280x720	1.0	50p、59.94p	MPEG-2 Long GOP	50 CBR
MPEG HD	1440x1080	1.333	23.976p、25p、29.97p、50i、59.94i	MPEG-2 Long GOP	17.5 CBR
MPEG HD	1440x1080	1.333	23.976p、25p、29.97p、50i、59.94i	MPEG-2 Long GOP	25 CBR
MPEG HD	1440x1080	1.333	23.976p、25p、29.97p、50i、59.94i	MPEG-2 Long GOP	35 CBR
MPEG HD	1440x540	0.667	23.976p、25p、29.97p、オーバー クランク	MPEG-2 Long GOP	8.75 CBR

形式	フレームサイズ	ピクセルアスペクト比	フレームレート	ビデオコーデック	ビットレート
MPEG HD	1440x540	0.667	23.976p、25p、29.97p、オーバークランク	MPEG-2 Long GOP	12.5 CBR
MPEG HD	1440x540	0.667	23.976p、25p、29.97p、オーバークランク	MPEG-2 Long GOP	17.5 CBR
MPEG HD422	1920x1080	1.0	23.976p、25p、29.97p、50i、59.94i	MPEG-2 Long GOP	35 CBR、50 CBR
MPEG HD422	1920x540	0.5	23.976p、25p、29.97p、オーバークランク	MPEG-2 Long GOP	25 CBR

XDCAM EX

形式	フレームサイズ	ピクセルアスペクト比	フレームレート	フィールドオーダー	ビデオコーデック	オーディオコーデック	ビットレート
DV	720x480	0.9091	59.94p	フィールド	DV	PCM、48 kHz、16 ビット	25 CBR
DV	720x576	1.0926	50i	フィールド	DV	PCM、48 kHz、16 ビット	25 CBR
MPEG HD (EX-HQ)	1280x720	1.0	23.976p、25p、29.97p、50p、59.94p		MPEG-2 Long GOP	PCM、48 kHz、16 ビット	35 VBR
MPEG HD (EX-SP)	1440x1080	1.333	50i、59.94i		MPEG-2 Long GOP	PCM、48 kHz、16 ビット	25 CBR
MPEG HD (EX-HQ)	1440x1080	1.333	23.976p、25p、29.97p、50i、59.94i		MPEG-2 Long GOP	PCM、48 kHz、16 ビット	35 VBR

形式	フレームサイズ	ピクセルアスペクト比	フレームレート	フィールドオーダー	ビデオコーデック	オーディオコーデック	ビットレート
MPEG HD422 (EX-HQ)	1920x1080	1.0	23.976p、25p、29.97p、50i、59.94i		MPEG-2 Long GOP	PCM、48kHz、16ビット	35 VBR

XAVC Intra

形式	フレームサイズ	ピクセルアスペクト比	フレームレート	ビデオコーデック	オーディオチャネル (PCM、48 kHz、24ビット)	ビットレート
XAVC Intra	1440x1080	1.333	50i、59.94i、23.976p、 25p、29.97p	MPEG-4 AVC Intra	8	CBG 50
XAVC Intra	1920x1080	1.0	50i、59.94i、23.976p、 25p、29.97p、50p、59.94p	MPEG-4 AVC Intra	8、16	CBG 100
XAVC Intra	1920x1080	1.0	50i、59.94i、23.976p、 25p、29.97p、50p、59.94p	MPEG-4 AVC Intra	8	CBG 200
XAVC Intra HFR	1920x1080	1.0	50p、50i、59.94p、59.94i	MPEG-4 AVC Intra	0	CBG 100
XAVC Intra	2048x1080	1.0	23.976p、24p、25p、 29.97p、50p、59.94p	MPEG-4 AVC Intra	8	VBR
XAVC Intra	2048x1080	1.0	23.976p、24p、25p、 29.97p、50p、59.94p	MPEG-4 AVC Intra	8、16	CBG 100
XAVC Intra	3840x2160	1.0	23.976p、25p、29.97p、 50p、59.94p	MPEG-4 AVC Intra	8	VBR
XAVC Intra	3840x2160	1.0	23.976p、25p、29.97p、 50p、59.94p	MPEG-4 AVC Intra	8、16	CBG 300
XAVC Intra	4096x2160	1.0	23.976p、24p、25p、 29.97p、50p、59.94p	MPEG-4 AVC Intra	8	VBR
XAVC Intra	4096x2160	1.0	23.976p、24p、25p、 29.97p、50p、59.94p	MPEG-4 AVC Intra	8、16	CBG 300

XAVC Long-GOP

形式	フレームサイズ	ピクセルアスペクト比	フレームレート	ビデオコーデック	音楽ファイル	ビットレート
XAVC Long	1280x720	1.0	50p、59.94p	MPEG-4 AVC Long、ハイ 422 プロファイル	4 チャンネル PCM、 48 kHz、24 ビット	80 (最大)
XAVC Long	1920x1080	1.0	23.976p、25p、 29.97p、50p、50i、 59.94p、59.94i	MPEG-4 AVC Long、ハイ 422 プロファイル	4 チャンネル PCM、 48 kHz、24 ビット	80 (最大)
XAVC Long	3840x2160	1.0	23.976p、25p、 29.97p、50p、 59.94p	MPEG-4 AVC Long、ハイ プロファイル	4 チャンネル PCM、 48 kHz、24 ビット	200 (最大)
XAVC Long Proxy	480x270	1.0	23.976p、25p、 29.97p、50p、 59.94p	MPEG-4 AVC Long、ハイ プロファイル	MPEG-4 AAC、2 チャ ンネル、48 kHz、 256 kbps MPEG-4 AAC、6 (5.1) チャンネル、 48 kHz、640 kbps	1 ま たは 0.5 Mbps
XAVC Long Proxy	640x360	1.0	23.976p、25p、 29.97p、50p、 59.94p	MPEG-4 AVC Long、ハイ プロファイル	MPEG-4 AAC、2 チャ ンネル、48 kHz、 256 kbps MPEG-4 AAC、6 (5.1) チャンネル、 48 kHz、640 kbps	3 Mbps
XAVC Long Proxy	1280x720	1.0	23.976p、25p、 29.97p、50p、 59.94p	MPEG-4 AVC Long、ハイ プロファイル	MPEG-4 AAC、2 チャ ンネル、48 kHz、 256 kbps MPEG-4 AAC、6 (5.1) チャンネル、 48 kHz、640 kbps	9 Mbps

XAVC S

形式	フレームサイズ	ピクセルアスペクト比	フレームレート	ビデオコーデック	音楽ファイル	ビットレート
XAVC Long Proxy	480x270	1.0	23.976p、 25p、 29.97p、 50p、59.94p	MPEG-4 AVCLong、ハイプロファイル	MPEG-4 AAC、2チャンネル、48kHz、256 kbps	4
XAVC Long Proxy	640x360	1.0	23.976p、 25p、 29.97p、 50p、59.94p	MPEG-4 AVCLong、ハイプロファイル	MPEG-4 AAC、2チャンネル、48kHz、256 kbps	10
XAVC Long	1280x720	1.0	23.976p、 25p、 29.97p、 50p、59.94p	MPEG-4 AVC Long、メインプロファイルまたはハイプロファイル	2チャンネルPCMまたはAAC、48kHz、16ビット	40
XAVC Long Proxy	1280x720	1.0	23.976p、 25p、 29.97p、 50p、59.94p	MPEG-4 AVCLong、ハイプロファイル	MPEG-4 AAC、2チャンネル、48kHz、256 kbps	16
XAVC Long	1280x720	1.0	100p、 119.88p	MPEG-4 AVC Long、メインプロファイルまたはハイプロファイル	2チャンネルPCMまたはAAC、48kHz、16ビット	80
XAVC Long	1440x1080	1.0	23.976p、 25p、 29.97p、 50p、59.94p	MPEG-4 AVC Long、メインプロファイルまたはハイプロファイル	2チャンネルPCMまたはAAC、48kHz、16ビット	80
XAVC Long	1920x1080	1.0	23.976p、 25p、 29.97p、 50p、59.94p	MPEG-4 AVC Long、メインプロファイルまたはハイプロファイル	2チャンネルPCMまたはAAC、48kHz、16ビット	80
XAVC Long	1920x1080	1.0	100p、 119.88p	MPEG-4 AVC Long、メインプロファイルまたはハイプロファイル	2チャンネルPCMまたはAAC、48kHz、16ビット	150
XAVC Long Proxy	1920x1080	1.0	23.976p、 25p、 29.97p、 50p、59.94p	MPEG-4 AVCLong、ハイプロファイル	MPEG-4 AAC、2チャンネル、48kHz、256 kbps	25
XAVC Long	3840x2160	1.0	23.976p、 25p、29.97p	MPEG-4 AVC Long、メインプロファイルまたはハイプロファイル	2チャンネルPCMまたはAAC、48kHz、16ビット	188

形式	フレームサイズ	ピクセルアスペクト比	フレームレート	ビデオコーデック	音楽ファイル	ビットレート
XAVC Long	3840x2160	1.0	50p、59.94p	MPEG-4 AVC Long、メインプロファイルまたはハイプロファイル	2チャンネルPCMまたはAAC、48kHz、16ビット	300

RAW

形式	フレームサイズ	ビット	フレームレート	圧縮
F5/F55RAW	2048x1080	16	23.976p、24p、25p、29.97p、50p、59.94p、HFR (最大240)	SQ
F5/F55RAW	4096x2160	16	23.976p、24p、25p、29.97p、50p、59.94p、240p	SQ
F65RAW	4096x2160	16	23.976p、24p、25p、29.97p、50p、59.94p、HFR (最大120)	Lite、SQ
FS700RAW	2048x1080	16	23.976p、25p、29.97p、50p、59.94p、HFR (最大240)	SQ
FS700RAW	4096x2160	16	23.976p、25p、29.97p、50p、59.94p、HFR (最大120)	SQ

HDCAM SR (SStP)

形式	フレームサイズ	ビット	色空間	ピクセルアスペクト比	フレームレート	圧縮 (Mbps)
SSTP	1280x720	10	YUV 422	1.0	50p、59.94p	Lite(220)、SQ(440)
SSTP	1920x1080	10	YUV 422	1.0	50i、59.94i、23.976p、24p、25p、29.97p、50p、59.94p	Lite(220)、SQ(440)
SSTP	1920x1080	10	RGB 444	1.0	50i、59.94i、23.976p、24p、25p、29.97p、50p、59.94p	SQ(440)、HQ(880)
SSTP	1920x1080	12	RGB 444	1.0	50i、59.94i、23.976p、24p、25p、29.97p、50p、59.94p	HQ(880)
SSTP	2048x1080	10	YUV 422	1.0	50p、59.94p	Lite(220)、SQ(440)
SSTP	2048x1080	10	RGB 444	1.0	50i、59.94i、23.976p、24p、25p、29.97p	SQ(440)
SSTP	2048x1080	10	RGB 444	1.0	23.976p、24p、25p、29.97p	HQ(880)
SSTP	2048x1080	12	RGB 444	1.0	50i、59.94i、23.976p、24p、25p、29.97p	SQ(440)
SSTP	2048x1080	12	RGB 444	1.0	23.976p、24p、25p、29.97p、50p、59.94p	HQ(880)

形式	フレームサイズ	ビット	色空間	ピクセルアスペクト比	フレームレート	圧縮 (Mbps)
SSTP	2048x1080	12	RGB 444	1.0	23.976p、24p、25p、29.97p	SQ(440)
SSTP	2048x1080	12	RGB 444	1.0	23.976p、24p、25p、29.97p、50p、 59.94p	HQ(880)
SSTP	2048x1556	10	RGB 444	1.0	23.976p、24p、25p	HQ(880)

NXCAM

形式	フレームサイズ	ピクセルアスペクト比	フレームレート	ビデオコーデック	オーディオコーデック	ビットレート
AVCHD	1920x1080	1.0	59.94p、50p、	H.264/MPEG-4 AVC	Dolby AC-3 または PCM 2チャンネル、 48 kHz、16 ビット	28 Mbps
AVCHD	1920x1080	1.0	59.94i、50i、 29.97p、25p、 23.976p	H.264/MPEG-4 AVC	Dolby AC-3 または PCM 2チャンネル、 48 kHz、16 ビット	24 または 17 Mbps
AVCHD	1280x720	1.0	59.94p、50p、	H.264/MPEG-4 AVC	Dolby AC-3 または PCM 2チャンネル、 48 kHz、16 ビット	24 または 17 Mbps
AVCHD	1440x1080	1.333	59.94i、50i	H.264/MPEG-4 AVC	Dolby AC-3 または PCM 2チャンネル、 48 kHz、16 ビット	9 または 5 Mbps
MPEG-2 SD	720x480	0.9091 または 1.2121	23.976p、29.97p、 59.94i	MPEG-2	Dolby AC-3 2チャンネル、 48 kHz、16 ビット	9 Mbps
MPEG-2 SD	720x576	1.0926 または 1.4568	25p、50i	MPEG-2	Dolby AC-3 2チャンネル、 48 kHz、16 ビット	9 Mbps

AVC H.264/MPEG-4

形式	フレームサイズ	スクリーンアスペクト比	フレームレート	ビデオコーデック	オーディオコーデック	ビットレート
H.264/MPEG-4 AVC	1280x720	16:9	50p、100p、120p	AVC	モノラル、48kHz、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	1920x1080	16:9	24p、25p、30p、48p、50p、60p	AVC	モノラル、48kHz、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	1920x1440	4:3	24p、25p、30p、48p	AVC	モノラル、48kHz、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	3840x2160	16:9	23.97p、24p、25p、29.97p、50p、59.94p	AVC	モノラル、48kHz、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	4096x2160	17:9	12p	AVC	モノラル、48kHz、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	2704x1524	16:9	25p、30p	AVC	モノラル、48kHz、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	2704x1440	17:9	24p	AVC	モノラル、48kHz、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	1280x960	4:3	48p、100p	AVC	モノラル、48kHz、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	848x480	16:9	240p	AVC	モノラル、48kHz、AAC圧縮 (AGC)	

形式	フレームサイズ	スクリーンアスペクト比	フレームレート	ビデオコーデック	オーディオコーデック	ビットレート
H.264/MPEG-4 AVC	640x480	4:3	25p、30p	AVC	モノラル、48kHz、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	240x180		25p、29.97p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	320x180		25p、29.97p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	320x240		25p、29.97p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	480x270		25p、29.97p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	640x480		25p、29.97p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	1280x720		50p、60p、100p、120p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	1280x960		48p、100p、120p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	1920x1080		24p、25p、29.97p、48p、50p、60p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	1920x1440		24p、25p、29.97p、48p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	

形式	フレームサイズ	スクリーンアスペクト比	フレームレート	ビデオコーデック	オーディオコーデック	ビットレート
H.264/MPEG-4 AVC	2704x1524		24p、25p、29.97p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	3840x2160		23.97p、24p、25p、29.97p、50p、59.94p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC	4096x2160		12p	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC (HVO)	720x480		59.94i	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	
H.264/MPEG-4 AVC (HVO)	720x576		50i	AVC	2チャンネル、16ビット、AAC圧縮 (AGC)	

Avid DNxHD®

コンテナ : MOV または MXF

オーディオコーデック : PCM 44.1 kHz または 48 kHz、16 ビットまたは 24 ビット

フレームサイズ	ファミリー名	色空間/ビット	フレームレート/最大ビットレート
1920x1080	Avid DNxHD® 444	4:4:4 10 ビット	29.97p @ 440 Mbps、25p @ 365 Mbps、24p @ 350 Mbps、 23.976p @ 350 Mbps
1920x1080	Avid DNxHD® 220x	4:2:2 10 ビット	60p @ 440 Mbps、59.94p @ 440 Mbps、50p @ 365 Mbps、 59.94i @ 220 Mbps、50i @ 185 Mbps、29.97p @ 220 Mbps、 25p @ 185 Mbps、24p @ 175 Mbps、23.976p @ 175 Mbps
1920x1080	Avid DNxHD® 220	4:2:2 8 ビット	60p @ 440 Mbps、59.94p @ 440 Mbps、50p @ 365 Mbps、 59.94i @ 220 Mbps、50i @ 185 Mbps、29.97p @ 220 Mbps、 25p @ 185 Mbps、24p @ 175 Mbps、23.976p @ 175 Mbps
1920x1080	Avid DNxHD® 145	4:2:2 8 ビット	60p @ 290 Mbps、59.94p @ 290 Mbps、50p @ 240 Mbps、 59.94i @ 145 Mbps、50i @ 120 Mbps、29.97p @ 145 Mbps、 25p @ 120 Mbps、24p @ 115 Mbps、23.976p @ 115 Mbps
1920x1080	Avid DNxHD® 145 (1440x1080 にサブサンプリング)	4:2:2 8 ビット	59.94i @ 145 Mbps、50i @ 120 Mbps
1920x1080	Avid DNxHD® 100 (1440x1080 にサブサンプリング)	4:2:2 8 ビット	59.94i @ 100 Mbps、50i @ 85 Mbps、29.97p @ 100 Mbps、25p @ 85 Mbps、 24p @ 80 Mbps、23.976p @ 80 Mbps
1920x1080	Avid DNxHD® 36	4:2:2 8 ビット	60p @ 90 Mbps、59.94p @ 90 Mbps、50p @ 75 Mbps、29.97p @ 45 Mbps、 25p @ 36 Mbps、24p @ 36 Mbps、23.976p @ 36 Mbps
1280x720	Avid DNxHD® 220x	4:2:2 10 ビット	59.94p @ 220 Mbps、50p @ 175 Mbps、29.97p @ 110 Mbps、 25p @ 90 Mbps、23.976p @ 90 Mbps
1280x720	Avid DNxHD® 220	4:2:2 8 ビット	59.94p @ 220 Mbps、50p @ 175 Mbps、29.97p @ 110 Mbps、 25p @ 90 Mbps、23.976p @ 90 Mbps

フレームサイズ	ファミリ名	色空間/ビット	フレームレート/最大ビットレート
1280x720	Avid DNxHD® 145	4:2:2 8 ビット	59.94p @ 145 Mbps、50p @ 115 Mbps、29.97p @ 75 Mbps、 25p @ 60 Mbps、23.976p @ 60 Mbps
1280x720	Avid DNxHD® 100 (960x720 にサブ サンプリング)	4:2:2 8 ビット	59.94p @ 100 Mbps、50p @ 85 Mbps、29.97p @ 50 Mbps、25p @ 45 Mbps、23.976p @ 50 Mbps

Apple ProRes (OS Xのみ)

コンテナ : MOV

オーディオコーデック : PCM

形式	フレームサイズ	フレームレート	ビデオコーデック
ProRes	720x486	59.94i、30p、29.97p、24p、23.976p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444
ProRes	720x576	50i、25p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444
ProRes	960x720	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、24p、23.976p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444
ProRes	1280x720	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、24p、23.976p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444
ProRes	1280x1080	59.94i、30p、29.97p、24p、23.976p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444
ProRes	1440x1080	59.94i、50i、30p、29.97p、25p、24p、23.976p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444
ProRes	1920x1080	60p、59.94p、50p、59.94i、50i、30p、29.97p、25p、24p、23.976p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444
ProRes	2048x1080	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.976p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444
ProRes	2048x1556	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.976p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444
ProRes	3840x2160	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.976p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444
ProRes	4096x2160	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.976p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444
ProRes	5120x2160	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.976p	422 (プロキシ)、422 (LT)、422、422 (HQ)、4444

HDV

コンテナ : MPEG-2 Transport Stream (Windows)、MOV (OS X)

オーディオコーデック : MPEG-1 オーディオ Layer-2 (Windows)。2チャンネル、48 kHz、16ビット

形式	フレームサイズ	ピクセルアスペクト比	フレームレート	インタレース	ビデオコーデック
HDV	1440x1080	1.333	50i、59.94i	アッパーフィールド	MPEG-2 MP@H14

DV

コンテナ : AVI (Windows) 、 MOV (OS X)

オーディオコーデック : PCM、2 チャンネル、32 kHz、16 ビット

形式	フレームサイズ	フレームレート	フィールドオーダー	ビデオコーデック	ビットレート	オーディオチャンネル
DV (SD)	720x480	59.94i	ローフィールド	DV	25 CBR	2 チャンネル、32 kHz、16 ビット
DV (SD)	720x576	50i	ローフィールド	DV	25 CBR	2 チャンネル、32 kHz、16 ビット



メディアの追加とクリップの作成

ファイルをプレビューして、プロジェクトで使用するメディア ファイルを決定した後、クリップをタイムラインに追加して、それぞれのメディア ファイルがいつ再生されるかを表示します。

詳しくは、41 ページの "[ビデオのプレビュー](#)" を参照してください。



最初のビデオ クリップをプロジェクトに追加すると、タイムラインの設定はメディア プロパティに合うように自動で調整されます。詳しくは、11 ページの "[タイムライン インспекタの使用](#)" を参照してください。

タイムラインの拡大率を変更するには、タイム ルーラーの上にあるスライダをドラッグするか、**[ズームアウト]**  または **[ズームイン]**  ボタンをクリックします。

スナップを使用すると、クリップをタイムラインに追加するときに揃えやすくなります。詳しくは、82 ページの "[クリップのスナップ](#)" を参照してください。

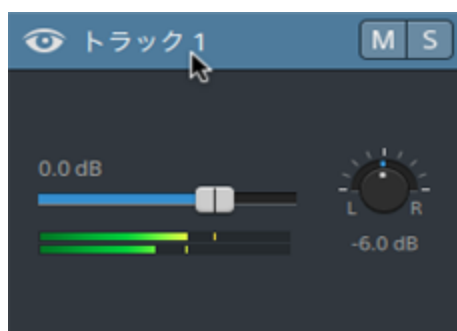
オーディオおよびビデオ ストリーム付きのクリップを選択すると、クリップ インспекタの **[ストリーム]** を使用して、タイムラインで使用するストリームを選択できます。詳しくは、93 ページの "[クリップ インспекタの使用](#)" を参照してください。

既存のトラックへのクリップの追加

トラックをプロジェクトに既に追加している場合は、メディア ブラウザを使用して、これらのトラックにクリップを作成できます。

詳しくは、47 ページの "[トラックのプロジェクトへの追加](#)" を参照してください。

1. クリップに追加するトラックのトラック ヘッダーをクリックします。




2. メディア ブラウザで使用するクリップを選択します。

詳しくは、19 ページの "[メディアの検索](#)"を参照してください。



メディアを追加する前にマーク イン/アウト ポイントを調整する場合は、メディア ブラウザでマーク イン/アウト ポイントをログ記録できます。

3. メディア ブラウザの下部にある **【タイムラインに追加】** ボタン  をクリックします。

選択したファイルは、選択したトラックの最後にクリップとして追加され、新しいクリップが選択されます。



複数のクリップが選択されている場合は、メディア ブラウザに表示されている順番でトラックに追加されます。

ファイルは、Windows エクスプローラ、Finder、メディア ブラウザからタイムラインにドラッグすることもできます。

- メディア ファイルを既存のトラックにドロップすると、クリップが作成されます。
- メディア ファイルをトラックのヘッダーにドロップすると、新しいクリップはタイムラインの先頭に作成されます。
- メディア ファイルをタイムラインの空の領域にドロップすると、トラックが作成されます。

スパンされたクリップをタイムラインに追加すると、1 つのクリップが作成されます。

タイムラインの拡大率を変更するには、タイム ルーラーの上にあるスライダをドラッグするか、マウス ホイールをロールするか、トラックパッド上で垂直方向に 2 本指でドラッグします。


Catalyst Prepare に適用された色調整はすべて、メディアを Catalyst Edit タイムラインに追加するときに保存されます。

クリップの追加とトラックの作成

1. メディア ブラウザを使用して、メディア ファイルを見つけます。
2. プロジェクトに追加するメディア ファイルを選択します。



メディアを追加する前にマーク イン/アウト ポイントを調整する場合は、メディア ブラウザでマーク イン/アウト ポイントをログ記録できます。詳しくは、19 ページの "[メディアの検索](#)"を参照してください。

3. メディアブラウザの下部にある【ツール】ボタン  をクリックして、メニューから【選択範囲をトラックとして追加】を選択します。

選択したクリップごとに個別のトラックが作成され、クリップの各トラックにクリップが作成されます。クリップは、タイムラインの先頭から開始されます。



複数のクリップが選択されている場合は、メディアブラウザに表示されている順番でトラックに追加されます。

クリップをトラック間に追加するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらメディアブラウザからタイムラインに複数のクリップをドラッグします。

ファイルは、Windows エクスプローラ、Finder、メディアブラウザからタイムラインにドラッグすることもできます。メディアファイルを既存のトラックにドロップすると、クリップが作成されます。メディアファイルをタイムラインの空の領域にドロップすると、トラックが作成されます。


スパンされたクリップをタイムラインに追加すると、1つのクリップが作成されます。


タイムラインの拡大率を変更するには、タイムルーラーの上にあるスライダをドラッグするか、マウスホイールをロールするか、トラックパッド上で垂直方向に2本指でドラッグします。

Catalyst Prepare に適用された色調整はすべて、メディアを Catalyst Edit タイムラインに追加するとき保存されます。

Catalyst Prepare ライブラリのクリップの追加

Catalyst Prepare の【整理】モードでは、インポートしたクリップを確認したり、フォルダの関連クリップをグループ化したり、メタデータを表示および編集したり、マークポイントを表示したりすることができます。

Catalyst Edit メディアブラウザの Catalyst Prepare ライブラリ () を参照したり、Catalyst Prepare のクリップを以下の Catalyst Edit タイムラインにドラッグしたりすることができます。

1. 【Catalyst Prepare】ウィンドウの上部にある【整理】ボタンをクリックします。
2. 【ライブラリ】ボタン  を押すと、現在のライブラリが表示されます。ボタンをクリックして別のライブラリを選択するか、新規ライブラリを作成します。

ライブラリのメディアが【Catalyst Prepare 】ウィンドウの右側に表示されます。

3. 使用するクリップを選択して、Catalyst Edit  タイムラインにドラッグします。クリップを作成したい場所にドロップします。

メディアの再生


【ビデオプレビュー】はタイムラインの上に表示され、編集および再生中に、現在のカーソル位置にあるプロジェクトのビデオ出力が表示されます。このウィンドウは、フレームごとに編集してオーディオを同期する場合にも便利です。


再生モードの選択、ビデオのスクラブ、再生の制御を行うには、ビデオの下にあるトランスポート ツールバーを使用します。

ビデオのプレビュー

【ビデオプレビュー】はタイムラインの上に表示され、編集および再生中に、現在のカーソル位置にあるプロジェクトのビデオ出力が表示されます。このウィンドウは、フレームごとに編集してオーディオを同期する場合にも便利です。

画面上またはセカンダリ ディスプレイ上の任意の場所に配置可能なセカンダリ ウィンドウに、ビデオプレビューを表示することもできます。詳しくは、131 ページの "[Catalyst Edit オプションの編集](#)" を参照してください。

プライマリ ディスプレイとセカンダリ ウィンドウを使用してメディア ブラウザからファイルをプレビューする場合は、【[メディア ブラウザの設定](#)】ボタン  を使用して【メディア ブラウザの設定】メニューを表示することができます。詳しくは、19 ページの "[メディアの検索](#)" を参照してください。

 【ビデオプレビュー】ウィンドウは、クリップをトリミング、ロールトリミング、分割トリミング、またはスリップトリミングする際に、一時的に分割画面プレビュー モードに入ります。この一時的な分割画面モードによって、編集の両側を同時に表示することができます。



- クリップの左端をトリミングすると、プレビューの左側には前のクリップの最後のフレーム（前のクリップがない場合は黒）が表示され、プレビューの右側にはトリミングされているクリップの最初のフレームが表示されます。
- クリップの右端をトリミングすると、プレビューの左側にはトリミングされているクリップの最後のフレームが表示され、プレビューの右側には次のクリップの最初のフレーム（次のクリップがない場合は黒）が表示されます。
- クリップの左端または右端をスリップトリミングすると、プレビューの左側にはトリミングされているクリップの最初のフレームが表示され、プレビューの右側にはトリミングされているクリップの最後のフレームが表示されます。

オーディオが含まれているクリップを分割またはトリミングする場合は、非表示のフェードが編集時に適用され、急激なトランジションがソフトになります。

ビデオプレビューのスケーリング








ビデオプレビューのサイズを調整するには、拡大鏡をクリックします。



- [ビデオ] ペインのサイズに合わせてビデオをスケールするには、**【合わせる】** をクリックします。
- ビデオを定義済みの拡大レベルにスケールするには、プリセットをクリックします。
レベルが 100% 未満の場合、青い矩形をドラッグしてフレームの表示領域をパンおよび調整できます。
- カスタムズームレベルを選択するには、スライダをドラッグするか、**−** ボタンと **+** ボタンをクリックします。
- ズームインまたはズームアウトするには、サムネイルをクリックしてマウスホイールを回転させます。

トランスポートコントロールの使用





ビデオプレビューの下にあるトランスポートコントロールでは、再生を制御できます。

ボタン	説明
 先頭に移動	再生位置インジケータをタイムラインの先頭に移動します。
 前のフレーム	再生位置インジケータが左に 1 フレームまたは 1 フィールド移動します。
 再生	再生は再生位置インジケータから始まり、ファイルの最後まで継続します。
 停止	再生または録音を停止し、カーソルを開始位置に戻します。
 次のフレーム	再生位置インジケータが右に 1 フレームまたは 1 フィールド移動します。
 終端に移動	再生位置インジケータをタイムラインの最後に移動します。
 ループ再生	マークイン ポイントと マークアウト ポイントの間のみを連続モードで再生します。 詳しくは、46 ページの " 再生のインポイントとアウトポイントのマーキング " を参照してください。


分割画面プレビューの使用

分割画面プレビューを使用すると、ビデオ エフェクト有/無でプロジェクトをプレビューすることができます。詳しくは、99 ページの "[ビデオ エフェクトの使用](#)" を参照してください。


プレビュー モードを選択するには、ビデオ プレビューの右上隅にある **【分割画面プレビュー】** ボタンをクリックします。分割画面プレビューでは、ビデオ プレビューと波形/ヒストグラム/ベクトルスコープ モニタを分割できるので、オリジナルのビデオとエフェクトを適用したビデオを同時に確認できます。

-  **適用前** : 色補正適用前の画が表示されます。
-  **適用後** : エフェクト適用後の画が表示されます。
-  **分割** : 画面分割で表示されます。左側がエフェクト適用前、右側が適用後です。
 分割場所を移動する場合は、プレビュー フレーム上にカーソルを置きます。分割ポイントが表示されたら、画面の上部と下部にあるハンドルをドラッグして、プレビューを分割する場所を調整できます。




-  **2 アップ** : Side by side で表示されます。左側がエフェクト適用前、右側が適用後です。

セーフ エリアのオーバーレイおよびアナモフィック マスキングの表示

1.  ボタンをクリックして、ビデオ設定メニューを表示します。
2. ビデオプレビューでセーフ エリア ガイドと中心点を有効にするには、**【セーフ エリアの表示】** スイッチを選択します。
【セーフ エリアの表示】 が有効になっていると、フレームの 90% (アクションセーフ エリア) と 80% (タイトルセーフ エリア) がマークされた矩形がフレーミングのガイドラインとして Catalyst Edit に表示されます。
3. ビデオプレビューでコンテンツをアナモフィック バージョンで表示する淡色表示を有効にするには、**【マスク 2.39:1】** スイッチを選択します。







波形、ヒストグラム、およびベクトルスコープ モニタの表示

ビデオプレビューには、カラー値のモニタに使用できる波形モニタおよびヒストグラムが含まれています。

1.  ボタンをクリックして、ビデオ設定メニューを表示します。
2. **【波形】**、**【ヒストグラム】**、または**【ベクトルスコープ】** スイッチをオンにして、モニタを有効にします。






波形

波形モニタには、ビデオ信号の輝度値（明るさまたは Y コンポーネント）が表示されます。モニタは垂直軸で輝度値をプロットし、水平軸はフレーム幅に相当します。

オーバーレイ () または RGB 独立 () の波形を表示します。以下のボタンで各コンポーネントを単独で表示します。    

ヒストグラム

ヒストグラム モニタには、各カラー値に一致するピクセル数を表現します。垂直軸はピクセル数を表し、水平軸は 0,0,0 ~ 0,0,255 の RGB カラーの範囲を表します。

オーバーレイ () または RGB 独立 () のヒストグラムを表示します。以下のボタンで各コンポーネントを単独で表示します。   


ベクトルスコープ

ベクトルスコープ モニタを使用すると、ビデオ信号のクロミナンス値（カラー コンテンツ）をモニタできます。モニタは、カラーホイールの色相と彩度をプロットします。


ベクトルスコープには、ブロードキャストに規定されている赤 (R)、マゼンタ (Mg)、青 (B)、シアン (Cy)、緑 (G)、および黄色 (YI) の彩度のターゲットが表示されます。ビデオ信号の個々の色は、ベクトルスコープ内ではドットとして表示されます。スコープの中心からドットまでの距離は彩度を表し、ドットからスコープの中心までの線の角度は色相を表します。

例えば、画像に青の色合いがある場合、ベクトルスコープ内でのドットの分布はカラーホイールの青の部分に集中します。画像が範囲外の青の値を含む場合は、ベクトルスコープの表示は青のターゲットを超えます。

ベクトルスコープを使用して、シーンとシーン間の色を調整できます。調整をしないと、複数のカメラで撮影したシーン間の色味が明らかに異なる場合があります。

【ベクトルスコープの設定】ダイアログを開くには、**【設定】** ボタン  をクリックします。

【ベクトルスコープの設定】ダイアログを使用すると、スコープのモノクロ表示の切り替え、スコープのスケールの変更、スコープに表示されている色の明るさの調整、スコープのガイド（格子線）の明るさの調整を行うことができます。


 ブロードキャスト用に色補正を行う場合は、75%の**【スケール】**設定を使用します。より広範な色再現域を持つフィルムまたは Web 配信用に色補正を行う場合は、100%の設定を使用します。

タイムライン上の移動

ドラッグして再生位置インジケータを前後に検索し、編集ポイントを見つけることができます。シャトルコントロールの端へドラッグすると、再生速度が速くなります。再生を停止するには、シャトルコントロールを離します。

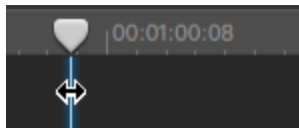


[J] キー、[K] キー、または [L] キーを押して、キーボードをシャトルコントロールとして使用することもできます。

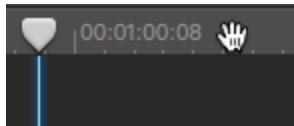
 [K] キーを押しながら [J] キーまたは [L] キーを押すと、シャトルノブモードをエミュレートできます。左にスクラブするには [K] キーを押しながら [J] キーを押し、右にスクラブするには [K] キーを押しながら [L] キーを押します。

項目	説明
J	逆方向のスクラブモード。もう一度押すと再生レートを加速できます。
K	一時停止します。
L	順方向のスクラブモード。もう一度押すと再生レートが速くなります。

再生カーソルをドラッグするとタイムラインをスクラブできます。




ルーラーをドラッグすると、タイムラインをスクロールすることができます。

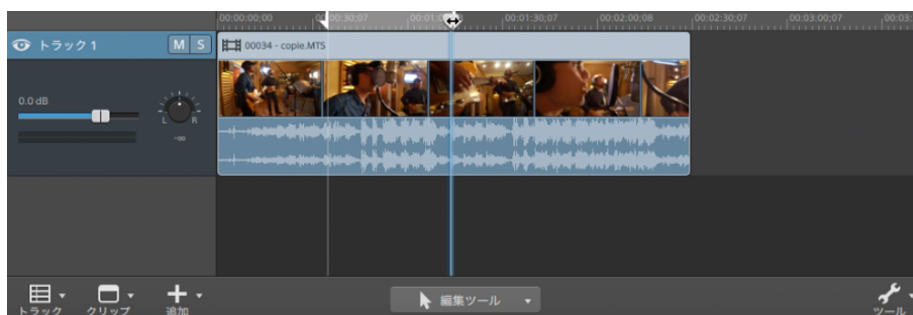




再生のインポイントとアウトポイントのマーキング


タイムラインの一部だけを再生する場合は、ビデオを再生する部分を選択することができます。


 メディアブラウザモードの [プレビュー] ペインを使用してマークポイントを調整することもできます。


- 再生位置インジケータを設定するには、タイムラインをクリックします。



- タイムラインの下にある [ツール] ボタン  をクリックして、[マークイン] を選択するか、[I] キーを押します。
- 再生位置インジケータを設定するには、[タイムライン] をクリックします。
- タイムラインの下にある [ツール] ボタン  をクリックして、[マークアウト] を選択するか、[O] キーを押します。

【再生】  ボタンをクリックすると、再生位置インジケータから再生が始まり、**マークアウト**位置またはファイルの最後まで再生が継続します。


マークイン/マークアウトリージョンを繰り返しループ再生する場合は、**【ループ再生】** ボタン  を選択します。

 クリップを選択しマークイン/マークアウトリージョンを設定して長さを一致させるには、編集、スリップ、またはフェードツールを使用してクリップをダブルクリックします。

編集、スリップ、またはフェードツールを使用して2つのクリップ間のフェードをダブルクリックし、フェードエリアを選択して、マークイン/アウトリージョンがその長さと同じように設定します。

マークインポイント/マークアウトポイントは、タイムラインの上のインジケータをドラッグして調整できます。

マークインポイント/マークアウトポイントは、タイムラインの上のインジケータをドラッグして長さを変えずに調整できます。

マークイン/アウトポイントをリセットするには、タイムラインの下にある [ツール] ボタン  をクリックし、**【マークイン/アウトポイントをリセット】** を選択します。


トラックの編集

トラックとは、タイムライン上に配置されるオーディオとビデオクリップの構成物です。


トラックにクリップを配置することで、クリップの開始と停止の時間が決まります。最終的な出力は、複数のトラックがミックスされて生成されます。


トラックのプロジェクトへの追加

プロジェクト内に空のトラックを作成して、後でプロジェクトに追加するメディアのプレースホルダとして使用するか、プロジェクトにメディアを追加する際にトラックを作成することができます。

 ビデオトラックは、上のトラックで下のトラックが見えなくなるようにコンポジットされています。クリップに透明の領域が含まれている場合、下のクリップはその領域を通して表示されます。

空のトラックの追加

タイムラインの下にある【トラック】ボタン  をクリックし、メニューから【新規】を選択します。空の新規トラックがフォーカストラックの上に作成されます。


 【Ctrl】キーと【Shift】キーを押しながら【N】キーを押すか（Windows）、または【Shift】キーと【⌘】キーを押しながら【N】キーを押します（OS X）。

空の新規トラックを作成するには、最後のトラックヘッダーの下をダブルクリックします。


新規トラックとしてメディアファイルを追加する

1. メディアブラウザで使用するクリップを選択します。

詳しくは、19ページの“[メディアの検索](#)”を参照してください。

2. タイムラインの下にあるメディアブラウザの下部の【メディアツール】ボタン  をクリックし、メニューから【選択範囲をトラックとして追加】を選択してプロジェクト内の新規トラックにファイルを追加します。新規トラックがトラックリストの下部に作成されます。

選択したクリップごとに個別のトラックが作成され、各クリップのタイムライン上にクリップが作成されます。タイムラインの先頭からクリップが開始され、新規クリップが選択されます。

 複数のクリップが選択されている場合は、メディアブラウザに表示されている順番でトラックに追加されます。

クリップをトラック間に追加するには、【Ctrl】キー（Windows）または【⌘】キー（OS X）を押しながらメディアブラウザからタイムラインに複数のクリップをドラッグします。

トラックの削除

トラックを削除するには、トラックを選択して、次のアクションのいずれかを実行します。

- [Delete] キーを押します。
- タイムラインの下にある【トラック】ボタン  をクリックし、メニューから【削除】を選択します。

トラックの移動


トラックを移動するには、トラック リスト内の新しい位置にトラック ヘッダーをドラッグします。インジケータが表示され、トラックの移動先が示されます。

マウス ボタンを離すと、トラックとそのクリップが移動します。

ピクチャインピクチャ エフェクトの作成

ピクチャインピクチャ エフェクトを使用すると、ピクチャインピクチャ コンポジットのクリップのサイズ変更と配置を行うことができます。

内側のピクチャの作成

1. プロジェクトで 2 つのトラックを作成します。詳しくは、47 ページの "[トラックのプロジェクトへの追加](#)" を参照してください。
2. トラックにクリップを追加します。
 - 上部のトラックに、小さい、内側のピクチャを含めます。
 - 下部のトラックに、背景のクリップを含めます。詳しくは、38 ページの "[メディアの追加とクリップの作成](#)" を参照してください。
3. 上部のトラックをクリックして選択します。
4. タイムラインの下にある【トラック】ボタン  をクリックし、【ピクチャインピクチャ】を選択します。ピクチャインピクチャ プラグインのコントロールがトラック インスペクタに表示されます。

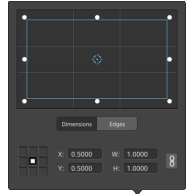
ピクチャインピクチャ設定の編集

1. 上部のクリップを含むトラックを選択します。
2. 【インスペクタ】ボタンをクリックして、【インスペクタ】ペインを表示します。

3. インスペクタでは、[トラック] タブを選択し、ピクチャインピクチャ プラグインの設定を編集します。ピクチャインピクチャ プラグインを使用して、上部のクリップのサイズと位置を調整します。
詳しくは、57 ページの "[トラック インスペクタの使用](#)"を参照してください。

項目	説明
----	----

場所 ドロップダウン リストには、フレーム内のビデオの現在の位置が表示されます。クリックすると、ビデオを配置するために使用できる編集コントロールが表示されます。




ボックスの位置の調整

編集コントロールのポイントをドラッグして、フレーム内のビデオの位置を設定します。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。

【サイズ】 タブに値を入力すると、アンカー ポイントを設定し、XY 座標を使用してボックスの位置を指定することができます。たとえば、アンカー コントロールの右上隅をクリックし、座標ポイント 0.5000, 0.5000 を使用して、ボックスの右上隅をコントロールの中心に移動させます。

ボックスのサイズの調整

編集コントロールで矩形の隅をドラッグするか、**【W】** および **【H】** 編集ボックスに値を入力して、フレームのサイズを設定することができます。

【サイズ】 タブに値を入力すると、W/H のサイズを使用してボックスのサイズを設定することができます。**【ロック】** ボタン  をクリックすると、ボックスのアスペクト比が維持されるため、幅または高さを変更すると、他の値も自動的に更新されます。

ボックスのエッジの調整

ボックスの各エッジの位置をそれぞれ指定するには、編集コントロールで矩形のエッジをドラッグするか、**【エッジ】** タブに値を入力します。



アスペクト比を維持したままサイズを変更するには、矩形の隅をドラッグします。



【Shift】 キーを押しながら矩形の隅をドラッグし、サイズの変更とアスペクト比の調整を行います。

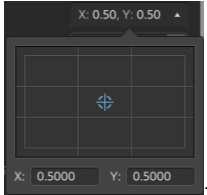

【Alt】 キー (Windows) または **【Option】** キー (OS X) を押しながら、中心から矩形のサイズを変更できます。

コントロールを微調整するには、**【Ctrl】** キー (Windows) または **【⌘】** キー (OS X) を押しながらドラッグします。

角を選択すると、矢印キーを使用して選択した角を調整するか、**【Ctrl】** キー (Windows) または **【⌘】** キー (OS X) を押しながら矢印キーを押して微調整を行うことができます。

矩形のサイズを変更するには、矩形のエッジをドラッグします。

項目	説明
	<p> アスペクト比を維持したままサイズを変更するには、矩形のエッジをドラッグします。</p> <p>[Shift] キーを押しながらエッジをドラッグし、サイズの変更とアスペクト比の調整を行います。</p> <p>[Alt] キー (Windows) または [Option] キー (OS X) を押しながら、中心から矩形のサイズを変更できます。</p> <p>コントロールを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。</p> <p>矩形の中心をドラッグすると、サイズを変更せずに移動できます。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。</p> <p> [Shift] キーを押しながらドラッグすると、水平方向/垂直方向/45 度に動きが制限されます。</p> <p>コントロールを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。</p> <p>矩形を選択すると、矩形の位置をコピーして別のクリップに貼り付けることができます。</p>
回転	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、フレームのビデオを回転します。
水平方向にフリップ	クリックしてビデオを水平に反転します。
垂直方向にフリップ	クリックしてビデオを垂直に反転します。
不透明度	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、上部の画像の不透明度を調整します。不透明度を低くすると、下側のトラックのビデオが前景に透けて見えます。
シャドウ	
種類	前景画像の上または後ろにシャドウを付けるには、ドロップダウン リストから設定を選択します。

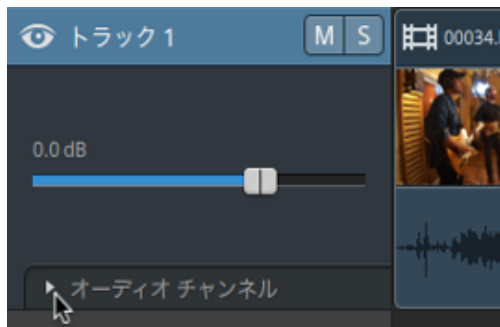
項目	説明
オフ セツ ト	ドロップダウン リストには、前景画像に対するシャドウの現在の位置が表示されます。クリックすると、シャドウを配置するために使用できる編集コントロールが表示されます。 
	フレーム内のシャドウの位置を設定するには、編集コントロールでポイントをドラッグするか、 [X] および [Y] のボックスに値を入力します。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。  ポイントを微調整するには、 [Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらかドラッグします。
回転	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、フレームのシャドウを回転します。
ス ケー ル	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、シャドウのサイズを調整します。
ブ ラー	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、シャドウのエッジをフェザー処理します。
不 透 明 度	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、シャドウの不透明度を調整します。不透明度を低くすると、下側のトラックのビデオが前景に透けて見えます。
グ ロー	
種類	前景画像の上または後ろにグロー エフェクトを表示するには、ドロップダウン リストから設定を選択します。
量	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、グロー エフェクトのサイズを調整します。
色/ セ カン ダ リ カ ラー	色見本をクリックするとカラー ピッカーが表示され、色を選択するかカラー値を入力してシャドウの色を設定できます。シャドウの不透明度 (アルファ値) も調整できます。

トラックコントロールの調整

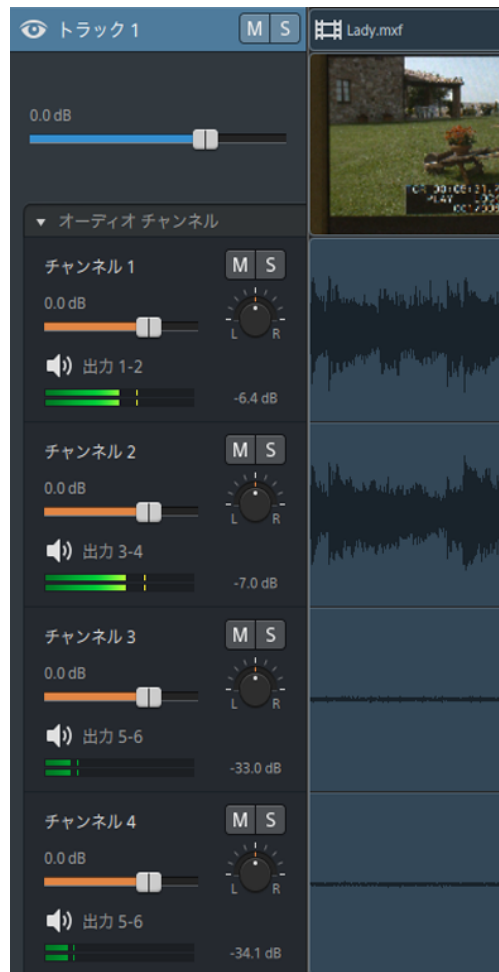
トラックリストのコントロールを使用すると、トラックのボリュームやパンを調整したり、トラックのミュートやソロ再生を行うことができます。



トラックに複数のチャンネルが存在する場合は、チャンネルごとに個別のコントロールが表示されます。トラック全体のレベルを調整するには、青色の【ボリューム】フェーダーを使用し、トラックのレベルに対する各チャンネルの効果を調整するには、オレンジ色の【ボリューム】フェーダーを使用できます。詳しくは、120ページの"[マルチチャンネルオーディオの操作](#)"を参照してください。

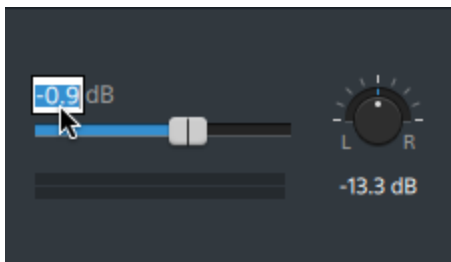



■ をクリックしてトラックのチャンネルを表示します。



トラック ボリュームの調整

選択したトラックの全体のボリュームを調節するには、**【ボリューム】** フェーダーをドラッグします。つまみの中心をダブルクリックすると、フェーダーをリセットできます。以下の画像のように、新しい値を入力するには数値をクリックします。





 トラックヘッダーの**【ボリューム】** フェーダーをドラッグすると、トラックインスペクタの**【ボリューム】** フェーダーも調整されます。詳しくは、57ページの["トラックインスペクタの使用"](#)を参照してください。

ボリュームフェーダーを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。


ボリュームを調整するときは、必ずオーディオメーターを見てください。すべてのトラックのボリュームを追加するので、オーディオ出力がクリッピングしやすくなります。再生中に赤いクリップ記号が表示されないようにしてください。詳しくは、128ページの["オーディオレベルのモニタ"](#)を参照してください。

トラックインスペクタのメーターには、選択したトラックのオーディオレベルが表示されます。[Catalyst Edit] ウィンドウの上部にあるアクティビティペインのメーターには、カーソル位置のすべてのオーディオの合計が表示されます。


トラックのミュート



 ボタンをクリックして選択したオーディオトラックをミュート/ミュートを解除するか、 ボタンをクリックしてビデオトラックをミュートします。


ミュートにすると、トラックはプロジェクト出力から除外されます。トラックの**【ミュート】** ボタンを有効にすると、トラックをミュートグループに追加することができます。

 トラックヘッダーの**【ミュート】** ボタンをクリックすると、トラックインスペクタの**【ミュート】** ボタンも更新されます。

トラックのソロ再生

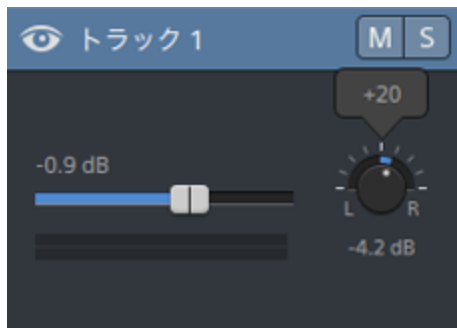
 ボタンをクリックすると、選択したトラックがソロ再生されるか、ソロ再生が解除されます。

トラックがソロ再生されると、ソロ再生されていないすべてのトラックを効率的にミュートにできます。ソログループにトラックを追加するには、そのトラックの ボタンをクリックします。ソログループからトラックを削除するには、もう一度 ボタンをクリックします。


 トラックヘッダーの**【ソロ】** ボタンをクリックすると、トラックインスペクタの**【ソロ】** ボタンも更新されません。

トラックのパン

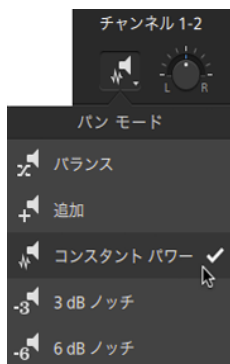
ステレオフィールドにおけるトラックの位置を制御するには、【パン】ノブをドラッグします。下または左にドラッグすると、トラックは左側のスピーカー寄りに配置され、上または右にドラッグすると右側のスピーカー寄りに配置されます。パンを中央にリセットするには、ノブをダブルクリックします。



トラックヘッダーの【パン】ノブをドラッグすると、トラックインスペクタの【パン】ノブも調整されます。

 モノラル出力に割り当てられているトラックやマルチチャンネルクリップを含むトラックには、【トラックパン】ノブは表示されません。トラックにマルチチャンネルクリップが存在する場合は、オーディオチャンネルコントロールを使用して各チャンネルをパンします。


トラックで使用するパンモデルを変更する場合は、トラックインスペクタの【パンモード】ボタンをクリックし、メニューから設定を選択します。

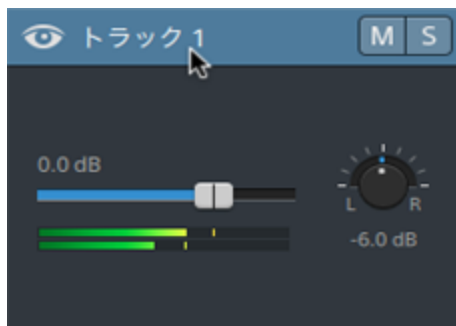


詳しくは、57ページの"[トラックインスペクタの使用](#)"を参照してください。

トラック インспекタの使用

インスペクタ  では、[トラック] タブを選択し、選択したトラックを表示して設定を編集します。

 トラックのヘッダーをクリックして選択すると、インスペクタが表示されている場合は、[トラック] タブが自動的に表示されます。





サマリー

【名前】 ボックスに値を入力し、選択したトラックの名前を設定します。ここに入力した名前はトラック ヘッダーに表示されます。



【リップル】 を最初に有効にすると、すべてのトラックでリップル編集が有効になります。トラックのリップル編集をオンまたはオフにする場合は、**【リップル同期】** スイッチを使用します。

 **【リップル同期】** スイッチは、タイムラインの上にある **【リップル】** ボタン  が有効になっている場合にのみ利用できます。

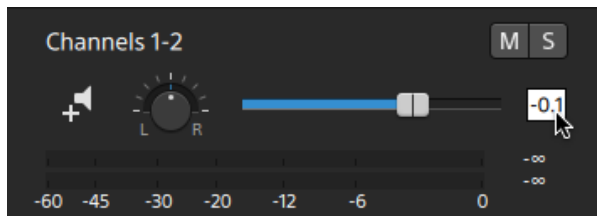
オーディオ出力


プロジェクトの各トラックは、2つのオーディオチャンネルをサポートし、プロジェクトの各クリップは、マルチチャンネルオーディオをサポートします。詳しくは、120ページの "[マルチチャンネルオーディオの操作](#)"を参照してください。

トラック インспекタのオーディオ出力コントロールでは、トラックの全体レベルを調整し、各チャンネルのステレオトラックへの効果をコントロールできます。

項目	説明
----	----

トラック ボリューム 選択したトラックのボリューム全体を調整するには、値をクリックして新しい値を入力するか、フェーダーをドラッグします。つまみの中心をダブルクリックすると、フェーダーをリセットできます。



 トラックインスペクタの【ボリューム】フェーダーをドラッグすると、トラックヘッダーの【ボリューム】フェーダーも調整されます。詳しくは、54ページの["トラックコントロールの調整"](#)を参照してください。


ボリュームフェーダーを微調整するには、[Ctrl]キー（Windows）または[⌘]キー（OS X）を押しながらドラッグします。

ボリュームを調整するときは、必ずオーディオメーターを見てください。すべてのトラックのボリュームを追加するので、オーディオ出力がクリッピングしやすくなります。再生中に赤いクリップ記号が表示されないようにしてください。詳しくは、128ページの["オーディオレベルのモニタ"](#)を参照してください。

トラックインスペクタのメーターには、選択したトラックのオーディオレベルが表示されます。[Catalyst Edit]ウィンドウの上部にあるアクティビティペインのメーターには、カーソル位置のすべてのオーディオの合計が表示されます。

トラックパン ステレオフィールドにおけるトラックの位置を制御するには、ノブをドラッグします。下または左にドラッグすると、オーディオは左側のスピーカー寄りに配置され、上または右にドラッグすると右側のスピーカー寄りに配置されます。パンを中央にリセットするには、ノブをダブルクリックします。

トラックインスペクタの【パン】ノブをドラッグすると、トラックヘッダーの【パン】ノブも調整されます。

 モノラル出力に割り当てられているトラックやマルチチャンネルクリップを含むトラックには、【トラックパン】ノブは表示されません。トラックにマルチチャンネルクリップが存在する場合は、オーディオチャンネルコントロールを使用して各チャンネルをパンします。

項目	説明
パン モード	【パン モード】 ボタンをクリックし、メニューから設定を選択して、トラックで使用するパン モデルを選択します。



- **追加**：このモードは、ステレオ ファイルをパンするときに特に便利です。ステレオ フィールドを横切るようにパンすると、ステレオ イメージはスピーカー間を横切るように現れます。どちらかのチャンネルに向けてパンしていくと、そのチャンネルに反対側のチャンネルからの信号が追加されていき、最後には両方のチャンネルの信号が 1 つのチャンネルに最大音量で出力されます。

このモードではリニア パン カーブが使用されます。

- **コンスタント パワー**：このモードはモノラル音源をパンするときに便利です。このモードでは、チャンネル間をパンするときに音量が維持されます。

ステレオ ファイルを 100% R にパンすると、メディア ファイルのライト チャンネルのみが再生され、このチャンネルが両出力チャンネルに送られます。続けて左にパンすると、レフト チャンネルが徐々に出力に追加され、ライト チャンネルは徐々にフェードアウトして、スライダが 100% L に達すると、両出力チャンネルからレフト チャンネルのみが聞こえるようになります。

- **3 dB ノッチ**：このモードは、ステレオ音源のチャンネルの相対的な信号レベルを調整するときに便利です。センターにパンしたときに -3 dB カットが適用されます。センターからいずれかのチャンネルにパンしていくと、反対側のチャンネルは -3 dB から $-\infty$ まで減衰します。パンした信号は、-3 dB から 0 dB まで増幅されます。

このパン モードではリニア パン カーブが使用されます。


- **6 dB ノッチ**：このモードは、ステレオ音源のチャンネルの相対的な信号レベルを調整するときに便利です。センターにパンしたときに -6 dB カットが適用されます。センターからいずれかのチャンネルにパンしていくと、反対側のチャンネルは -6 dB から $-\infty$ まで減衰します。パンした信号は、-6 dB から 0 dB まで増幅されます。


このパン モードではリニア パン カーブが使用されます。





たとえば、【3 dB ノッチ】または【6 dB ノッチ】設定を使用している場合、右方向に完全にパンすると、ライト チャンネルでは 0 dB で再生され、レフト チャンネルでは再生されません。センターにパンすると、各チャンネルは指定したセンター値（-3 dB または -6 dB）まで減衰されます。左方向にパンすると、レフト チャンネルでは 0 dB で再生され、ライト チャンネルでは再生されません。



項目	説明
----	----


ミュート  をクリックすると、選択したトラックがミュートになるか、ミュートが解除されます。

ミュートにすると、トラックはオーディオ ミックスから除外されます。トラックの  ボタンを有効にすると、トラックをミュート グループに追加することができます。

 トラックインスペクタの【ミュート】ボタンをクリックすると、トラックヘッダーの【ミュート】ボタンも更新されます。

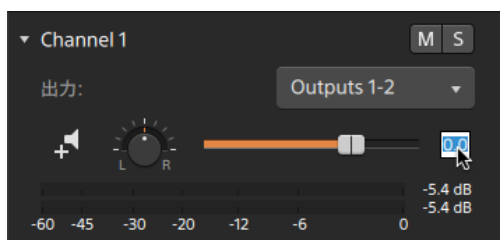
ソロ  をクリックすると、選択したトラックがソロ再生されるか、ソロ再生が解除されます。


トラックがソロ再生されると、ソロ再生されていないすべてのトラックを効率的にミュートにできます。ソログループにトラックを追加するには、そのトラックの  ボタンをクリックします。ソログループからトラックを削除するには、もう一度  ボタンをクリックします。

 トラックインスペクタの【ソロ】ボタンをクリックすると、トラックヘッダーの【ソロ】ボタンも更新されます。

トラックにマルチチャンネルクリップが含まれる場合のみ、以下のコントロールが表示されます。詳しくは、120 ページの "[マルチチャンネルオーディオの操作](#)" を参照してください。

チャンネルのボリューム 選択したチャンネルのボリュームは、フェーダーをドラッグして調整できます。つまみの中心をダブルクリックすると、フェーダーをリセットできます。新しい値を入力するには数値をダブルクリックします。











 トラックインスペクタの【ボリューム】フェーダーをドラッグすると、トラックヘッダーの【ボリューム】フェーダーも調整されます。詳しくは、54 ページの "[トラックコントロールの調整](#)" を参照してください。

ボリュームフェーダーを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。

ボリュームを調整するときは、必ずオーディオメーターを見てください。すべてのトラックのボリュームを追加するので、オーディオ出力がクリッピングしやすくなります。再生中に赤いクリップ記号が表示されないようにしてください。詳しくは、128 ページの "[オーディオレベルのモニタ](#)" を参照してください。


トラックインスペクタのメーターには、選択したチャンネルのオーディオレベルが表示されます。[Catalyst Edit] ウィンドウの上部にあるアクティビティペインのメーターには、カーソル位置のすべてのオーディオの合計が表示されます。


項目	説明
チャンネルのパン	<p>ステレオ フィールドにおけるチャンネルの位置を制御するには、ノブをドラッグします。下または左にドラッグすると、オーディオは左側のスピーカー寄りに配置され、上または右にドラッグすると右側のスピーカー寄りに配置されます。パンを中央にリセットするには、ノブをダブルクリックします。</p> <p>トラック インспекタの【パン】ノブをドラッグすると、トラック ヘッダーの【パン】ノブも調整されます。</p> <p> モノラル出力に割り当てられているチャンネルの【チャンネル パン】ノブは表示されません。</p>
パン モード	<p>【パン モード】 ボタンをクリックし、メニューから設定を選択して、チャンネルに使用するパン モデルを選択します。</p> <div data-bbox="506 655 734 1018" data-label="Image"> </div> <p>使用可能なパン モードの説明については、59 ページの "パン モード" を参照してください。</p>
ミュート	<p> をクリックすると、選択したチャンネルがミュートになるか、ミュートが解除されます。</p> <p>ミュートにすると、チャンネルはオーディオ ミックスから除外されます。チャンネルの  ボタンを有効にすると、チャンネルをミュートグループに追加することができます。</p> <p> トラック インспекタの【ミュート】 ボタンをクリックすると、トラック ヘッダーの【ミュート】 ボタンも更新されます。</p>
ソロ	<p> をクリックすると、選択したチャンネルがソロ再生されるか、ソロ再生が解除されます。</p> <p>チャンネルがソロ再生されると、ソロ再生されていないすべてのチャンネルを効率的にミュートにできます。ソロ グループにチャンネルを追加するには、チャンネルの  ボタンをクリックします。ソロ グループからチャンネルを削除するには、もう一度  ボタンをクリックします。</p> <p> トラック インспекタの【ソロ】 ボタンをクリックすると、トラック ヘッダーの【ソロ】 ボタンも更新されます。</p>

ビデオ エフェクト

選択したトラックにエフェクトが適用されている場合は、ビデオ エフェクト コントロールを使用して各エフェクトの設定を制御できます。詳しくは、100 ページの "[トラックへのエフェクトの追加](#)"を参照してください。




チェーンからプラグインを削除するには、**【削除】** ボタン  をクリックします。

チェーンから削除せずにプラグインをバイパスするには、**【ミュート】** ボタン  をクリックします。

プラグインの見出しをドラッグして、プラグイン チェーンの位置を変更します。

切り替え矢印をクリックすると、プラグインの各コントロールの表示/非表示が切り替わります。

タイムライン設定の調整


タイムラインの上にある **【タイムライン設定】** ボタン  をクリックして、プロジェクトタイムラインのさまざまな設定を調整できる **【タイムライン設定】** メニューを表示します。



最初のビデオ クリップをプロジェクトに追加すると、タイムラインの設定はメディア プロパティに合うように自動で調整されます。詳しくは、38 ページの "[メディアの追加とクリップの作成](#)"を参照してください。

トラックの高さの調整


トラックの高さを調整すると、プロジェクトがより広い範囲で表示したり、特定のトラックにフォーカスしたりすることができます。

1. タイムラインの上にある **【タイムライン設定】** ボタン  をクリックします。
2. **【トラックの高さ】** スライダーを左にドラッグしてすべてのトラックを短くするか、右にドラッグしてすべてのトラックを高くします。



タイムラインのサイズを変更するためにビデオ プレビューのサイズを調整する場合は、ビデオ プレビューとタイムラインの間に分割バーをドラッグします。

マーカー ルーラーの表示と非表示

1. タイムラインの上にある **【タイムライン設定】** ボタン  をクリックします。
2. **【マーカー ルーラー】** スイッチをクリックして、マーカー ルーラーを表示または非表示にします。

詳しくは、84 ページの "[マーカーの使用](#)"を参照してください。





クリップの編集

クリップとは、Catalyst Edit タイムライン上で発生するメディア ファイルを表す構成物です。クリップには、メディア ファイル全体やメディア ファイルの一部を割り当てることができます。各クリップを別々にトリミングできるので、1つのメディア ファイルを繰り返し使用して、異なるクリップをいくつでも作成できます。タイムライン上のクリップの位置によって、プロジェクト内でクリップを再生するタイミングが決まります。

編集ツール

タイムラインの下にある【ツール】ボタンを押すと、アクティブな編集ツールを選択できます。

ボタンをクリックして、メニューからツールを選択します。

ツール	説明
	<p>編集ツール：編集ツールを使用すると、タイムライン上でクリップを選択、トリミング、移動できます。</p> <p>詳しくは、68ページの"クリップのトリミング"および66ページの"クリップの移動"を参照してください。</p> <p> 編集ツールに切り替えるフォーカスがタイムラインにある場合は、[E] キーを押します。</p> <p>[Shift] キーを押しながら、編集ツールでオーディオまたはビデオストリームの終端をドラッグして[ストリームの編集]モードを一時的に有効にします。詳しくは、71ページの"ストリーム編集 (L-J カットおよびロール)"を参照してください。</p> <p>一時的に編集ツールに切り替えるには、[E] キーを押し続けます。編集が終わったら、[E] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。</p>
	<p>ロールトリミングツール：ロールトリミングツールを使用すると、2つの隣接するクリップの端を同時にトリミングできます。</p> <p>詳しくは、68ページの"クリップのトリミング"を参照してください。</p> <p> ロールトリミングツールに切り替えるフォーカスがタイムラインにある場合は、[R] キーを押します。</p> <p>[Shift] キーを押しながら、ロールトリミングツールでオーディオまたはビデオストリームの終端をドラッグして[ストリームの編集]モードを一時的に有効にします。詳しくは、71ページの"ストリーム編集 (L-J カットおよびロール)"を参照してください。</p> <p>一時的にロールトリミングツールに切り替えるには、[R] キーを押し続けます。編集が終わったら、[R] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。</p>

ツール **説明**



選択ツール：選択ツールを使用して、クリップを選択します。

詳しくは、65ページの["クリップの選択とカーソルの配置"](#)を参照してください。



選択ツールに切り替えるフォーカスがタイムラインにある場合は、[C] キーを押します。

一時的に選択ツールに切り替えるには、[C] キーを押し続けます。クリップの選択が終わったら、[C] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。



スリップ ツール：クリップを選択、スリップ、スリップ トリミングするには、スリップ ツールを使用します。

詳しくは、73ページの["クリップのスリップ"](#)を参照してください。



スリップ ツールに切り替えるフォーカスがタイムラインにある場合は、[P] キーを押します。

一時的にスリップ ツールに切り替えるには、P キーを押し続けます。編集が終わったら、P キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。



分割トリミング ツール：クリップを分割およびトリミングするには、分割トリミング ツールを使用して、分割する位置をクリックしてドラッグし、得られるクリップをトリミングします。ドラッグせずにクリックすると、クリップはクリックした位置で分割されます。

詳しくは、68ページの["クリップのトリミング"](#)を参照してください。



分割トリミング ツールに切り替えるフォーカスがタイムラインにある場合は、[T] キーを押します。

一時的に分割トリミング ツールに切り替えるには、[T] キーを押し続けます。編集が終わったら、[T] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。



フェード ツール：フェード ツールを使用すると、クリップのレベルまたは不透明度、フェード イン/アウトカーブを調整できます。

詳しくは、87ページの["クリップ フェード"](#)を参照してください。



フェード ツールに切り替えるフォーカスがタイムラインにある場合は、[F] キーを押します。

一時的にフェード ツールに切り替えるには、[F] キーを押し続けます。編集が終わったら、[F] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。



エンベロープ ツール：エンベロープ ツールを使用すると、クリップの長さでボリュームをオートメーションできます。

詳しくは、88ページの["クリップのボリューム オートメーション"](#)を参照してください。




エンベロープ ツールに切り替えるフォーカスがタイムラインにある場合は、[V] キーを押します。

[Shift] キーを押しながら、エンベロープ ツールでオーディオまたはビデオ ストリームの終端をドラッグして [ストリームの編集] モードを一時的に有効にします。詳しくは、71ページの["ストリーム編集 \(L-J カットおよびロール\)"](#)を参照してください。

一時的にエンベロープ ツールに切り替えるには、[V] キーを押し続けます。編集が終わったら、[V] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。

クリップの選択とカーソルの配置


さまざまな編集タスクでは、まずデータを選択してカーソルを配置します。

 任意の編集ツールでクリップを選択することもできますが、選択ツールを使用すると、選択中にクリップを移動できないようにすることができます。詳しくは、63ページの「[編集ツール](#)」を参照してください。

すべてのクリップを選択するには、[Ctrl] キーを押しながら [A] キー (Windows) を押すか、[⌘] キーを押しながら [A] キー (OS X) を押します。

1つのクリップの選択

クリップをクリックして選択し、他の選択したクリップを選択解除することができます。

 カーソルを移動させずにクリップを選択する場合は、クリップのヘッダーをクリックします。




選択したクリップをすべて選択解除するには、タイムラインの空白の領域をクリックします。

隣接した複数のクリップの選択

[Shift] キーを押しながら、選択する最初のクリップと最後のクリップをクリックします。最初にクリックしたクリップと最後にクリックしたクリップの間にあるすべてのクリップが選択されます。

隣接していない複数のクリップの選択

1. タイムラインの下にある【ツール】ボタンをクリックして、[選択ツール]  を選択します。


 [Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながら、編集ツール  、ロールトリミング  、スリップツール  、またはフェードツール  でクリップをクリックします。

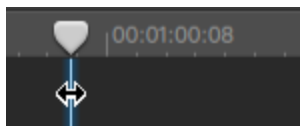
2. 選択するクリップをクリックします。選択したクリップがハイライトされます。

クリップを選択解除するには、もう一度クリップをクリックします。

カーソルの配置

カーソル位置を設定するには、タイムラインをクリックするか、タイムルーラーをクリックします。カーソルがクリックした位置に移動し、ビデオプレビューの下にカーソル位置が表示されます。

 クリップの選択を変更せずにカーソルの位置を決める場合は、カーソルまたは再生ヘッドをドラッグすることができます。




[↑] / [↓] キーを押して、選択したトラックで前のクリップ/次のクリップにカーソルを移動させます（タイムラインにフォーカスがある場合）。

クリップの移動


タイムライン上のクリップの位置は、プロジェクト内でクリップが再生される位置を決定します。

クリップを新しい場所にドラッグ

ドラッグがプロジェクト内でクリップを移動する最も簡単な方法です。クリップをドラッグして、プロジェクト内の時間的な位置を前後に移動したり、別のトラックに移動することができます。

1. タイムラインの下にある **【ツール】** ボタンをクリックして、**【編集ツール】**  を選択します。
2. 移動するクリップを選択します。詳しくは、65 ページの "[クリップの選択とカーソルの配置](#)" を参照してください。
3. クリップを再生する位置までドラッグします。


リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。詳しくは、81 ページの "[リップル編集](#)" を参照してください。

 クリップを別のトラックにドラッグすると、リップルモードは一時的に中断されます。

クリップをタイムラインの空白の領域にドラッグして、新しいトラックを作成します。


4. マウス ボタンを離します。

複数のクリップの移動

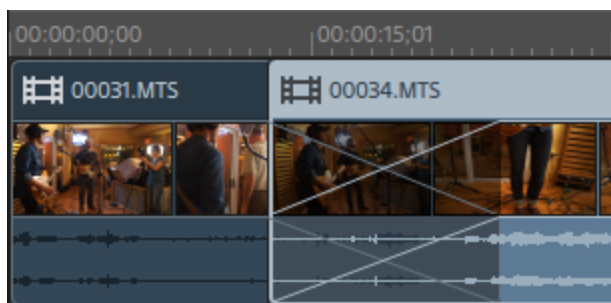
1. タイムラインの下にある **【ツール】** ボタンをクリックして、**【編集ツール】**  を選択します。
2. 移動するクリップを選択します。詳しくは、65 ページの "[クリップの選択とカーソルの配置](#)" を参照してください。
3. 再生する位置までクリップをドラッグします。リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。詳しくは、81 ページの "[リップル編集](#)" を参照してください。
4. マウス ボタンを離します。

クロスフェードの作成

2つのクリップをオーバーラップさせると、クロスフェードが2つのクリップ間のトランジションに適用されます。


1. タイムラインの下にある【ツール】ボタンをクリックして、【編集ツール】  を選択します。
2. 移動するクリップを選択します。詳しくは、65ページの"[クリップの選択とカーソルの配置](#)"を参照してください。
3. 別のクリップにオーバーラップするようにクリップを移動します。リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。詳しくは、81ページの"[リップル編集](#)"を参照してください。

オーバーラップ部分にフェードが適用されます。



埋め込みクリップの作成


短めのクリップを別のクリップの中央に配置すると、1番目のクリップでは、2番目のクリップに移行するカットトランジションと、1番目のクリップに戻るカットトランジションが再生されます。

1. タイムラインの下にある【ツール】ボタンをクリックして、【編集ツール】  を選択します。
2. クリップを選択します。詳しくは、65ページの"[クリップの選択とカーソルの配置](#)"を参照してください。
3. 必要に応じて、埋め込みクリップとして使用する短めのクリップをトリミングします。詳しくは、68ページの"[クリップのトリミング](#)"を参照してください。
4. 短い方のクリップを長い方のクリップにドラッグします。リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。詳しくは、81ページの"[リップル編集](#)"を参照してください。

プロジェクトを再生すると、1番目のクリップでは、2番目のクリップに移行するカットトランジションと、1番目のクリップに戻るカットトランジションが再生されます。埋め込みクリップには、フェードは適用されません。

クリップのトリミング

クリップのトリミングでは、クリップのどの部分をタイムラインで再生するかをコントロールできます。


 [ビデオプレビュー] ウィンドウは、クリップをトリミング、ロールトリミング、分割トリミング、またはスリップトリミングする際に、一時的に分割画面プレビューモードに入ります。この一時的な分割画面モードによって、編集の両側を同時に表示することができます。




- クリップの左端をトリミングすると、プレビューの左側には前のクリップの最後のフレーム（前のクリップがない場合は黒）が表示され、プレビューの右側にはトリミングされているクリップの最初のフレームが表示されます。
- クリップの右端をトリミングすると、プレビューの左側にはトリミングされているクリップの最後のフレームが表示され、プレビューの右側には次のクリップの最初のフレーム（次のクリップがない場合は黒）が表示されます。
- クリップの左端または右端をスリップトリミングすると、プレビューの左側にはトリミングされているクリップの最初のフレームが表示され、プレビューの右側にはトリミングされているクリップの最後のフレームが表示されます。

オーディオが含まれているクリップを分割またはトリミングする場合は、非表示のフェードが編集時に適用され、急激なトランジションがソフトになります。

クリップの開始位置または終了位置のトリミング

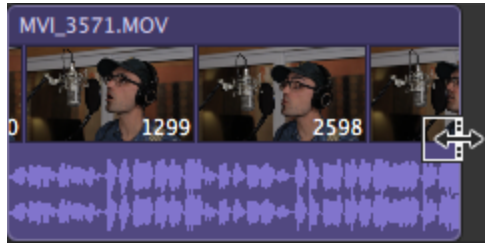
1. タイムラインの下にある **【ツール】** ボタンをクリックして、**【編集ツール】**  を選択します。

 一時的に編集ツールに切り替えるには、[E] キーを押し続けます。編集が終わったら、[E] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。

2. 開始ポイントまたは終了ポイントを変更するには、クリップのいずれかの端をドラッグします。タイムラインのメディアは移動しませんが、クリップの開始または終了ポイントは、クリップの端で変更されます。

リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。詳しくは、81ページの"[リップル編集](#)"を参照してください。

スナップが有効になっている場合は、クリップの端をドラッグすると利用可能なスナップポイントにスナップされます。詳しくは、82ページの"[クリップのスナップ](#)"を参照してください。





ソースクリップの長さを超えるクリップの端をドラッグすると、クリップの長さに限定されます。

長さがゼロになるまでクリップをトリミングすると、クリップはタイムラインから削除されます。


トリミングを開始する前に複数のクリップが選択されている場合、トリミングするクリップの選択は維持され、他のクリップの選択は解除されます。

小さいクリップをトリミングするには、タイムラインの拡大が必要となる場合があります。

タイムラインの拡大率を変更するには、タイムルーラーの上にあるスライダをドラッグするか、

【ズームアウト】  または **【ズームイン】**  ボタンをクリックします。

クリップの分割トリミング

1. タイムラインの下にある**【ツール】** ボタンをクリックし、**【分割トリミングツール】**  を選択します。



一時的に分割トリミングツールに切り替えるには、**【T】** キーを押し続けます。編集が終わったら、**【T】** キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。

2. クリップをクリックしてドラッグすると、クリップはクリックしたポイントで分割され、ドラッグした方向でトリミングされます（消去モード）。

リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。詳しくは、81ページの"[リップル編集](#)"を参照してください。


スナップが有効になっている場合は、クリップの端をドラッグすると利用可能なスナップポイントにスナップされます。詳しくは、82ページの"[クリップのスナップ](#)"を参照してください。




ソースクリップの長さを超えるクリップの端をドラッグすると、クリップの長さに限定されます。

長さがゼロになるまでクリップをトリミングすると、クリップはタイムラインから削除されます。

クリップのスリップトリミング

1. タイムラインの下にある【ツール】ボタンをクリックして、[スリップ ツール]  を選択します。

 一時的にスリップ ツールに切り替えるには、Pキーを押し続けます。編集が終わったら、Pキーを放すと、前の編集ツールに戻ります。


2. クリップの右端または左端をドラッグします。


クリップの端をドラッグすると、反対側の端は固定されたまま、ドラッグしている端からメディアがトリミングされます。

リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。詳しくは、81ページの"[リップル編集](#)"を参照してください。

スナップが有効になっている場合は、クリップの端をドラッグすると利用可能なスナップポイントにスナップされます。詳しくは、82ページの"[クリップのスナップ](#)"を参照してください。

隣接するクリップのトリミング (ロール トリミング)

1. タイムラインの下にある【ツール】ボタンをクリックし、[ロール トリミング ツール]  を選択します。

 一時的にロール トリミング ツールに切り替えるには、[R] キーを押し続けます。編集が終わったら、[R] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。

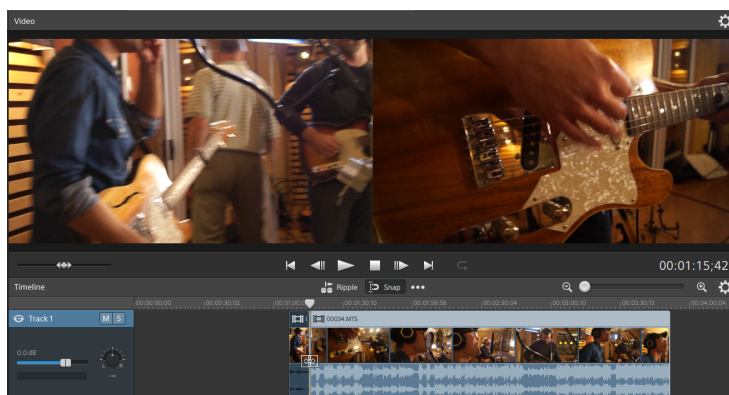
2. 隣接するクリップ間のエッジをドラッグします。クリップのエッジは、ドラッグした方向に同時にトリミングされます。

スナップが有効になっている場合は、クリップの端をドラッグすると利用可能なスナップポイントにスナップされます。詳しくは、82ページの"[クリップのスナップ](#)"を参照してください。

 ソース クリップの長さを超えるクリップの端をドラッグすると、クリップの長さ限定されます。

長さがゼロになるまでクリップをトリミングすると、クリップはタイムラインから削除されます。

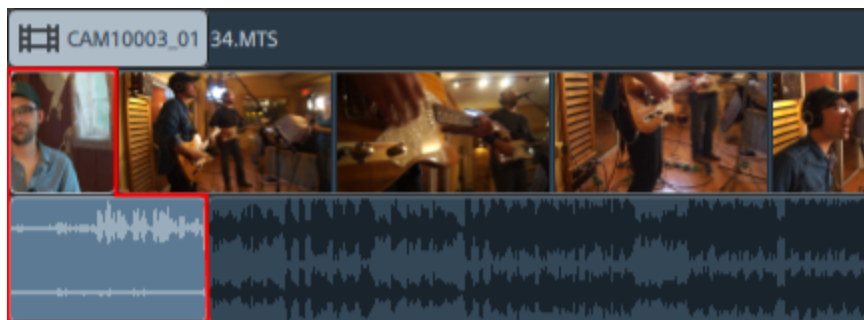
ドラッグすると、ビデオプレビューが画面分割プレビューに切り替わり、編集ポイントのどちらの側のフレームも見ることができます。



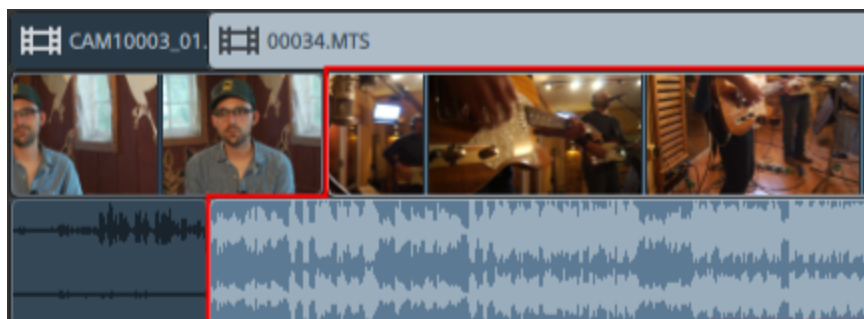
ストリーム編集（L-J カットおよびロール）







ストリーム編集を使用すると、両方のストリームを1つのタイムラインクリップで組み合わせたまま、クリップのオーディオとビデオを個別にトリミングできます。そのため、JカットとLカットをすばやく簡単に作成できます。

- Lカットまたはロールでは、ビデオをトリミングした後もオーディオが最初のクリップから続き、ユーザーはオーディオを聞く前に新しいシーンを見ることができます。



- Jカットまたはロールでは、オーディオがビデオの前に2番目のクリップから開始し、ユーザーはビデオを見る前に新しいシーンのオーディオを聞くことができます。



1. タイムラインの下にある【ツール】ボタンをクリックし、【編集ツール】、【ロールトリミングツール】、または【エンベロープツール】 を選択します。
 一時的に編集ツールに切り替えるには、[E] キーを押し続けます。編集が終わったら、[E] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。
2. タイムラインの下にある【ストリームの編集】ボタン をクリックします（または [Shift] キーを押しながら [E] キーを押します）。
 [Shift] キーを押しながら、編集ツール、ロールトリミングツール、またはエンベロープツールでオーディオまたはビデオストリームの終端をドラッグして【ストリームの編集】モードを一時的に有効にします。

3. 開始ポイントまたは終了ポイントを変更するには、クリップのオーディオまたはビデオ ストリームのいずれかの端をドラッグします。タイムラインのメディアは移動しませんが、ストリームの開始または終了ポイントは、クリップの端で変更されます。



スナップが有効になっている場合は、ストリームのエッジをドラッグすると利用可能なスナップ ポイントにスナップされます。詳しくは、82 ページの "[クリップのスナップ](#)" を参照してください。



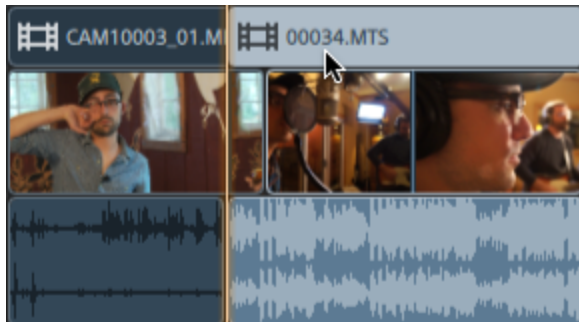
 ソース クリップの長さを超えるクリップの端をドラッグすると、クリップの長さ限定されます。

トリミングを開始する前に複数のクリップが選択されている場合、トリミングするクリップの選択は維持され、他のクリップの選択は解除されます。

小さいクリップをトリミングするには、タイムラインの拡大が必要となる場合があります。タイムラインの拡大率を変更するには、タイム ルーラーの上にあるスライダをドラッグするか、

【ズームアウト】  または **【ズームイン】**  ボタンをクリックします。

クリップを移動する場合は、ヘッダーをドラッグします。リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。詳しくは、81 ページの "[リップル編集](#)" を参照してください。



クリップの分割

1つのクリップを分割すると、クリップの一部を調整したり、1つのクリップを複数のセクションに分割して個別に編集したりすることができます。

1. タイムラインをクリックして、クリップを分割する位置にカーソルを配置します。利用可能な任意の編集ツールを使用することができます。

詳しくは、63ページの"[編集ツール](#)"を参照してください。

2. 分割するクリップを選択します。

3. タイムラインの下にある【クリップ】ボタン  をクリックして、メニューから【分割】を選択します（またはSを押します）。

カーソル位置でクリップが分割され、分割ポイントの右側に対してクリップが選択されます。



クリップが選択されていない場合は、現在のカーソル位置にあるすべてのトラック上のクリップが分割されます。

オーディオが含まれているクリップを分割またはトリミングする場合は、非表示のフェードが編集時に適用され、急激なトランジションがソフトになります。

クリップのスリップ

クリップをスリップしたときのイメージを把握するために、クリップを、メディア ファイルを表示するウィンドウと考えてみてください。このウィンドウは、メディア ファイルの全体または一部のセクションを表示します。

ウィンドウにメディア ファイルの一部のみが表示されている場合、クリップによって再生されるメディアを調整するには、ウィンドウを移動するか、メディア自体を移動します。クリップをスリップすると、クリップのタイムライン上の位置は変わりませんが、メディア ファイルはドラッグした方向に移動します。





【ビデオプレビュー】ウィンドウは、クリップをスリップまたはスリップトリミングする際に、一時的に分割画面プレビュー モードに入ります。この一時的な分割画面モードによって、編集の両側を同時に表示することができます。




- クリップの左端または右端をスリップ トリミングすると、プレビューの左側にはトリミングされているクリップの最初のフレームが表示され、プレビューの右側にはトリミングされているクリップの最後のフレームが表示されます。
- クリップをスリップすると、プレビューの左端にはスリップされているクリップの最初のフレームが表示され、プレビューの右側にはスリップされているクリップの最後のフレームが表示されます。

クリップのスリップ

1. タイムラインの下にある **【ツール】** ボタンをクリックして、**【スリップ ツール】**  を選択します。
 一時的にスリップ ツールに切り替えるには、P キーを押し続けます。編集が終わったら、P キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。
2. クリップをドラッグします。スリップ カーソルが表示されます。





クリップのドラッグに合わせて内容はシフトしますが、クリップ自体は移動しません。このテクニックは、クリップの長さや位置を維持したまま、クリップがソースメディアファイルの別のセクションが再生されるようにしたい場合に使用します。

 スリップをキャンセルするには、ドラッグ中に [Esc] キーを押します。

スリップは、クリップがソースメディアよりも短い場合にのみ利用できます。完全なクリップを示すクリップをスリップする場合は、まずクリップをトリミングするかスリップ トリミングを使用します。詳しくは、68 ページの "[クリップのトリミング](#)" を参照してください。

クリップのスリップトリミング

1. タイムラインの下にある **【ツール】** ボタンをクリックして、**【スリップ ツール】**  を選択します。
 一時的にスリップ ツールに切り替えるには、P キーを押し続けます。編集が終わったら、P キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。
2. クリップの右端または左端をドラッグします。

クリップの端をドラッグすると、反対側の端は固定されたまま、ドラッグしている端からメディアがトリミングされます。

リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。詳しくは、81 ページの "[リップル編集](#)" を参照してください。

スナップが有効になっている場合は、クリップの端をドラッグすると利用可能なスナップポイントにスナップされます。詳しくは、82 ページの "[クリップのスナップ](#)" を参照してください。

クリップのトリミング

クロップ エフェクトを使用すると、クリップの表示エリアの縁を再編集できます。


1. 編集するクリップを選択します。
2. タイムラインの下にある【クリップ】ボタン  をクリックし、メニューから【トリミング】を選択します。

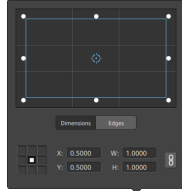
3. インスペクタで、[クリップ] タブを使用して、選択したクリップのトリミング設定を表示および編集します。

詳しくは、93 ページの "[クリップ インスペクタの使用](#)" を参照してください。

項目 説明

位置 ドロップダウン リストには、フレーム内のビデオの現在の位置が表示されます。クリックすると、ビデオの縁を編集するために使用できる編集コントロールが表示されます。

 位置コントロールを調整してタイムライン インспекタの出力フレーム アスペクトに一致させるには、**【タイムライン アスペクトに一致させる】** ボタンをクリックします。




ボックスの位置の調整

編集コントロールのポイントをドラッグして、フレーム内のビデオの位置を設定します。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。

【サイズ】 タブに値を入力すると、アンカー ポイントを設定し、XY 座標を使用してボックスの位置を指定することができます。たとえば、アンカー コントロールの右上隅をクリックし、座標ポイント 0.5000, 0.5000 を使用して、ボックスの右上隅をコントロールの中心に移動させます。


ボックスのサイズの調整

編集コントロールで矩形の隅をドラッグするか、**【W】** および **【H】** 編集ボックスに値を入力して、フレームのサイズを設定することができます。

【サイズ】 タブに値を入力すると、W/H のサイズを使用してボックスのサイズを設定することができます。**【ロック】** ボタン  をクリックすると、ボックスのアスペクト比が維持されるため、幅または高さを変更すると、他の値も自動的に更新されます。

ボックスのエッジの調整

ボックスの各エッジの位置をそれぞれ指定するには、編集コントロールで矩形のエッジをドラッグするか、**【エッジ】** タブに値を入力します。

 アスペクト比を維持したままサイズを変更するには、矩形の隅をドラッグします。

[Shift] キーを押しながら矩形の隅をドラッグし、サイズの変更とアスペクト比の調整を行います。

[Alt] キー (Windows) または [Option] キー (OS X) を押しながら、中心から矩形のサイズを変更できます。

コントロールを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。

角を選択すると、矢印キーを使用して選択した角を調整するか、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながら矢印キーを押して微調整を行うことができます。

矩形のサイズを変更するには、矩形のエッジをドラッグします。

項目	説明
----	----



アスペクト比を維持したままサイズを変更するには、矩形のエッジをドラッグします。

[Shift] キーを押しながらエッジをドラッグし、サイズの変更とアスペクト比の調整を行います。

[Alt] キー (Windows) または [Option] キー (OS X) を押しながら、中心から矩形のサイズを変更できます。

コントロールを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。

矩形の中心をドラッグすると、サイズを変更せずに移動できます。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。



[Shift] キーを押しながらドラッグすると、水平方向/垂直方向/45 度に動きが制限されます。

コントロールを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。

矩形を選択すると、矩形の位置をコピーして別のクリップに貼り付けることができます。

アン グル	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、トリミング フレームを回転します。
------------------	--

水平 方向 にフ リッ プ	クリックしてビデオを水平に反転します。
--------------------------------------	---------------------

垂直 方向 にフ リッ プ	クリックしてビデオを垂直に反転します。
--------------------------------------	---------------------

ズー ム	【ズーム】 をオンにすると、出力フレームのアスペクト比が、【位置】 矩形を使用して設定したトリミング矩形と一致し、トリミングしたクリップを出力フレームに合わせるできます。
-----------------	---


【ズーム】 をオフにすると、ビデオは透明な背景色を使用してトリミングされます。

クリップの切り取り、コピー、貼り付け

Catalyst Edit でクリップを切り取ったりコピーしたりして、タイムラインの新しい場所に貼り付けることができます。同じトラック内で、または新しいトラックにクリップを貼り付けることができます。

クリップの切り取り

1. 切り取るクリップを選択します。詳しくは、65 ページの "[クリップの選択とカーソルの配置](#)" を参照してください。

2. タイムラインの下にある **【クリップ】** ボタン  をクリックして、メニューから **【切り取り】** を選択するか、[Ctrl] キーを押しながら [X] キーを押すか (Windows) [⌘] キーを押しながら [X] キーを押します (OS X)。

クリップとそのプロパティがタイムラインから削除され、クリップボードに移動します。詳しくは、93 ページの "[クリップ インспекタの使用](#)" を参照してください。

クリップのコピー

1. コピーするクリップを選択します。詳しくは、65 ページの "[クリップの選択とカーソルの配置](#)" を参照してください。


2. タイムラインの下にある **【クリップ】** ボタン  をクリックして、メニューから **【コピー】** を選択するか、[Ctrl] キーを押しながら [C] キーを押すか (Windows) [⌘] キーを押しながら [C] キーを押します (OS X)。

クリップとそのプロパティがクリップボードにコピーされます。詳しくは、93 ページの "[クリップ インспекタの使用](#)" を参照してください。



[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらタイムライン上のクリップをドラッグアンドドロップすると、ドロップした位置にクリップのコピーが作成されます。


クリップの貼り付け

1. 再生を停止します。
2. 貼り付けるトラックを選択します。
3. タイムライン内でクリップを貼り付ける位置をクリックしてカーソルを配置します。
4. タイムラインの下にある **【クリップ】** ボタン  をクリックして、メニューから **【貼り付け】** を選択するか、[Ctrl] キーを押しながら [V] キーを押すか (Windows) [⌘] キーを押しながら [V] キーを押します (OS X)。

5. クリップボードのクリップは、フォーカストラックのカーソル位置から後に貼り付けられます（複数のトラックが選択されている場合は、最後に選択されたトラック）。必要に応じて、クリップボードのトラックに対応するようトラックが追加されます。

貼り付けたクリップは、コピーしたクリップのプロパティを保持します。詳しくは、93 ページの "[クリップインスペクタの使用](#)" を参照してください。

貼り付けたクリップがオーバーラップする場合は、トラック内の他のクリップの上に配置されます。クリップを貼り付けるスペースを空けるには、カーソル位置にあるクリップを分割して、タイムラインの上部にあ

る **【リップル】** ボタン  を選択してから貼り付けます。詳しくは、73 ページの "[クリップの分割](#)" および 81 ページの "[リップル編集](#)" を参照してください。

クリップの削除

クリップを削除すると、コンピュータのメディア ファイルを維持したまま、クリップがトラックから削除されます。

1. 削除するクリップを選択します。詳しくは、65 ページの "[クリップの選択とカーソルの配置](#)" を参照してください。




隣接しているクリップを選択する場合は、[Shift] キーを押しながらクリックします。

隣接していない複数のクリップを選択するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらクリックします。

2. タイムラインの下にある **【クリップ】** ボタン  をクリックし、メニューから **【削除】** を選択します。

リップル編集

タイムラインの上にある **【リップル】** ボタン  が有効になっている場合、トラックの後の方で発生するクリップとマーカーは以下のいずれかの編集が行われると自動的にシフトされます。

- トリミングまたはスリップトリミングによるクリップの長さの調整。
- クリップの移動。
- クリップの削除。
- クリップの切り取り。
- クリップの貼り付け。


【リップル】 が有効になっていない場合、クリップの編集はタイムライン上の他のクリップおよびマーカーに影響を与えません。


個々のトラックのリップル同期をオフにする

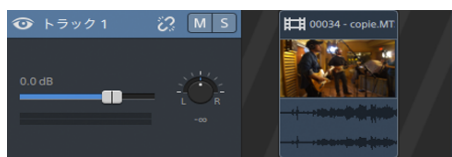
【リップル】 を最初に有効にすると、すべてのトラックでリップル編集が有効になります。トラックの編集操作によって、すべてのトラックのダウンストリーム クリップがリップルされます。

トラックに対してリップル編集をオフにする場合は、トラック インспекタにある **【リップル同期】** スイッチを使用します。詳しくは、57 ページの "[トラック インспекタの使用](#)" を参照してください。




【リップル同期】 スイッチは、タイムラインの上にある **【リップル】** ボタン  が有効になっている場合にのみ利用できます。

【リップル同期】 をオフにすると、 インジケータがトラック ヘッダーに表示され、ストリップした背景がタイムラインに表示されて、リップル編集を選択した場合でもトラックでクリップを自由に移動できることが示されます。



クリップのスナップ

メインのタイムラインでスナップのオン/オフを切り替えるには、タイムライン上の【スナップ】ボタン  をクリックします。

クリップの追加、クリップの移動、クリップのトリミング、またはカーソルの配置を行う際にスナップを使用すると、アイテムをタイムラインに整列させることができます。クリップまたはマーカをドラッグすると、スナップポイントを示すインジケータがタイムラインの高さを横切って表示されます。




スナップが有効になっているときに [Shift] キーを押すと、スナップを一時的に無効にすることができます。

スナップが無効になっているときに [Shift] キーを押すと、スナップを一時的に有効にすることができます。

【フレームに合わせてクオンタイズ】がオンの場合、フレーム境界上にはないスナップポイントにドラッグすると、スナップインジケータは点線として表示され、スナップポイントが最も近いフレーム境界にクオンタイズされることを示します。詳しくは、83ページの“[フレームに合わせてクオンタイズ](#)”を参照してください。



スナップのオン/オフを切り替える



メインのタイムラインでスナップのオン/オフを切り替えるには、タイムライン上の【スナップ】ボタン  をクリックします。


スナップを有効にすると、クリップとマーカをタイムライン上の以下のポイントにスナップすることができます。

- カーソル（再生の停止時）。
- マーカ。
- 同じトラック上のクリップの端。
- 別のトラック上のクリップ（【スナップ先: すべてのクリップ】が有効な場合）。

他のトラック上のクリップにスナップする


スナップを有効にすると、タイムライン上のオブジェクトまたはイベントを、他のトラック上のクリップの終了位置にスナップすることもできます。

【動作の編集】ボタン  をクリックし、【すべてのクリップにスナップ】スイッチを有効にすると、クリップ、カーソル、およびマーカが任意のトラック上のクリップの端にスナップされ、ボタンは  のように表示されます。

【すべてのクリップにスナップ】をオフにすると、クリップはそのクリップのトラックにあるクリップの端にのみスナップされ、ボタンは  のように表示されます。

フレームに合わせてクオンタイズ


編集をフレーム境界上で行わないと、予期しない表示になる可能性があります。たとえば、2つのクリップを分割し、一緒に移動してカットを作成する場合は、フレーム境界にない分割によってレンダリングビデオに短いディゾルプが発生することがあります。

タイムラインの上にある【動作の編集】ボタン  をクリックして【フレームに合わせてクオンタイズ】を選択すると、プロジェクトフレームの境界上で編集が行われるようになります。

この設定は、クリップスナップとは別個のものです。詳しくは、82ページの“[クリップのスナップ](#)”を参照してください。


【フレームにクオンタイズ】がオンの場合、以下のアクションは常にフレーム境界上で実行されます。

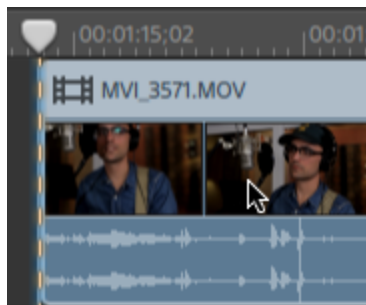
- ビデオクリップの移動

 選択グループにビデオが含まれ、【フレームに合わせてクオンタイズ】がオンになっている状態でオーディオクリップをドラッグすると、移動がクオンタイズされるため、（オーディオクリップの代わりに）最初のビデオクリップがクオンタイズされます。

オーディオのみのクリップはクオンタイズされません。

- クリップの分割とトリミング



 【フレームに合わせてクオンタイズ】がオンの場合、フレーム境界上にないスナップポイントにドラッグすると、スナップインジケータは点線として表示され、スナップポイントが最も近いフレーム境界にクオンタイズされることを示します。詳しくは、82ページの“[クリップのスナップ](#)”を参照してください。




マーカーの使用


マーカーは、プロジェクト内の特定の場所を示したり、プロジェクトに注釈を付けるために使用します。

マーカーの追加

1. トラックをクリックして選択し、マーカーを追加する位置にタイムラインのカーソルを置きます。
2. タイムラインの下にある【追加】ボタン  をクリックし、【マーカー】を選択します。マーカー  がタイムラインの上のマーカー ルーラーに作成されます。


 マーカーをすばやく追加するには、マーカー ルーラーの空白の領域をダブルクリックします。

マーカーの選択

マーカー タグ  をクリックして選択します。

マーカーに名前を付ける

1. 編集するマーカーをダブルクリックします。【マーカー】ポップアップが表示されます。
2. 【名前】ボックスに名前を入力します。マーカー ルーラーの名前が更新され、新しい名前が使用されるようになります。

 1. Opening Credits


マーカーの色の変更


1. 編集するマーカーをダブルクリックします。【マーカー】ポップアップが表示されます。
2. 色見本をクリックします。マーカー タグが更新されて、新しい色が使用されます。

マーカーの削除


1. 削除するマーカーをダブルクリックします。【マーカー】ポップアップが表示されます。
2. 【削除】ボタンをクリックします。

マーカーの移動

マーカー タグ  を別の位置にドラッグします。

 スナップが有効になっており、【すべてのクリップにスナップ】がオンの場合、マーカーをドラッグすると、マーカーはクリップの端にスナップされます。【Shift】キーを押しながらドラッグすると、現在のスナップ設定を一時的に無効にできます。詳しくは、82 ページの "[クリップのスナップ](#)" を参照してください。

マーカー ルーラーの表示と非表示

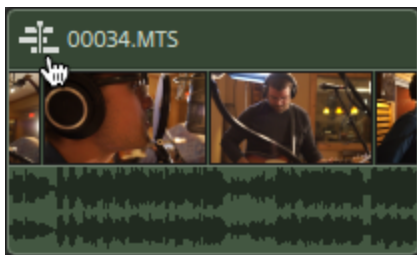
1. タイムラインの上にある【タイムライン設定】ボタン  をクリックします。
2. 【マーカー ルーラー】スライダーを左にドラッグしてマーカー ルーラーを表示するか、ドラッグして非表示にします。

ネスト化されたタイムライン

ネストを使用すると、別のプロジェクトに Catalyst Edit 下位タイムラインを追加できます。ネストを使用すると、タイムラインを整理したり、別のエフェクトを作成できます。


- 複数のタイムライン上の位置やプロジェクトで使用できる単一のエレメントを作成します（下三分の一のグラフィックや透かしなど）。
- タイムラインで 1 つのメディア オブジェクトとして使用できる複雑なコンポジット オブジェクトを作成します。
- ビデオ内のシーンごとにタイムラインを個別に作成し、マスタ ビデオプロジェクトでそれらのタイムラインをネストします。
- タイムラインに Catalyst Prepare ストーリーボードを追加します。
- タイムラインに Catalyst Browse クリップ リストを追加します。

ネスト化されたタイムラインが含まれるクリップが緑で表示されます。




ネスト化されたタイムラインの作成




1. ネスト化されたタイムラインに含めるクリップを選択します。選択する場合は、クリップ間にスペースを入れずに隣接するクリップを含める必要があります。詳しくは、65 ページの "[クリップの選択とカーソルの配置](#)" を参照してください。

2. タイムラインの下にある【クリップ】ボタン  をクリックして、メニューから【ネストされたタイムラインを作成】を選択します。選択したクリップは、新しいネスト化されたタイムラインで 00:00:00;00 の位置から開始します。


他のプロジェクトと同様に、新しいネスト化されたタイムラインを編集して、必要に応じてトラックおよびクリップを追加することができます。

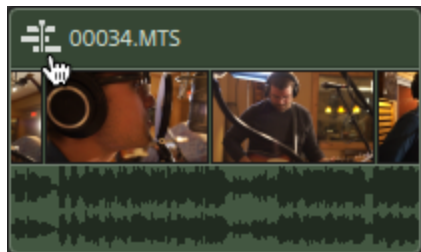
親タイムラインに戻る必要がある場合は、タイムラインの左上隅にあるブレッドクラムトレイルを使用します。

 ネスト化されたタイムラインを作成する前に、クリップにオートメーションエンベロープが含まれている場合は、クリップのオートメーションエンベロープはネスト化されたタイムラインのクリップで使用できます。親クリップは、デフォルトの1つのポイントのエンベロープを使用します。詳しくは、88ページの"[クリップのボリューム オートメーション](#)"を参照してください。


 ストーリーボード/クリップリストを Catalyst Edit タイムラインに追加することで、Catalyst Prepare ストーリーボード () または Catalyst Browse クリップリストからネスト化されたタイムラインを作成することができます。Catalyst Prepare ライブラリ () からのメディアの使用について詳しくは、19ページの"[メディアの検索](#)"を参照してください。

ネスト化されたタイムラインを開く

1. ネスト化されたタイムラインが含まれたクリップを選択します。詳しくは、65ページの"[クリップの選択とカーソルの配置](#)"を参照してください。
2. タイムラインの下にある【クリップ】ボタン  をクリックして、メニューから【ネストされたタイムラインを開く】を選択するか、クリップヘッダーのクリップアイコンを選択します。



選択したタイムラインが開きます。

 ネスト化されたタイムラインを移動する際、カーソル位置は維持されます。

他のプロジェクトと同様に、新しいネスト化されたタイムラインを編集して、必要に応じてトラックおよびクリップを追加することができます。



親タイムラインに戻る必要がある場合は、タイムラインの左上隅にあるブレッドクラムトレイルを使用します。

クリップ フェード

フェード ツールを使用すると、クリップのフェードイン、フェードアウト、全体のレベルまたは不透明度を制御できます。

 さらに詳細にボリュームを制御する場合は、クリッピング オートメーション ツールを使用できます。詳しくは、88 ページの "[クリップのボリューム オートメーション](#)" を参照してください。


クリップのボリュームまたは不透明度の調整

1. タイムラインの下にある **【ツール】** ボタンをクリックし、**【フェード ツール】**  を選択します。
 -  一時的にフェード ツールに切り替えるには、**[F]** キーを押し続けます。編集が終わったら、**[F]** キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。
2. ビデオの上部またはクリップのオーディオ部分で、フェード カーソルが表示される位置を探します。





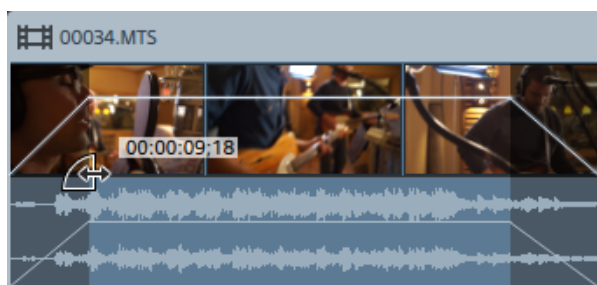
3. ラインを必要なレベルまでドラッグします。ラインをドラッグすると、クリップのゲインまたは不透明度が調整されます。

設定値を小さくすると、クリップの透明度が高くなり、クリップが透けて下のトラックのクリップを表示できるようになります。

 クリップのゲインまたは不透明度を調整すると、クリップ インспекタの **【ゲイン】** または **【不透明度】** の設定も調整されます。詳しくは、93 ページの "[クリップ インспекタの使用](#)" を参照してください。

クリップのフェード インまたはフェードアウトの調整


1. タイムラインの下にある【ツール】ボタンをクリックし、【フェード ツール】 を選択します。
 一時的にフェード ツールに切り替えるには、[F] キーを押し続けます。編集が終わったら、[F] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。
2. クリップの左端または右端で、フェード カーソルが表示される位置を探します。



3. クリップのフェード インまたはフェードアウトにかかる時間を設定するには、クリップの隅をドラッグします。

スナップが有効になっている場合は、フェード エッジをドラッグすると利用可能なスナップ ポイントにスナップされます。詳しくは、82 ページの "[クリップのスナップ](#)" を参照してください。


選択したクリップの下のトラックにクリップがない場合は、黒でフェード イン/フェードアウトします。選択したクリップの下にあるトラックにクリップが存在する場合は、フェード中に下のクリップが表示されます。

 クリップのフェードを調整すると、クリップ インспекタの【フェードインの長さ】と【フェードアウトの長さ】の設定も調整されます。詳しくは、93 ページの "[クリップ インспекタの使用](#)" を参照してください。


編集、スリップ、またはフェード ツールを使用して 2 つのクリップ間のフェードをダブルクリックし、フェード エリアを選択して、マーク イン/アウト リージョンがその長さと一致するように設定します。

クリップのボリュームオートメーション


クリップのボリュームを時間によって調整する場合は、エンベロープを使用して、クリップの長さでボリュームをオートメーションできます。

 クリップのフェードイン、フェードアウト、および全体のレベルを簡単に制御するには、フェード ツールを使用できます。詳しくは、87 ページの "[クリップ フェード](#)" を参照してください。

クリップのオートメーションエンベロープは、クリップフェードとは別個のものです。フェード ツールを使用してクリップのゲインまたは不透明度を調整すると、クリップ インспекタの【ゲイン】または【不透明度】の設定も調整されます。詳しくは、93 ページの "[クリップ インспекタの使用](#)"

 ネスト化されたタイムラインを作成する前に、クリップにオートメーションエンベロープが含まれている場合は、クリップのオートメーションエンベロープはネスト化されたタイムラインのクリップで使用できます。親クリップは、デフォルトの 1 つのポイントのエンベロープを使用します。詳しくは、85 ページの "[ネスト化されたタイムライン](#)" を参照してください。

クリップのボリュームの調整

1. タイムラインの下にある【ツール】ボタンをクリックして、[エンベロープ ツール]  を選択します。



一時的にエンベロープ ツールに切り替えるには、[V] キーを押し続けます。編集が終わったら、[V] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。

エンベロープ ツールを選択すると、各クリップにボリューム オートメーション エンベロープが表示されます。


2. ラインを必要なレベルまでドラッグします。ラインをドラッグすると、クリップのゲインが調整されます。

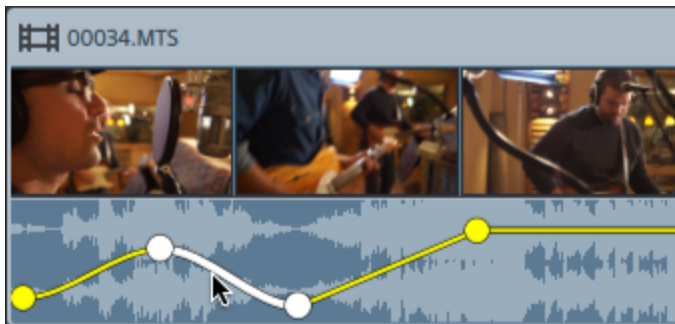


クリップの音を小さくするには下にドラッグし、音を大きくするには上にドラッグします。

ボリュームをオートメーションする場合は、さらにポイントをエンベロープに追加します。


エンベロープ ポイントの追加

より複雑なエンベロープを作成するには、ポイントを追加する必要があります。エンベロープ ポイントを追加するには、エンベロープ ツール  を使用してエンベロープをダブルクリックします。新しいエンベロープ ポイントが追加されます。




 ポイントを追加するには、エンベロープ ツール  を使用して右クリックし、**【ポイントの追加】** を選択します。

ポイントを削除するには、エンベロープ ツール  を使用して右クリックし、**【削除】** を選択します。


エンベロープをデフォルトの状態にリセットするには、エンベロープ ツール  を使用してエンベロープ セグメントまたはポイントを右クリックし、**【すべてのポイントをリセット】** を選択します。

エンベロープの調整



デフォルトでは、新しいエンベロープには 1 つのエンベロープ ポイントが含まれています。エンベロープのレベル全体を調整するには、エンベロープ ツール  を使用してエンベロープを上下にドラッグします。

エンベロープに複数のポイントがある場合、各ポイントまたはエンベロープ セグメントをドラッグすることができます。

- 上下にドラッグすると、ボリュームを上げ下げできます。
- 左右にドラッグすると、ボリュームを調節するタイミングが変更されます。

 エンベロープ ポイントはタイムラインの別のポイントを超えてドラッグすることはできません。



エンベロープを調整すると、クリップの波形が更新され、新しいボリュームが反映されます。

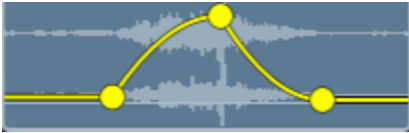
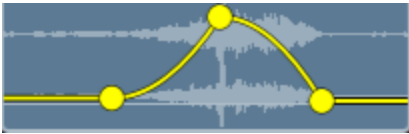
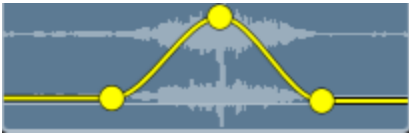
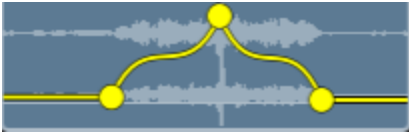
 エンベロープ ツール  を使用してエンベロープ ポイントを右クリックし、ショートカット メニューを表示します。ここで、選択したポイントを最大値 (+12 dB)、デフォルト値 (0 dB)、または最小値 (-∞ dB) に設定できます。

個々のポイントを 0 dB にリセットするには、エンベロープ ツール  を使用してポイントをダブルクリックします。


フェード カーブの設定


各エンベロープ セグメントのフェード カーブを個別に調整できます。フェード カーブを変更するには、エンベロープ セグメントを右クリックし、ショートカット メニューからコマンドを選択します。

フェードの種類	フェード イン/アウト カーブ
ホールド	
リニア	

フェードの種類	フェードイン/アウトカーブ
高速	
低速	
スムーズ	
シャープ	

エンベロープのフリップ

エンベロープの位置を 0 dB ベースライン付近にフリップするには、エンベロープ ツール  を使用してエンベロープ ポイントを右クリックし、**【フリップ】** を選択します。

エンベロープを 0 dB ベースライン付近にフリップするには、エンベロープ ツール  を使用してエンベロープ ポイントを右クリックし、**【すべてをフリップ】** を選択します。


たとえば、エンベロープ ポイントでボリュームを 3 dB に設定した場合、そのポイントはエンベロープをフリップするとボリュームが -3 dB に設定されます。-12 dB 未満の値は、エンベロープをフリップすると 12 dB になります。

クリップのメディアの置換

クリップのメディアを置換すると、タイムライン上のクリップの長さや位置が保存されますが、クリップによって表示されるメディア ファイルは置換されます。

プロジェクトのメディア クリップを再リンクする方法については、10 ページの "[プロジェクト メディアの再リンク](#)" を参照してください。

1. タイムラインで、編集するクリップを選択します。詳しくは、65 ページの "[クリップの選択とカーソルの配置](#)" を参照してください。
2. メディア ブラウザで、選択したクリップを置換するメディア ファイルを選択します。

3. タイムラインの下にあるメディア ブラウザの下部の【ツール】ボタン  をクリックして、メニューから【メディアを選択範囲に置換】を選択します。

クリップが更新され、メディア ブラウザからファイルが使用されるようになります。



クリップを短めのメディア ファイルに置換すると、クリップが終わるまで新規ファイルの最後のフレームが繰り返されます。


クリップを長めのメディア ファイルに置換しても、クリップの長さは変わりません。

新しいメディア ファイルの長さに合わせて、クリップをトリミングすることができます。詳しくは、68 ページの "[クリップのトリミング](#)" を参照してください。


編集操作の取り消しとやり直し

取り消しとやり直しを駆使すると、プロジェクトでさまざまな操作を実験的に行うことができます。


最後に実行した操作を取り消す


タイムラインの下にある【ツール】ボタン  をクリックして【取り消し】を選択するか、[Ctrl] キーを押しながら [Z] キーを押すか (Windows) [⌘] キーを押しながら [Z] キーを押します (OS X)。

最後に行われた取り消し操作を復元する

タイムラインの下にある【ツール】ボタン  をクリックして【やり直し】を選択するか、[Ctrl] キーを押しながら [Z] キーを押すか (Windows) [⌘] キーを押しながら [Z] キーを押します (OS X)。

クリップ インспекタの使用

インспекタ  で、【クリップ】タブを選択して、選択したクリップの設定を表示および編集します。

 クリップをクリックして選択すると、インспекタが表示されている場合は、【クリップ】タブが自動的に表示されます。

サマリー



項目	説明
----	----

名前	【名前】ボックスに値を入力して、選択したクリップの名前を設定します。ここに入力する名前は、クリップに表示されます。
----	---



メ	選択したクリップのソース ファイル名を表示します。
---	---------------------------






ディ	
----	--

ア	Catalyst Prepare ライブラリ () からクリップを選択した場合、【更新】ボタン  をクリックすると、Catalyst Prepare ライブラリのクリップのプロパティを更新できます。
---	---


 タイムラインの下にある【クリップ】ボタン  をクリックして、メニューから【更新】を選択します。

フォルダ	ソース クリップが保存されているフォルダ名を表示します。
------	------------------------------


フォルダ名をクリックして、Windows エクスプローラまたは Finder でその場所を開きます。

項目	説明
ライブラリ	<p>Catalyst Prepare ライブラリ () からクリップを選択した場合は、【ライブラリ】ボックスにクリップのソース ライブラリの名前が表示されます。</p> <p>Catalyst Prepare で開くライブラリの名前をクリックし、クリップを選択します。Catalyst Prepare で色補正を実行する場合は、【更新】ボタン  をクリックしてクリップを更新します。</p> <p> タイムラインの下にある【クリップ】ボタン  をクリックして、メニューから【ライブラリ .cprelib を開く】を選択して、Catalyst Prepare で開き、クリップを選択します。</p>
ストリーム	<p>オーディオおよびビデオ ストリーム付きのクリップを選択した場合は、ボタンをクリックして、どのストリームをタイムラインに含めるのかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オーディオ ストリームのみを含める場合は、【オーディオ】をクリックします。ビデオ サムネールはクリップで非表示になり、プロジェクトをレンダリングするときに除外されます。 ■ ビデオ ストリームのみを含める場合は、【ビデオ】をクリックします。オーディオ波形はクリップで非表示になり、プロジェクトをレンダリングするときに除外されます。 ■ クリップにオーディオおよびビデオ ストリームを含める場合は、【両方】をクリックします。 <p> ストリーム コントロールは、オーディオのみクリップまたはビデオのみクリップを選択すると表示されません。</p>

編集


項目	説明
開始	<p>選択したクリップの開始位置をタイムライン上の指定した位置までトリミングするには、値をクリックして新しい値を入力します。</p> <p>たとえば、現在の【開始】値が 0.00 の場合、10.00 と入力するとクリップの開始位置がタイムライン上の 10 秒後に移動します。</p> <p>リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。詳しくは、81 ページの "リップル編集" を参照してください。</p>
終了	<p>選択したクリップの終了位置をタイムライン上の指定した位置までトリミングするには、値をクリックして新しい値を入力します。</p> <p>たとえば、現在の【終了】値が 60.00 の場合、50.00 と入力するとクリップの終了位置がタイムライン上の 10 秒前に移動します。</p> <p>リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。</p>
長さ	<p>選択したクリップの長さを設定するには、値をクリックして新しい値を入力します。クリップの開始位置はタイムライン上で固定したまま、クリップの終了位置を必要に応じて変更します。</p> <p>リップルモードが有効になっている場合は、その後のすべてのクリップが自動的にリップルされます。</p> <p> クリップの長さをゼロに設定すると、クリップはタイムラインから削除されます。</p>

項目	説明
ソースオフセット	<p>選択したクリップの開始時間を設定するには、値をクリックして新しい値を入力します。クリップのソースオフセットを調整して、クリップ内のクリップのメディアをスリップさせます。メディアを左にスリップさせるには負のオフセットを使用し、右にスリップさせるには正のオフセットを使用します。</p> <p>詳しくは、73 ページの "クリップのスリップ" を参照してください。</p>
フェードインの長さ	<p>クリップが前のクリップとクロスフェードしていない場合、クリップのフェードインにかかる時間を設定するには、値をクリックして新しい値を入力します。選択したクリップの下にあるトラックにクリップがない場合は、黒でフェードインします。選択したクリップの下にあるトラックにクリップが存在する場合は、フェード中に下のクリップが表示されます。</p> <p>この設定を編集すると、クリップのフェードエンベロープにも影響します。詳しくは、87 ページの "クリップフェード" を参照してください。</p>
フェードアウトの長さ	<p>クリップが前のクリップとクロスフェードしていない場合、クリップのフェードアウトにかかる時間を設定するには、値をクリックして新しい値を入力します。選択したクリップの下にあるトラックにクリップがない場合は、黒でフェードアウトします。選択したクリップの下にあるトラックにクリップが存在する場合は、フェード中に下のクリップが表示されます。</p> <p>この設定を編集すると、クリップのフェードエンベロープにも影響します。詳しくは、87 ページの "クリップフェード" を参照してください。</p>
不透明度	<p>クリップの不透明度を設定するには、値をクリックして新しい値を入力するか、スライダをドラッグします。つまみの中心をダブルクリックすると、スライダをリセットできます。</p> <p>設定を 1.0 にすると、クリップは完全に不透明になり、下のトラックのクリップは表示されません。設定値を小さくすると、クリップの透明度が高くなり、クリップが透けて下のトラックのクリップを表示できるようになります。</p> <p>この設定を編集すると、クリップのフェードエンベロープにも影響します。詳しくは、87 ページの "クリップフェード" を参照してください。</p>
レート	<p>クリップの再生レートを設定するには、値をクリックして新しい値を入力するか、スライダをドラッグします。つまみの中心をダブルクリックすると、スライダをリセットできます。</p> <p>1 に設定すると標準速度、0.5 に設定すると半分速度で再生されます。0 に設定すると、クリップの最初のフレームを使用して、固定フレームエフェクトが作成されます。</p> <p>プロジェクト内の各ビデオクリップには特定の長さがあり、これは再生レートを調整しても変更されません。10 秒のビデオイベントの速度を .5 に下げると、ビデオのうち 5 秒だけが表示されます。また、速度を 2 に上げると、10 秒のビデオが 5 秒間で表示されます。クリップの残り 5 秒は、最後のフレームの固定で埋められるか、メディアファイルのビデオコンテンツがさらに 10 秒再生されます（ソースメディアがクリップより長い場合）。</p>
オーディオモード	<p>ドロップダウンリストから設定を選択し、クリップの再生レートを調整する場合のオーディオのストレッチ方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 【なし】 : タイムストレッチまたはピッチシフトが適用されます。 ■ 【タイムストレッチ】 : オーディオはクリップのレートに一致するようタイムストレッチされますが、再生ピッチは保持されます。 ■ 【ピッチシフト】 : オーディオはクリップのレートに一致するようタイムストレッチされ、再生ピッチはレートに合わせて上下します（高速再生ではピッチが上がり、低速再生ではピッチが低くなります）。



項目	説明
ゲイン	<p>選択したクリップの各オーディオチャンネルのボリュームを調整するには、値をクリックして新しい値を入力するか、フェーダーをドラッグします。つまみの中心をダブルクリックすると、フェーダーをリセットできます。</p> <p>この設定を編集すると、クリップのフェードエンベロープにも影響します。詳しくは、87ページの"クリップフェード"を参照してください。</p> <p> ボリュームを調整するときは、必ずオーディオメーターを見てください。すべてのトラックのボリュームを追加するので、オーディオ出力がクリッピングしやすくなります。再生中に赤いクリップ記号が表示されないようにしてください。詳しくは、128ページの"オーディオレベルのモニタ"を参照してください。</p>

チャンネル割り当て


スピーカーアイコンをクリックして、チャンネルをオン  またはオフ  にします。

 クリップの使用されていないチャンネルをオフにすると、タイムラインのトラックリストからこれらのチャンネルを削除できます。

【モノラル】 または **【ステレオ】** ボタンをクリックして、チャンネルがモノラルチャンネルかステレオペアの一部を示します。**【ステレオ】** を有効にすると、チャンネルがリスト内の次のチャンネルとペアになります。

 一度にすべてのクリップのチャンネルを設定するには、**【チャンネルツール】** ボタン  をクリックして、**【すべてモノラルに設定】**、**【すべてステレオに設定】**、または **【リセット】** を選択します。

編集ボックスに名前を入力して、チャンネルを識別します。たとえば、小型マイクからの音声を認識するために、Lav1 と入力することができます。

 タイムラインインスペクタとクリップインスペクタで同じ名前が付けられているチャンネルは、マッチングされます。

Catalyst Prepare ライブラリ () のクリップを Catalyst Edit タイムラインに追加すると、Catalyst Prepare ライブラリで行ったチャンネル割り当ての設定がクリップに適用されます。


タイトル


タイトルクリップが選択されている場合、タイトルコントロールを使用してタイトルテキストの外観をコントロールできます。詳しくは、102ページの"[タイトルクリップの追加](#)"を参照してください。

ビデオエフェクト

選択したクリップにエフェクトが適用されている場合は、ビデオエフェクトコントロールを使用して各エフェクトの設定を制御できます。詳しくは、99ページの"[クリップへのエフェクトの追加](#)"を参照してください。



チェーンからプラグインを削除するには、**【削除】** ボタン  をクリックします。

チェーンから削除せずにプラグインをバイパスするには、**【ミュート】** ボタン  をクリックします。

プラグインの見出しをドラッグして、プラグイン チェーンの位置を変更します。

切り替え矢印をクリックすると、プラグインの各コントロールの表示/非表示が切り替わります。


エフェクトの適用

エフェクトを使用して、プロジェクトのビデオ コンポーネントを操作することができます。

組み込み済みのビデオ プラグインには、エフェクト、トランジション、およびテキスト/背景ジェネレータが含まれています。エフェクトではビデオ品質の向上やイメージの操作、トランジションではビデオ イベントの移り変わり方法の変更、ジェネレータではテキストと背景の作成ができます。



ビデオ エフェクトの使用

エフェクトをビデオに適用するには、いくつかの方法があります。ビデオ エフェクトは、クリップ、トラック、またはビデオ タイムライン全体に適用することができます。

 分割画面プレビューを使用すると、ビデオ エフェクト有/無でプロジェクトをプレビューすることができます。詳しくは、41 ページの "[ビデオのプレビュー](#)" を参照してください。

クリップへのエフェクトの追加

エフェクトは、適用するクリップのみが対象になります。

1. [プラグイン] ペインを表示して使用するエフェクトを選択するには、Catalyst Edit ウィンドウの上部にある [プラグイン] ボタン  をクリックします。
2. エフェクトを適用するクリップを選択します。詳しくは、65 ページの "[クリップの選択とカーソルの配置](#)" を参照してください。
3. [プラグイン] ペインの下部にある [クリップに追加] ボタン  をクリックするか、クリップにエフェクトをドラッグします。


エフェクトが適用されると、クリップにエフェクト インジケータが表示されます。クリップ インспекタにエフェクトのコントロールを表示するには、インジケータをクリックします。




4. エフェクト設定を調整するには、クリップ インспекタのコントロールを使用します。

詳しくは、93 ページの "[クリップ インспекタの使用](#)"を参照してください。



チェーンからプラグインを削除するには、**【削除】** ボタン  をクリックします。



チェーンから削除せずにプラグインをバイパスするには、**【ミュート】** ボタン  をクリックします。

プラグインの見出しをドラッグして、プラグイン チェーンの位置を変更します。

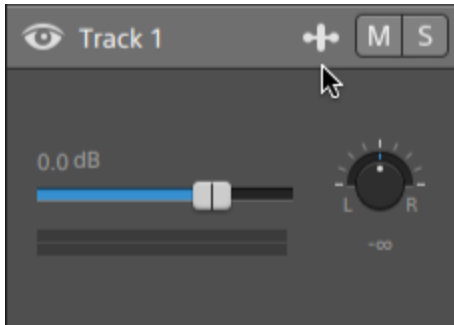
切り替え矢印をクリックすると、プラグインの各コントロールの表示/非表示が切り替わります。

トラックへのエフェクトの追加

トラックに適用するエフェクトは、トラックのすべてのクリップに適用されます。

1. **【プラグイン】** ペインを表示して使用するエフェクトを選択するには、Catalyst Edit ウィンドウの上部にある **【プラグイン】** ボタン  をクリックします。
2. トラックのヘッダーをクリックして、エフェクトを適用するトラックを選択します。
3. **【プラグイン】** ペインの下部にある **【トラックに追加】** ボタン  をクリックするか、トラック ヘッダーにエフェクトをドラッグします。


エフェクトが適用されると、トラックにエフェクト インジケータが表示されます。トラック インспекタにエフェクトのコントロールを表示するには、インジケータをクリックします。




4. エフェクトの設定を調整するには、トラック インспекタのコントロールを使用します。

詳しくは、57 ページの "[トラック インспекタの使用](#)"を参照してください。



チェーンからプラグインを削除するには、**【削除】** ボタン  をクリックします。



チェーンから削除せずにプラグインをバイパスするには、**【ミュート】** ボタン  をクリックします。

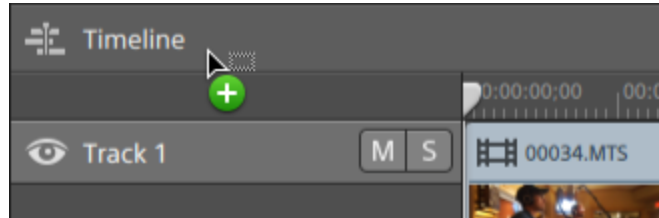
プラグインの見出しをドラッグして、プラグイン チェーンの位置を変更します。

切り替え矢印をクリックすると、プラグインの各コントロールの表示/非表示が切り替わります。

タイムラインへのエフェクトの追加


エフェクトは、適用するタイムラインのみが対象になります。


1. [プラグイン] ペインを表示して使用するエフェクトを選択するには、Catalyst Edit ウィンドウの上部にある **【プラグイン】** ボタン  をクリックします。
2. [プラグイン] ペインの下部にある **【タイムラインに追加】** ボタン  をクリックするか、トラックリストの上にあるタイムライン ブレッドクラム トレイルにエフェクトをドラッグします。



3. エフェクトの設定を調整するには、タイムライン インспекタのコントロールを使用します。
詳しくは、11 ページの "[タイムライン インспекタの使用](#)" を参照してください。



チェーンからプラグインを削除するには、**【削除】** ボタン  をクリックします。


チェーンから削除せずにプラグインをバイパスするには、**【ミュート】** ボタン  をクリックします。


プラグインの見出しをドラッグして、プラグイン チェーンの位置を変更します。


切り替え矢印をクリックすると、プラグインの各コントロールの表示/非表示が切り替わります。

ビデオ ジェネレータの使用

ビデオ ジェネレータを使用すると、プロジェクトの背景、テキスト、およびテクスチャを作成できます。

1. トラックをクリックして選択します。
2. [プラグイン] ペインを表示するには、Catalyst Edit ウィンドウの上部にある **【プラグイン】** ボタン  をクリックします。
3. ビデオ ジェネレータの見出しを拡大します。
4. [ビデオ ジェネレータ] をクリックして選択します。

5. **【ジェネレータの追加】** ボタン () をクリックします。選択したジェネレータは、選択したトラックの最後にクリップとして追加され、新しいクリップが選択されます。

 ジェネレータ プラグインを [プラグイン] ペインからタイムラインにドラッグして、クリップを作成することもできます。


また、タイムラインの下方の **【追加】** ボタンを使用して、選択したトラックに、タイトル、単色、または色のグラデーション プラグインを追加することもできます。詳しくは、102 ページの "[タイトルクリップの追加](#)" 106 ページの "[単色クリップの追加](#)" または 108 ページの "[色のグラデーションのクリップの追加](#)" を参照してください。


6. ジェネレータの設定を調整するには、クリップ インспекタのコントロールを使用します。
詳しくは、93 ページの "[クリップ インспекタの使用](#)" を参照してください。

タイトル クリップの追加

タイトル クリップをプロジェクトに追加すると、タイトルとクレジットを作成できます。

タイトル クリップの追加

1. トラックをクリックして選択します。
2. タイトル クリップを追加する位置にカーソルを配置するには、クリックします。
3. タイムラインの下にある **【追加】** ボタン  をクリックし、**【タイトル】** を選択します。クリップは、タイムライン上のカーソルの位置に作成されます。

 タイトル ジェネレータを [プラグイン] ペインからタイムラインにドラッグして、タイトル クリップを作成することもできます。

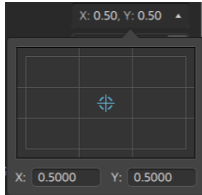




4. ジェネレータの設定を調整するには、クリップ インспекタのコントロールを使用します。

タイトル クリップの編集

1. 編集するクリップを選択します。
2. [インспекタ] ボタンをクリックして、[インспекタ] ペインを表示します。

3. インスペクタで、[クリップ] タブを選択して、選択したタイトル クリップの設定を表示および編集します。

詳しくは、93 ページの "[クリップ インスペクタの使用](#)"を参照してください。

項目	説明
テキスト	クリップで表示するテキストを設定するには、編集ボックスにテキストを入力します。
位置	<p>ドロップダウン リストには、フレーム内のテキストの現在の位置が表示されます。クリックすると、テキストを配置するために使用できる編集コントロールが表示されます。</p>  <p>フレーム内のテキストの位置を設定するには、編集コントロールでポイントをドラッグするか、[X] および [Y] のボックスに値を入力します。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。</p> <p> ポイントを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。</p>
サイズ	<p>テキストのサイズを調整するには、ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグします。</p> <p> スライダを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。</p> <p>トラックバーの端を超えてスライダをドラッグすると、すべてのコントロールのロックを解除できます。値をスライダの範囲外に設定すると、ハンドルが  または  で表示されます。</p>
フォント	ドロップダウン リストからフォントを選択して、テキストに使用するフォントを設定します。
太字	クリックすると、選択したクリップのテキストを太字に切り替えます。
斜体	クリックすると、選択したクリップのテキストを斜体に切り替えます。
配置	<p>ドロップダウン リストから設定を選択して、テキストをテキスト ボックス内にどのように配置し、テキスト ボックスを [位置] の値で指定したポイントに従ってどのように配置するかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ ボックス内のテキストを左揃えにし、テキストボックスの左端を [位置] ポイントに従って配置するには、[左] を選択します。■ ボックス内でテキストを中央揃えにし、テキストボックスの中央を [位置] ポイントに従って配置するには、[センター] を選択します。■ ボックス内でテキストを右揃えにし、テキストボックスの右端を [位置] ポイントに従って配置するには、[右] を選択します。

項目 説明

垂直 ドロップダウン リストから設定を選択して、【位置】の値で指定したポイントに対してどの位置にテキスト ボックスを配置するのかを指定します。

- 【上】を選択すると、テキスト ボックスの上部が【位置】ポイントに従って配置されます。
- テキスト ボックスの中央を【位置】ポイントに従って配置するには、【センター】を選択します。
- テキストが一行の場合にテキストのベースラインを【位置】ポイントに従って配置する場合は、【ベースライン】を選択します。
- テキスト ボックスの下部を【位置】ポイントに従って配置するには、【下】を選択します。

色 色見本をクリックするとカラー ピッカーが表示され、色を選択するかカラー値を入力してテキストの色を設定できます。テキストの透明度（アルファ値）も調整できます。

回転 フレーム内のテキストの角度を調整するには、ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグします。

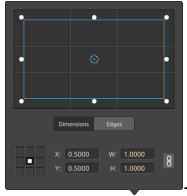
背景

色 色見本をクリックするとカラー ピッカーが表示され、色を選択するかカラー値を入力して背景を調整できます。背景の透明度（アルファ値）も調整できます。

背景色を追加すると、ローワーサード カラー ボックスを簡単に作成できます。

項目 説明

場所 ドロップダウン リストには、フレーム内のビデオの現在の位置が表示されます。クリックすると、フレームの背景のそれぞれの角の位置を設定できる編集コントロールが表示されます。




ボックスの位置の調整

編集コントロールのポイントをドラッグして、フレームの背景の位置を設定します。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。

【サイズ】 タブに値を入力すると、アンカー ポイントを設定し、XY 座標を使用してボックスの位置を指定することができます。たとえば、アンカー コントロールの右上隅をクリックし、座標ポイント 0.5000, 0.5000 を使用して、ボックスの右上隅をコントロールの中心に移動させます。

ボックスのサイズの調整

編集コントロールで矩形の隅をドラッグするか、**【W】** および **【H】** 編集ボックスに値を入力して、フレームのサイズを設定することができます。

【サイズ】 タブに値を入力すると、W/H のサイズを使用してボックスのサイズを設定することができます。**【ロック】** ボタン  をクリックすると、ボックスのアスペクト比が維持されるため、幅または高さを変更すると、他の値も自動的に更新されます。

ボックスのエッジの調整

ボックスの各エッジの位置をそれぞれ指定するには、編集コントロールで矩形のエッジをドラッグするか、**【エッジ】** タブに値を入力します。



アスペクト比を維持したままサイズを変更するには、矩形の隅をドラッグします。

【Shift】 キーを押しながら矩形の隅をドラッグし、サイズの変更とアスペクト比の調整を行います。

【Alt】 キー (Windows) または **【Option】** キー (OS X) を押しながら、中心から矩形のサイズを変更できます。

コントロールを微調整するには、**【Ctrl】** キー (Windows) または **【⌘】** キー (OS X) を押しながらドラッグします。

角を選択すると、矢印キーを使用して選択した角を調整するか、**【Ctrl】** キー (Windows) または **【⌘】** キー (OS X) を押しながら矢印キーを押して微調整を行うことができます。

矩形のサイズを変更するには、矩形のエッジをドラッグします。

項目 説明



アスペクト比を維持したままサイズを変更するには、矩形のエッジをドラッグします。

[Shift] キーを押しながらエッジをドラッグし、サイズの変更とアスペクト比の調整を行います。

[Alt] キー (Windows) または [Option] キー (OS X) を押しながら、中心から矩形のサイズを変更できます。

コントロールを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。

矩形の中心をドラッグすると、サイズを変更せずに移動できます。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。



[Shift] キーを押しながらドラッグすると、水平方向/垂直方向/45 度に動きが制限されます。

コントロールを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。

矩形を選択すると、矩形の位置をコピーして別のクリップに貼り付けることができます。

シャドウ

有効 クリックすると、テキストの背後にシャドウが付きます。

色 色見本をクリックするとカラーピッカーが表示され、色を選択するかカラー値を入力してシャドウの色を設定できます。シャドウの透明度 (アルファ値) も調整できます。

フェ シャドウを背景とブレンドするには、ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグします。

ザー



スライダを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。

オフ シャドウをテキストの中央からオフセットするには、ボックスに値を入力するか、スライダをド

セツ



ラッグします。スライダを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。

アウトライン

有効 クリックして、テキストの周囲のアウトラインを切り替えます。

色 色見本をクリックするとカラーピッカーが表示され、色を選択するかカラー値を入力してアウトラインの色を設定できます。アウトラインの透明度 (アルファ値) も調整できます。

太さ テキストのアウトラインの太さを調整するには、ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグします。





スライダを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。

単色クリップの追加

単色クリップをプロジェクトに追加すると、透明なオーバーレイやグラフィック用の背景、またはフェードにバリエーションを与えることができます。

単色クリップの追加

1. トラックをクリックして選択します。
2. タイムラインの下にある【追加】ボタン  をクリックし、【単色】を選択します。クリップがタイムラインに作成されます。
 単色ジェネレータを [プラグイン] ペインからタイムラインにドラッグして、タイトル クリップを作成することもできます。
3. ジェネレータの設定を調整するには、クリップ インспекタのコントロールを使用します。



単色クリップの編集

1. 編集するタイトル クリップを選択します。
2. [インспекタ] ボタンをクリックして、[インспекタ] ペインを表示します。
3. インспекタでは、[クリップ] タブを選択して表示し、色見本をクリックするとカラー ピッカーが表示され、色を選択するかカラー値を入力してテキストの色を設定できます。色の透明度（アルファ値）も調整できます。
詳しくは、93 ページの "[クリップ インспекタの使用](#)" を参照してください。

色のグラデーションのクリップの追加

色のグラデーションのクリップをプロジェクトに追加すると、透明なオーバーレイやグラフィック用の背景、またはフェードにバリエーションを与えることができます。

色のグラデーションのクリップの追加

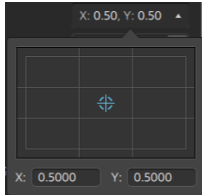

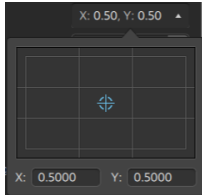

1. トラックをクリックして選択します。
2. タイムラインの下にある【追加】ボタン  をクリックし、【色のグラデーション】を選択します。クリップがタイムラインに作成されます。
 色のグラデーション ジェネレータを [プラグイン] ペインからタイムラインにドラッグして、タイトルクリップを作成することもできます。
3. ジェネレータの設定を調整するには、クリップ インспекタのコントロールを使用します。

色のグラデーションのクリップの編集

1. 編集するタイトルクリップを選択します。
2. [インспекタ] ボタンをクリックして、[インспекタ] ペインを表示します。




3. インスペクタで、[クリップ] タブを選択して、選択したタイトル クリップの設定を表示および編集します。

詳しくは、93 ページの "[クリップ インスペクタの使用](#)"を参照してください。


項目	説明
種類	ドロップダウン リストから設定を選択して、グラデーションの形状を選択します。
センサー	ドロップダウン リストには、フレーム内のグラデーションの現在の位置が表示されます。クリックすると、グラデーションを配置するために使用できる編集コントロールが表示されます。
	
	フレーム内のグラデーションの位置を設定するには、編集コントロールでポイントをドラッグするか、 [X] および [Y] のボックスに値を入力します。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。
	 ポイントを微調整するには、 [Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。
コントロール	ポイントで形成される線の水平面に対する角度を調整するには、ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグします。
コントロール ポイント	
距離	コントロール ポイントの、中央からの距離を調整するには、ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグします。
場所	ドロップダウン リストには、フレーム内のコントロール ポイントの現在の位置が表示されます。クリックすると、ポイントを設定するために使用できる編集コントロールが表示されます。
	
	フレーム内のコントロール ポイントの位置を設定するには、編集コントロールでポイントをドラッグするか、 [X] および [Y] のボックスに値を入力します。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。
	 ポイントを微調整するには、 [Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。
色	色見本をクリックするとカラー ピッカーが表示され、選択したコントロール ポイントで表示する色を選択できます。
削除	選択されているコントロール ポイントを削除します。
追加	新しいグラデーション コントロール ポイントを追加します。

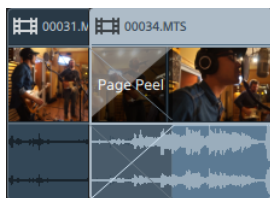
ビデオ トランジションの使用

ビデオ トランジションを使用して、ビデオ イベントの開始または終了の方法を制御したり、イベントが別のイベントに移り変わる方法を変更することができます。



1. トランジションを追加するクリップを選択します。
2. 【プラグイン】ペインを表示するには、Catalyst Edit ウィンドウの上部にある【プラグイン】ボタン  をクリックします。
3. ビデオ トランジションの見出しを拡大します。
4. トランジションをクリックして選択します。
5. 選択したトランジションを選択したクリップの先頭または末尾に追加するには、【トランジション インの設定】  ボタンまたは【トランジション アウトの設定】  ボタンをクリックします。

2 つのクリップがオーバーラップした場合は、トランジションを 2 番目のクリップの先頭に追加してオーバーラップ部分のトランジションを設定します。

 トランジションを【トランジション】ペインから、2 つのクリップ間のオーバーラップ部分にドラッグすることもできます。



6. トランジションの長さを調整するには、フェード ツールを使用します。詳しくは、87 ページの "[クリップ フェード](#)" を参照してください。
7. トランジションの設定を調整するには、クリップ インспекタのコントロールを使用します。詳しくは、93 ページの "[クリップ インспекタの使用](#)" を参照してください。


 プラグインをバイパスするには、【ミュート】ボタン  をクリックします。

プラグインを削除するには、【削除】ボタン  をクリックします。

ピクチャインピクチャ エフェクトの作成

ピクチャインピクチャ エフェクトを使用すると、ピクチャインピクチャ コンポジットのクリップのサイズ変更と配置を行うことができます。

内側のピクチャの作成

1. プロジェクトで2つのトラックを作成します。詳しくは、47ページの "[トラックのプロジェクトへの追加](#)" を参照してください。
2. トラックにクリップを追加します。
 - 上部のトラックに、小さい、内側のピクチャを含めます。
 - 下部のトラックに、背景のクリップを含めます。詳しくは、38ページの "[メディアの追加とクリップの作成](#)" を参照してください。
3. 上部のトラックをクリックして選択します。
4. タイムラインの下にある【トラック】ボタン  をクリックし、【ピクチャインピクチャ】を選択します。ピクチャインピクチャ プラグインのコントロールがトラック インスペクタに表示されます。

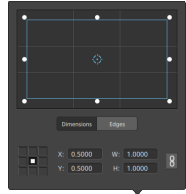
ピクチャインピクチャ設定の編集

1. 上部のクリップを含むトラックを選択します。
2. 【インスペクタ】ボタンをクリックして、【インスペクタ】ペインを表示します。

3. インスペクタでは、[トラック] タブを選択し、ピクチャインピクチャ プラグインの設定を編集します。ピクチャインピクチャ プラグインを使用して、上部のクリップのサイズと位置を調整します。
詳しくは、57 ページの "[トラック インスペクタの使用](#)"を参照してください。

項目	説明
----	----

場所 ドロップダウン リストには、フレーム内のビデオの現在の位置が表示されます。クリックすると、ビデオを配置するために使用できる編集コントロールが表示されます。




ボックスの位置の調整

編集コントロールのポイントをドラッグして、フレーム内のビデオの位置を設定します。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。

【サイズ】 タブに値を入力すると、アンカー ポイントを設定し、XY 座標を使用してボックスの位置を指定することができます。たとえば、アンカー コントロールの右上隅をクリックし、座標ポイント 0.5000, 0.5000 を使用して、ボックスの右上隅をコントロールの中心に移動させます。

ボックスのサイズの調整

編集コントロールで矩形の隅をドラッグするか、**【W】** および **【H】** 編集ボックスに値を入力して、フレームのサイズを設定することができます。

【サイズ】 タブに値を入力すると、W/H のサイズを使用してボックスのサイズを設定することができます。**【ロック】** ボタン  をクリックすると、ボックスのアスペクト比が維持されるため、幅または高さを変更すると、他の値も自動的に更新されます。

ボックスのエッジの調整

ボックスの各エッジの位置をそれぞれ指定するには、編集コントロールで矩形のエッジをドラッグするか、**【エッジ】** タブに値を入力します。



アスペクト比を維持したままサイズを変更するには、矩形の隅をドラッグします。



【Shift】 キーを押しながら矩形の隅をドラッグし、サイズの変更とアスペクト比の調整を行います。

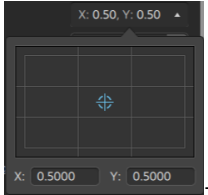

【Alt】 キー (Windows) または **【Option】** キー (OS X) を押しながら、中心から矩形のサイズを変更できます。

コントロールを微調整するには、**【Ctrl】** キー (Windows) または **【⌘】** キー (OS X) を押しながらドラッグします。

角を選択すると、矢印キーを使用して選択した角を調整するか、**【Ctrl】** キー (Windows) または **【⌘】** キー (OS X) を押しながら矢印キーを押して微調整を行うことができます。


矩形のサイズを変更するには、矩形のエッジをドラッグします。

項目	説明
	<p> アスペクト比を維持したままサイズを変更するには、矩形のエッジをドラッグします。</p> <p>[Shift] キーを押しながらエッジをドラッグし、サイズの変更とアスペクト比の調整を行います。</p> <p>[Alt] キー (Windows) または [Option] キー (OS X) を押しながら、中心から矩形のサイズを変更できます。</p> <p>コントロールを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。</p> <p>矩形の中心をドラッグすると、サイズを変更せずに移動できます。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。</p> <p> [Shift] キーを押しながらドラッグすると、水平方向/垂直方向/45 度に動きが制限されます。</p> <p>コントロールを微調整するには、[Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらドラッグします。</p> <p>矩形を選択すると、矩形の位置をコピーして別のクリップに貼り付けることができます。</p>
回転	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、フレームのビデオを回転します。
水平方向にフリップ	クリックしてビデオを水平に反転します。
垂直方向にフリップ	クリックしてビデオを垂直に反転します。
不透明度	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、上部の画像の不透明度を調整します。不透明度を低くすると、下側のトラックのビデオが前景に透けて見えます。
シャドウ	
種類	前景画像の上または後ろにシャドウを付けるには、ドロップダウン リストから設定を選択します。


項目	説明
オフ セツ ト	ドロップダウン リストには、前景画像に対するシャドウの現在の位置が表示されます。クリックすると、シャドウを配置するために使用できる編集コントロールが表示されます。 
	フレーム内のシャドウの位置を設定するには、編集コントロールでポイントをドラッグするか、 [X] および [Y] のボックスに値を入力します。ポイントをダブルクリックするとリセットされます。  ポイントを微調整するには、 [Ctrl] キー (Windows) または [⌘] キー (OS X) を押しながらかドラッグします。
回転	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、フレームのシャドウを回転します。
ス ケー ル	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、シャドウのサイズを調整します。
ブ ラー	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、シャドウのエッジをフェザー処理します。
不 透 明 度	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、シャドウの不透明度を調整します。不透明度を低くすると、下側のトラックのビデオが前景に透けて見えます。
グ ロー	
種類	前景画像の上または後ろにグロー エフェクトを表示するには、ドロップダウン リストから設定を選択します。
量	ボックスに値を入力するか、スライダをドラッグして、グロー エフェクトのサイズを調整します。
色/ セ カン ダ リ カ ラー	色見本をクリックするとカラー ピッカーが表示され、色を選択するかカラー値を入力してシャドウの色を設定できます。シャドウの不透明度 (アルファ値) も調整できます。


キーフレームを使用したビデオ パラメータのアニメーション作成

キーフレームは、タイムライン上で指定されたポイントに関するエフェクトのパラメータの状態を定義します。スムーズなアニメーションを作成するために、中間フレームの設定が補間されます。

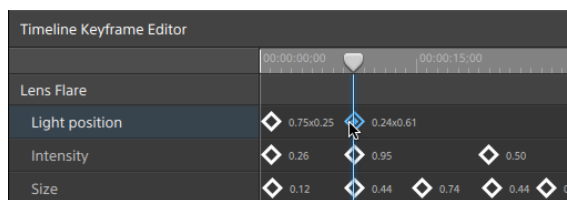
インスペクタの下部にある【**キーフレーム エディタ**】ボタン  をクリックすると、キーフレーム モードに切り替わり、個々のキーフレームのパラメータを編集できます。




キーフレームの追加

[インスペクタ] ウィンドウで、自動化できるパラメータには【**キーフレーム**】ボタン  が表示されます。パラメータのキーフレーム エディタに行を作成するには、ボタンを選択します。

1. プロジェクトにエフェクトを追加します。詳しくは、99 ページの "[ビデオ エフェクトの使用](#)" を参照してください。
2. エフェクトを追加してトラックまたはクリップを選択し、[タイムライン インスペクタ]、[トラック インスペクタ]、または [クリップ インスペクタ] をクリックします。
3. [タイムライン インスペクタ]、[トラック インスペクタ]、または [クリップ インスペクタ] でエフェクトを選択します。
4. インスペクタで、アニメートするパラメータの【**キーフレーム**】ボタン  を選択します。最初のキーフレームが作成され、タイムラインがキーフレーム モードに切り替わります。

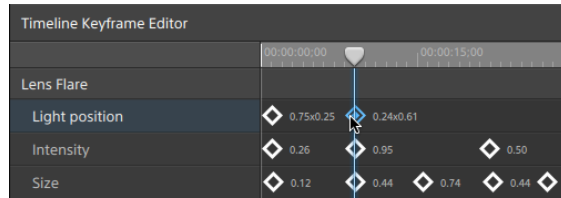
キーフレーム エディタには、キーフレーム化されたパラメータの行が含まれています。






5. キーフレーム エディタで、キーフレームを追加する位置をクリックしてカーソルを置きます。
 キーフレームを追加するには、キーフレーム エディタをダブルクリックするか、キーフレーム エディタの下にあるツールバーの【**追加**】ボタン  をクリックすることもできます。
6. インスペクタで、必要に応じてパラメータのコントロールを調整します。キーフレームがキーフレーム エディタに追加されます。
7. 編集が終わったときにキーフレーム モードを終了するには、インスペクタの下部にある【**キーフレーム エディタ**】ボタン  をクリックします。

キーフレームの編集

1. キーフレームをクリックして選択します。キーフレームの現在の値がキーフレーム エディタに表示されます。




 キーフレーン エディタの下にあるツールバーの【前へ】 ボタンまたは【次へ】 ボタンをクリックします。

2. インスペクタで、必要に応じてパラメータのコントロールを調整します。選択したキーフレームが更新されます。

キーフレームの移動

タイムライン上の位置を変更するには、キーフレーム エディタでキーフレームをドラッグします。

キーフレームの削除

タイムラインからキーフレームを削除するには、キーフレーム エディタでキーフレームを選択して [Delete] キーを押すか、キーフレーム エディタの下にあるツールバーの【削除】ボタン  をクリックします。

オーディオの操作

Catalyst Edit は、柔軟性のあるオーディオ ワークフローを提供します。モノラル、ステレオ、マルチチャンネルのプロジェクトを作成し、各トラックのオーディオ コントロールを使用してミックスを正確に調整します。

オーディオ ボリュームとパン

Catalyst Edit を使用すると、プロジェクト全体のボリュームを制御したり、各トラックのボリュームとパンを調整したり、各クリップのボリュームを調整したりして、プロジェクトのオーディオ ミックスを調整できます。

プロジェクトのボリュームの調整

タイムライン インспекタの【ゲイン】フェーダーは、プロジェクト全体のボリュームを制御します。

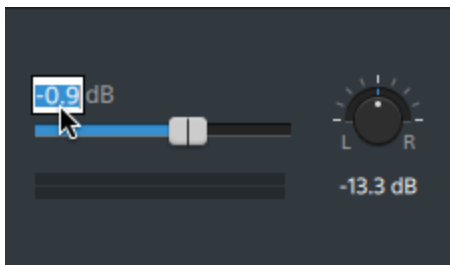
フェーダーをドラッグすると、タイムライン インспекタのメーターと [Catalyst Edit] ウィンドウの上部にあるアクティビティ ペインのメーターが更新されます。

詳しくは、11 ページの "[タイムライン インспекタの使用](#)" と 128 ページの "[オーディオ レベルのモニタ](#)" を参照してください。

トラック ボリュームとパンの調整

各トラックに、プロジェクトのメイン出力に送信されるボリュームを調整するためのコントロールが表示されます。

トラック ヘッダーの【ボリューム】フェーダーではトラックのボリュームを制御し、【パン】ノブではステレオフィールドにおけるトラックの位置を調整します。



トラック インспекタからもトラックの【ボリューム】フェーダーと【パン】ノブにアクセスできるため、トラックで使用するパン モデルを変更できます。

フェーダーとノブをドラッグすると、トラック インспекタのメーターには現在のトラックのレベルが表示され、[Catalyst Edit] ウィンドウの上部にあるアクティビティ ペインのメーターにはプロジェクト全体のレベルが表示されます。

詳しくは、54 ページの "[トラック コントロールの調整](#)" 57 ページの "[トラック インспекタの使用](#)" および 128 ページの "[オーディオ レベルのモニタ](#)" を参照してください。

クリップのボリュームの調整

各クリップには、トラックに送信されるボリュームを調整するためのコントロールが表示されます。

フェード ツールを使用してクリップのゲインを調整できます。



クリップ インспекタからも【ゲイン】フェーダーを使用してクリップのレベルにアクセスできます。


詳しくは、87 ページの "[クリップ フェード](#)" 93 ページの "[クリップ インспекタの使用](#)" および 128 ページの "[オーディオ レベルのモニタ](#)" を参照してください。

マルチチャンネル オーディオの操作

Catalyst Edit を使用すると、カメラのオーディオを使用して、その他のソースのオーディオをプロジェクトに取り込むことが簡単になります。



- タイムライン インспекタのオーディオおよびチャンネル出力コントロールでは、プロジェクトのオーディオ チャンネル数を指定できます。
- トラック インспекタのオーディオ コントロールでは、各チャンネルのパンとレベルを調整できます。
- クリップ インспекタのチャンネル割り当てコントロールでは、クリップのオーディオ チャンネルがトラックのオーディオ チャンネルをフィードする方法を構成できます。


プロジェクト タイムラインのオーディオ チャンネルの設定

1. [インспекタ] ウィンドウ（表示されていない場合）を表示するには、**[インспекタ]** ボタン  をクリックして、[タイムライン] タブをクリックします。
2. ドロップダウン リストの**[チャンネルの設定]** から設定を選択して、モノラル、ステレオ、またはマルチチャンネルのどのプロジェクトを作成するかを選択します。

[マルチチャンネル] を選択する場合は、**[チャンネル数]** ボックスに数値を入力して、マルチチャンネルプロジェクトを作成するチャンネル数を設定します。


3. チャンネル出力コントロールを使用して、タイムラインのチャンネルを設定します。


- a. スピーカー アイコンをクリックして、チャンネルをオン  またはオフ  にします。

 再生中やレンダリング中に、チャンネルをオフにするとミュートになります。たとえば、チャンネル 1 & 2 に英語のダイアログ、3 & 4 にフランス語のダイアログ、5 & 6 にスペイン語のダイアログ、7 & 8 に音楽を含む 8 チャンネルのプロジェクトを作る場合は、ダイアログ チャンネルをオフにして、プロジェクトをプレビューしてから、最終的な 8 チャンネル ファイルを配信用にレンダリングする際にチャンネルをオンにします。詳しくは、14 ページの "[プロジェクトのレンダリング](#)" を参照してください。

- b. **【モノラル】** / **【ステレオ】** ボタンをクリックして、チャンネルがモノラル チャンネルかステレオ ペアの一部かを示します。**【ステレオ】** を有効にすると、チャンネルがリスト内の次のチャンネルとペアになります。

- c. 編集ボックスに名前を入力して、チャンネルを識別します。たとえば、小型マイクからの音声を認識するために、Lav1 と入力することができます。

 タイムライン インスペクタとクリップ インスペクタで同じ名前が付けられているチャンネルは、マッチングされます。

Catalyst Prepare ライブラリ () のクリップを Catalyst Edit タイムラインに追加すると、Catalyst Prepare ライブラリで行ったチャンネル割り当ての設定がクリップに適用されます。

詳しくは、11 ページの "[タイムライン インスペクタの使用](#)" を参照してください。

トラックのオーディオ チャンネルの設定

1. トラック ヘッダーをクリックして、編集するトラックを選択します。
2. トラック ヘッダーおよびトラック インスペクタでは、プロジェクトの出力に対するトラックのミキシングに使用できるコントロールを使用できます。

詳しくは、54 ページの "[トラック コントロールの調整](#)" および 57 ページの "[トラック インスペクタの使用](#)" を参照してください。

- タイムライン インスペクタがモノラル プロジェクトに設定されている場合は、トラックの全体レベルの調整に使用できる青の **【ボリューム】** フェーダー、そしてトラックのミュートやソロ再生に使用できる **【ミュート】** および **【ソロ】** ボタンが各トラックに表示されます。



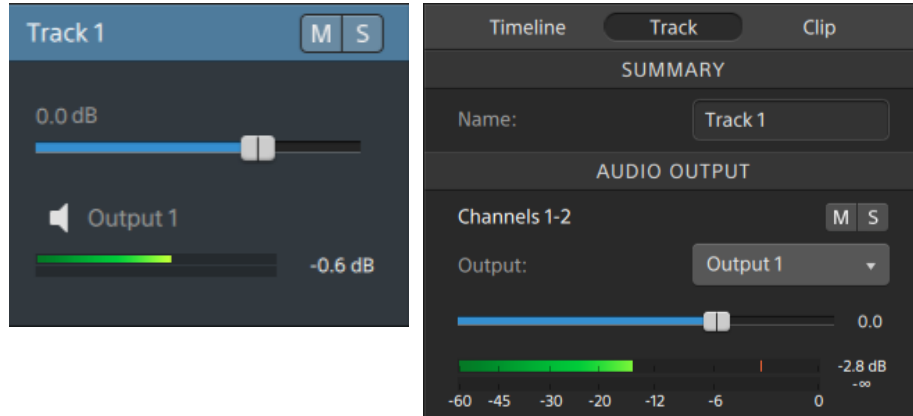
さらに、クリップ インスペクタに割り当てられているチャンネルが複数存在するクリップがトラックに含まれている場合は、トラックのレベルに対するチャンネルの効果を調整する際に使用できるオ

レンジの【ボリューム】フェーダー、そしてチャンネルのミュートやソロ再生に使用できる【ミュート】および【ソロ】ボタンが各チャンネルに提供されます。



- タイムライン インспекタがステレオ プロジェクトに設定されている場合は、トラックの全体レベルの調整に使用できる青の【ボリューム】フェーダー、そしてトラックのミュートやソロ再生に使用できる【ミュート】および【ソロ】ボタンが各トラックに表示されます。

タイムライン出力がステレオの場合、各トラックは、タイムライン出力に対するトラックのパンに使用できる【パン】コントロールを提供します。タイムライン出力がモノラルの場合、各トラックは、タイムライン出力に対するトラックの割り当てに使用できる【出力】コントロールを提供します。



さらに、クリップ インспекタに割り当てられているチャンネルが複数存在するクリップがトラックに含まれている場合は、トラックのレベルに対するチャンネルの効果を調整する際に使用できるオレンジの【ボリューム】フェーダー、そしてチャンネルのミュートやソロ再生に使用できる【ミュート】および【ソロ】ボタンが各チャンネルに提供されます。

タイムライン出力がステレオの場合、各チャンネルは、タイムライン出力に対するチャンネルのパンに使用できるオレンジの【パン】コントロールを提供します。タイムライン出力がモノラルの場合、各チャンネルは、タイムライン出力に対するチャンネルの割り当てに使用できる【出力】コントロールを提供します。

Track 1 M S

0.0 dB

Audio channels

Channel 1 M S

0.0 dB

Output 1 Speaker icon -0.1 dB

Channel 2 M S

0.0 dB

Output 2 Speaker icon -1.3 dB

Timeline Track Clip

SUMMARY

Name: Track 1

AUDIO OUTPUT

0.0 M S

-60 -45 -30 -20 -12 -6 0

-6.5 dB
-7.9 dB

AUDIO CHANNELS

Channel 1 M S

Output: Output 1

0.0

-60 -45 -30 -20 -12 -6 0

-6.5 dB

Channel 2 M S

Output: Output 2

0.0

-60 -45 -30 -20 -12 -6 0

-6.7 dB

- タイムライン インспекタがマルチチャンネル プロジェクトに設定されている場合は、トラックの全体レベルの調整に使用できる青の【ボリューム】フェーダー、トラックのミュートやソロ再生に使用できる【ミュート】および【ソロ】ボタン、そしてタイムライン出力に対するトラックの割り当てに使用できる【出力】コントロールが各トラックに表示されます。

タイムライン出力がステレオの場合、各トラックは、タイムライン出力に対するトラックのパンに使用できる【パン】コントロールを提供します。



さらに、クリップ インспекタに割り当てられているチャンネルが複数存在するクリップがトラックに含まれている場合は、トラックのレベルに対するチャンネルの効果を調整する際に使用できるオレンジの【ボリューム】フェーダー、チャンネルのミュートやソロ再生に使用できる【ミュート】および【ソロ】ボタン、そしてタイムライン出力に対するチャンネルの割り当てに使用できる【出力】コントロールが各チャンネルに提供されます。

タイムライン出力がステレオの場合、各チャンネルは、タイムライン出力に対するチャンネルのパンに使用できるオレンジの【パン】コントロールを提供します。




ボリュームを調整するときは、必ずオーディオメーターを見てください。すべてのトラックのボリュームを追加するので、オーディオ出力がクリッピングしやすくなります。再生中に赤いクリップ記号が表示されないようにしてください。詳しくは、128ページの「オーディオレベルのモニタ」を参照してください。



トラックインスペクタのメーターには、選択したトラックのオーディオレベルと、トラックに効果を与える各チャンネルが表示されます。

[Catalyst Edit] ウィンドウの上部にあるアクティビティペインのメーターには、カーソル位置のすべてのオーディオの合計が表示されます。

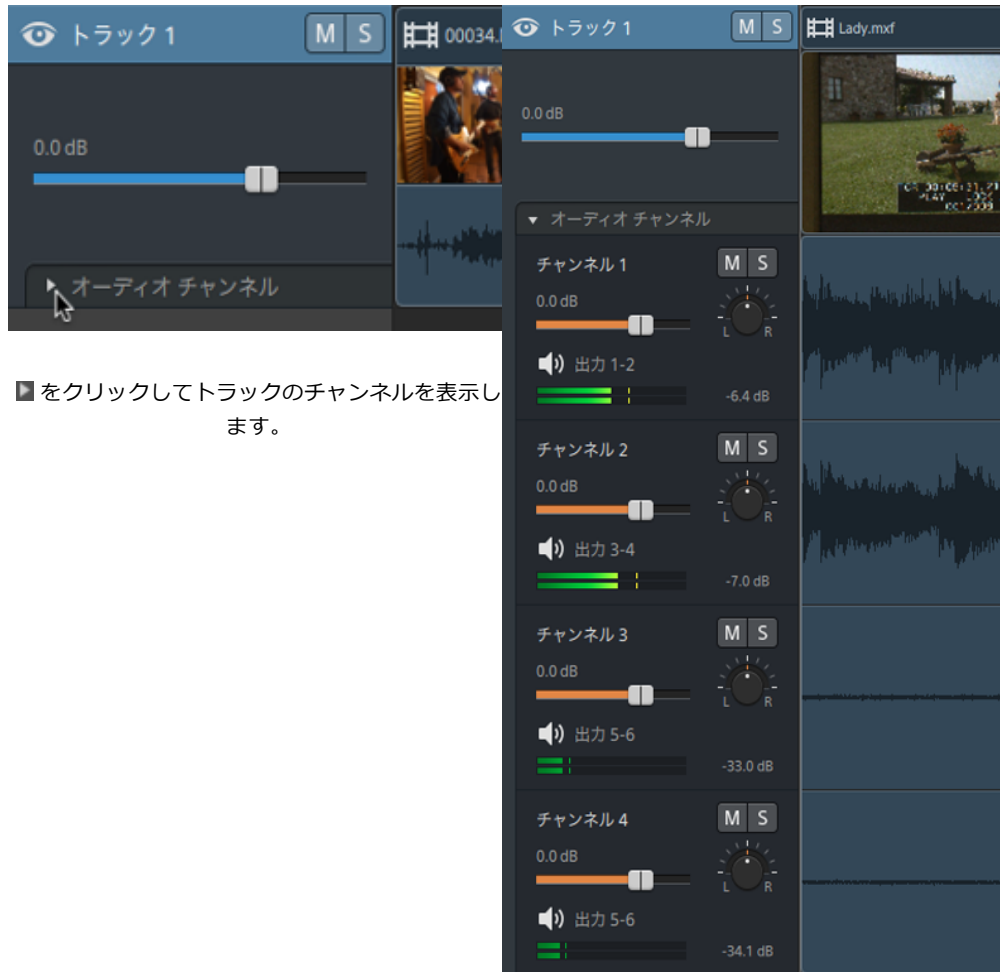
クリップのオーディオチャンネルの割り当て


1. 編集するクリップを選択します。詳しくは、65ページの「クリップの選択とカーソルの配置」を参照してください。
2. [インスペクタ] ウィンドウ（表示されていない場合）を表示するには、[インスペクタ] ボタン  をクリックして、[クリップ] タブをクリックします。

3. [チャンネル割り当て] セクションのコントロールを使用して、クリップのオーディオを設定します。


- a. スピーカー アイコンをクリックして、チャンネルをオン  またはオフ  にします。

各チャンネルは、タイムラインの個別のラインに表示されます。



 をクリックしてトラックのチャンネルを表示します。

- b. **【モノラル】** / **【ステレオ】** ボタンをクリックして、チャンネルがモノラルチャンネルかステレオペアの一部かを示します。**【ステレオ】** を有効にすると、チャンネルがリスト内の次のチャンネルとペアになります。

 モノラルチャンネルでは、トラックヘッダーに**【パン】** コントロールが表示されません。詳しくは、54 ページの "[トラックコントロールの調整](#)" を参照してください。

- c. 編集ボックスに名前を入力して、チャンネルを識別します。たとえば、小型マイクからの音声を認識するために、Lav1 と入力することができます。

トラックのマルチチャンネルクリップが同じチャンネル名を使用している場合、それらのチャンネルはマッチングされます。

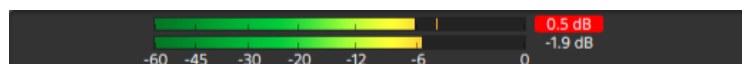
[クリップ] タブで割り当てるチャンネルは、[トラック] タブで使用できます。

オーディオレベルのモニタ

メーターを使用してプロジェクト内のオーディオレベルをモニタし、オーディオ信号がクリップされていないことを確認することができます。

タイムラインメーター

[Catalyst Edit] ウィンドウの上にあるアクティビティペインのメーターやタイムラインインスペクタのメーターには、再生中の瞬間レベルが表示されるため、オーディオ信号の最大音量レベルを特定して、信号がクリッピングしているかどうかを判断できます。このピークレベルは、カーソル位置におけるすべてのオーディオの合計を示します。



タイムライン トラック クリップ

SUMMARY

Name:

VIDEO

Width:

Height:

Pixel aspect ratio:

Frame rate:

Grade in:

AUDIO

Sample rate:

Channel setup:

ゲイン: 0.0 M

-7.4 dB
-6.9 dB

- 再生中は、各チャンネルのカーソル位置のピークオーディオレベルがバーに示されます。
- ピークレベルは、メーターの最後に表示されます。
- 信号が 0.0 dB を超えると、メーターのクリッピングインジケータが赤になります。クリッピングインジケータをクリックするとリセットできます。

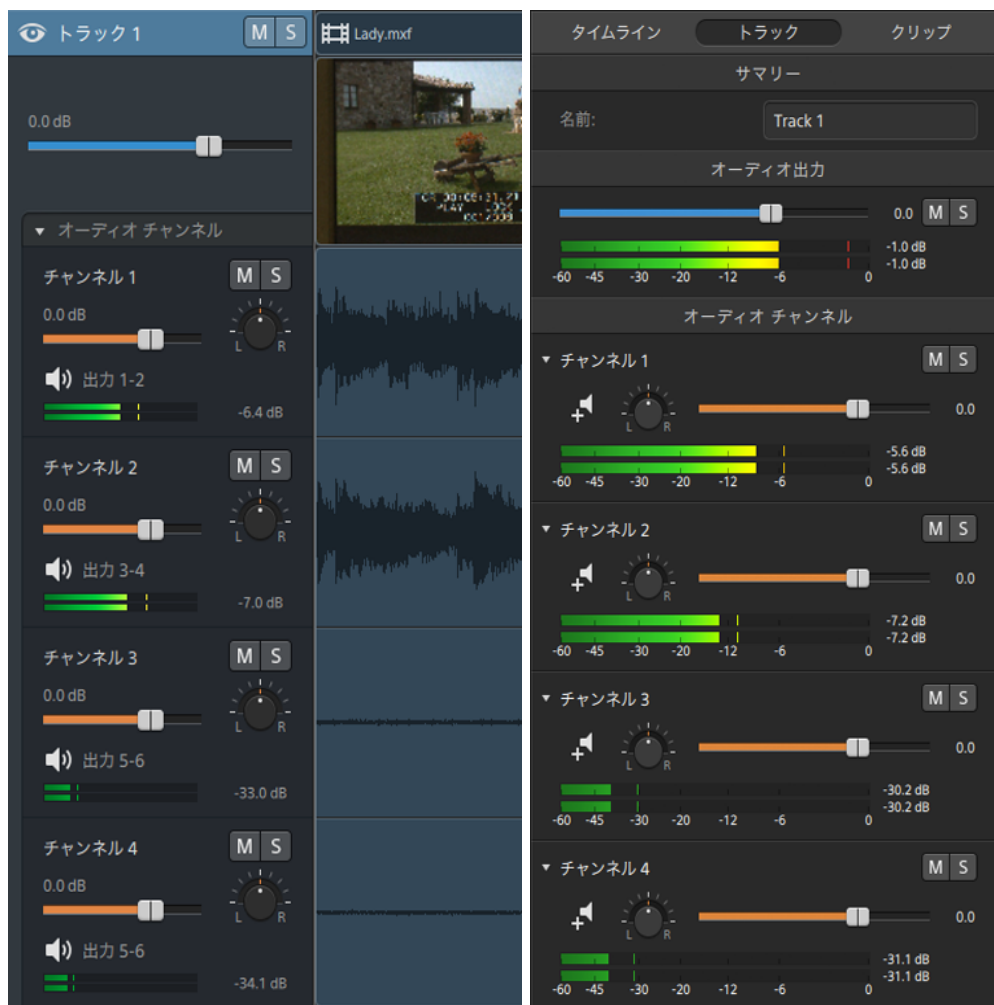


ピークレベルおよびクリッピングインジケータは、再生を開始するとリセットされます。

トラック メーター


トラック ヘッダーおよびトラック インспекタのメーターには、選択したトラックのオーディオ レベルが表示されます。

トラックに複数のチャンネルが存在する場合は、チャンネルごとに個別のメーターが表示されます。



詳しくは、54 ページの "[トラック コントロールの調整](#)" および 57 ページの "[トラック インспекタの使用](#)" を参照してください。


Catalyst Edit オプションの編集

アプリケーション オプションを編集するには、【オプション】ボタン  をクリックします。

オーディオ再生デバイスの選択

再生に使用するオーディオ出力デバイスを選択するには、【オーディオデバイス】ドロップダウン リストから設定を選択します。

オペレーティング システムのデフォルトの再生デバイスを使用する場合や、特定のデバイスを使用するためにドロップダウン リストから別の互換オーディオ デバイスを選択する場合は、【Microsoft Mapper】（Windows）または【システムのデフォルト】（OS X）を選択します。


 再生中にオーディオ デバイスを切り替えると、再生が一時停止され、自動的に再開されます。


（Windows のみ）デバイスが使用できない場合は、【オーディオデバイス】ドロップダウン リストにオフラインで表示されます。デバイスを再接続してから、そのデバイスをもう一度選択すると、ステータスが更新されます。

ビデオ処理デバイスの選択

GPU で高速化されたビデオ再生およびレンダリングを有効またはバイパスするには、【ビデオ処理デバイス】ドロップダウン リストで設定を選択します。

GPU アクセラレーションを無効にする場合には【CPU】を、有効にする場合はいずれかの GPU デバイスを設定します。

 最適な GPU デバイスが自動的に選択されます。この値の変更は上級ユーザー向けで、技術的な問題のトラブルシューティングに役立つ場合があります。

 Intel クイック シンク ビデオ（QSV）テクノロジー内蔵の CPU が搭載されたコンピュータを使用すると、H.264/AVC/MPEG-4 ビデオ ファイルのデコードにおいて処理性能が向上します。

外部ビデオ モニタの選択

Blackmagic Design デバイス経由の外部モニタでビデオのプレビューを表示するには、【外部モニタデバイス】ドロップダウン リストから設定を選択します。

- DeckLink 4K Extreme 12G、4K Pro、4K Extreme、Studio 4K、SDI 4K、HD Extreme、Extreme 3D、および Mini Monitor。
- Intensity Shuttle、Pro 4K、および Pro。
- UltraStudio 4K Extreme、4K、Pro、SDI、Express、および Mini Monitor。


モニタのディスプレイ解像度を選択するには、【モニタ解像度】ドロップダウン リストから設定を選択します。

ビデオ表示の設定

タイムライン上のビデオ プレビューを切り替えるには、【プライマリディスプレイ】スイッチを使用します。

画面上またはセカンダリ モニタ上の任意の場所に配置できるセカンダリ ウィンドウに、ビデオ プレビューを表示する場合は、**【セカンダリ ウィンドウ】** スイッチを有効にします。



プライマリ ディスプレイとセカンダリ ウィンドウを使用してメディア ブラウザからファイルをプレビューする場合は、**【メディア ブラウザの設定】** ボタン  をクリックして [メディア ブラウザの設定] メニューを表示し、**【プライマリ ディスプレイ】** ボタンと **【セカンダリ ウィンドウ】** ボタンを使用します。詳しくは、19 ページの "[メディアの検索](#)" を参照してください。

第 10 章

キーボード ショートカット

ショートカット キーを使用すると、Catalyst Edit ソフトウェアでの作業を簡素化できます。使用可能なショートカット キーは、機能ごとに表に記載されています。

グローバル ショートカット

コマンド	Windows の ショートカット	OS X の ショートカット
メディア ブラウザの表示/非表示	Ctrl+B	⌘-B
インスペクタの表示/非表示	Ctrl+I	⌘-I
セカンダリ ウィンドウの表示/非表示	Alt+V	Option-V
アプリケーション ヘルプを開く	F1	Fn-F1 ([Use all F1, F2, etc. keys as standard function keys] 設 定が選択されている 場合は F1)

プロジェクト ファイルのショートカット

コマンド	Windows の ショートカット	OS X の ショートカット
プロジェクトの作成	Ctrl+N	⌘-N
プロジェクトを開く	Ctrl+O	⌘-O
プロジェクトの保存	Ctrl+S	⌘-S
プロジェクトに名前を付けて保存	Ctrl+Shift+S	Shift-⌘-S

一般的な編集

コマンド	Windows の ショートカット	OS X の ショートカット
取り消し	Ctrl+Z	⌘-Z
やり直し	Ctrl+Shift+Z Ctrl+Y	Shift-⌘-Z

メディアブラウザ

以下のキーボードショートカットは、[メディアブラウザ] ペインにフォーカスがある場合に有効です。

コマンド	Windows の ショートカット	OS X の ショートカット
ファイル/フォルダ内の移動	↑、↓、←、または →	↑、↓、←、または →
ツリー ビューでフォルダを開く/閉じる	←/→	←/→
選択したファイルを削除する	Delete	Delete または fn+Delete
ファイルのロードと再生の開始/一時停止	スペース キー	スペース キー
選択されているフォルダを開く	Enter または Ctrl+ ↓	Return または ⌘+ ↓
1 レベル上へ移動	Backspace	Delete または ⌘+ ↑
マーク イン ポイントの設定	I	I
マーク アウト ポイントの設定	O	O
マーク イン/アウト ポイントに移動	Home End	Home または Fn-← End または Fn-→
クリップの最初/最後に移動	Ctrl+Home Ctrl+End	⌘-Home ⌘-End
前の/次のポイント（最初、マーク イン/アウト、最後）へ移動	Ctrl+ ← Ctrl+ →	⌘-← ⌘-→
選択を上/下に 1 ページ移動	Page Up Page Down	Page Up Page Down

再生とプレビュー

以下のキーボードショートカットは、[ビデオ] ペインにフォーカスがある場合に有効です。



コマンド	Windows の ショートカット	OS X の ショートカット
先頭に移動	Home	Home Fn- ←
マーク アウト タイム（設定されている場合）または最後のクリップの終端に移動	End	End Fn- →
左に 1 ピクセル移動	←	←
前のフレームに移動	Alt+←	Option-←
右に 1 ピクセル移動	→	→

コマンド	Windows の ショートカット	OS X の ショートカット
次のフレームに移動	Alt+→	Option-→
前の/次のルーラーの分割線へ移動	Page Up Page Down	Page Up Page Down
再生の開始/一時停止（ウィンドウにフォーカスがある場合）	Ctrl+ スペース キー F12	Option-スペース キー
再生の開始/一時停止（タイムラインにフォーカスがある場合）	スペース キー	スペース キー
再生の開始/停止（ウィンドウにフォーカスがある場合）	Ctrl+ Enter	Option-Return
再生の開始/停止	Enter	Return
シャトル再生	J/K/L 1x 再生は [J] キーまたは [L] キーを 1 回 押します。 1.5x 再生は [J] キーまたは [L] キーを 2 回押します。 2 x 再生は [J] キーまたは [L] キーを 3 回押します。 4x 再生は [J] キーまたは [L] キーを 4 回 押します。 再生を一時停止するには [K] キーを押しま す。 [K] キーを押しながら [J] キーまたは [L] キーを押すと、シャトル ノブ モード をエミュレートできます。[K] キーを押し ながら [J] キーを押すとノブが左に回り、 [K] キーを押しながら [L] キーを押すと ノブが右に回ります。	
ループ再生の切り替え	Q Ctrl+L	Q ⌘-L
マーク イン ポイントの設定	I	I
マーク アウト ポイントの設定	O	O
前/後/分割/2 アップ間でビデオ プレビューを切り替えます。	1/2/3/4	1/2/3/4
セカンダリ ウィンドウの表示/非表示	Alt+V	Option-V

タイムライン編集

以下のキーボードショートカットは、タイムラインでクリップを編集する場合に有効です。

コマンド	Windows の ショートカット	OS X の ショートカット
選択したクリップを左右に移動	テンキー 4/6	テンキー 4/6
選択したクリップを左右に 1 ピクセルずつスリッ トリミングする	Alt+ テンキー 4/6	Option-テンキー 4/6
編集ツールへの切り替え (タイムラインまたはビデオ プレビューにフォーカスがある場合)	E	E
 一時的に編集ツールに切り替えるには、[E] キーを押し続けます。編集が終わったら、[E] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。		
詳しくは、63 ページの " 編集ツール " を参照してください。		
ロール トリミング ツールへの切り替え (タイムラインまたはビデオ プレビューにフォーカスがある場合)	r	r
 一時的にロール トリミング ツールに切り替えるには、[R] キーを押し続けます。編集が終わったら、[R] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。		
選択ツールへの切り替え (タイムラインまたはビデオ プレビューにフォーカスがある場合)	C	C
 一時的に選択ツールに切り替えるには、[C] キーを押し続けます。クリップの選択が終わったら、[C] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。		
スリッ プ ツールへの切り替え (タイムラインまたはビデオ プレビューにフォーカスがある場合)	P	P
 一時的にスリッ プ ツールに切り替えるには、P キーを押し続けます。編集が終わったら、P キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。		
分割トリミング ツールへの切り替え (タイムラインまたはビデオ プレビューにフォーカスがある場合)	T	T
 一時的に分割トリミング ツールに切り替えるには、[T] キーを押し続けます。編集が終わったら、[T] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。		
フェード ツールへの切り替え (タイムラインまたはビデオ プレビューにフォーカスがある場合)	F	F
 一時的にフェード ツールに切り替えるには、[F] キーを押し続けます。編集が終わったら、[F] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。		

コマンド	Windows の ショートカット	OS X の ショートカット
エンベロープ ツールへの切り替え (タイムラインまたはビデオ プレビューにフォーカスがある場合)	V	V
 一時的にエンベロープ ツールに切り替えるには、[V] キーを押し続けます。編集が終わったら、[V] キーを放すと、前の編集ツールに戻ります。		
ストリームの編集モードに切り替える	Shift+E	Shift-E
 [Shift] キーを押しながら、編集ツール、ロール トリミング ツール、またはエンベロープ ツールでオーディオまたはビデオ ストリームの終端をドラッグして [ストリームの編集] モードを一時的に有効にします。		
選択したトラックの上にトラックを追加	Ctrl+Shift+N	Shift-⌘-N
タイトル クリップの追加	Ctrl+T	⌘-T
マーカーの追加	M	M
すべてのクリップを選択	Ctrl+A	⌘-A
選択したクリップのコピー	Ctrl+C	⌘-C
選択したクリップの切り取り	Ctrl+X	⌘-X
カーソル位置に貼り付け	Ctrl+V	⌘-V
選択したクリップの削除	Delete	Delete
選択したクリップをカーソル位置で分割	S	S
カーソルを前のクリップ/次のクリップに移動する (タイムラインにフォーカスがある場合)	[]	[]
完全にズーム アウト (タイムラインにフォーカスがある場合)	0	0
各ビデオ サムネイルが 1 フレーム表示されるまでタイムをズーム イン	Alt+0	オプション-0
ズーム イン/アウト (タイムラインにフォーカスがある場合)	↑ ↓	↑ ↓
ズーム イン/アウト (タイムラインにフォーカスがある場合)	Ctrl+マウス ホイール上/下 Alt+マウス ホイール左/右	⌘-マウス ホイール上/下 Option-マウス ホイール左/右
トラックの高さを上げる/下げる (タイムラインにフォーカスがある場合)	Ctrl+Shift+ ↑ Ctrl+Shift+ ↓	⌘-Shift- ↑ ⌘-Shift- ↓
垂直にスクロールする	マウス ホイール上/ 下	マウス ホイール上/ 下

コマンド	Windows の ショートカット	OS X の ショートカット
水平スクロール	Shift+マウス ホイール上/下 マウス ホイール左/右	Shift+マウス ホイール上/下 マウス ホイール左/右
スナップの切り替え	F8	F8
すべてのクリップへのスナップの切り替え	Ctrl+Shift+F8	Shift-⌘-F8

ジェスチャ

【メディアブラウザ】ペイン

ジェスチャ	結果
タップ	ファイルを選択してロードします。
ダブルタップ	[ビデオ] ペインでファイルを開きます。
1 本指ドラッグ (タッチスクリーン)	リストを垂直方向にスクロールします。
2 本指ドラッグ (トラックパッド)	
1 本指フリック (タッチスクリーン)	リストを慣性スクロールします。
2 本指フリック (トラックパッド)	

タイムライン

ジェスチャ	結果
タップ	クリップを選択するか、カーソル位置を設定します。
⌘ + 1 本指で垂直方向にドラッグ (Magic Mouse - OS X のみ)	タイムラインを横にズームします。
⌘ + 2 本指で垂直方向にドラッグ (Magic Trackpad - OS X のみ)	
2 本指で垂直方向にドラッグ (トラック パッド)	タイムラインを垂直方向にスクロールします。
1 本指で左右にスワイプ (Magic Mouse - OS X のみ)	タイムラインを横にスクロールします。
2 本指で左右にスワイプ (Magic Trackpad - OS X のみ)	
トラックパッド上で 1 本指でクリップをド ラッグ (Windows 8)	クリップを移動します。
トラックパッド上で 3 本指でクリップをド ラッグ (OS X のみ)	
トラックパッド上で 1 本指でタイムライン またはカーソルをドラッグ (Windows 8)	タイムラインをスクラブします。
3 本指でカーソルをドラッグ (Magic Trackpad - OS X のみ)	

キーワード

.

.aaf 交換 16
.creditprj ファイル
プロパティ 11
開く 9
作成 9
保存 11
.fcpxml 交換 17
.prproj 交換 16
.txt 交換 17

3

3 dB ノッチパン タイプ 59

6

6 dB ノッチパン タイプ 59

A

Adobe Premiere 15
ASR 87
Avid Media Composer 15

C

Catalyst Prepare ライブラリ 94
Ci へのアップロード 20
CinemaScope オーバーレイ 43
CinemaScope オーバーレイの表示 43

F

Final Cut Pro X 15, 17
fx, クリップへの適用 99
fx, タイムラインへの適用 100
fx, トラックへの適用 100

G

GPU アクセラレーション 131

J

J カット 71
JKL シャトル 45

L

L カット 71

M

Media Composer 16

P

Premiere Pro CS6 15-16
Professional Disc のフォーマット 22

S

SxS のフォーマット 22

V

Vegas Pro EDL 15, 17

X

XDCAM Professional Disc のフォーマット 22

ア

アウトラインの色 106
アウトラインの太さ 106
アウトラインを有効にする 106
アスペクト比 11

イ

インスペクタ
[タイムライン] タブ 11
[トラック] タブ 57
クリップ タブ 93

エ

- エクスペローラで表示 20
- エフェクト
 - クリップ 96
 - タイムライン 13
 - トラック 62
- エンベローブ ポイントの追加 89
- エンベローブのフェード カーブ 90
- エンベローブのフリップ 91
- エンベローブの調整 90

オ

- オーディオ チャンネルの一致 13, 96
- オーディオ デバイス 131
- オーディオ マルチチャンネルのレンダリング 14
- オーディオ メーター 128
- オーディオ モード 95
- オーディオのストレッチ 95
- オーディオのみのクリップ 94
- オーディオのみレンダリング 14
- オーディオのレンダリング 14
- オフライン メディア 10

カ

- カーソルの位置 66
- カーソル位置 66
- カスタム サンプル レート 12

キ

- キーフレーム
 - 移動 117
 - 削除 117
 - 追加 116
 - 編集 116
- キーフレーム アニメーション 116
- キーフレームの移動 117
- キーフレームの削除 117
- キーフレームの追加 116
- キーフレームの編集 116
- キーボード ショートカット 133

ク

- グラデーションのアンクル 109
- グラデーションのセンター 109
- グラデーションの種類 109

ク

- クリップ
 - オーディオ ストレッチ 95
 - クロスフェード 67
 - ゲイン 96
 - スナップ 82
 - スリップ 74
 - スリップ トリミング 70, 74
 - ソース オフセット 95
 - トリミング 68, 75
 - フェード 87
 - フェード インの長さ 95
 - プロパティ 93
 - ボリューム 96, 103
 - メディア 93
 - レート 95
 - レベル 87
 - ロール トリミング 70
 - 開始 94
 - 削除 81
 - 終了 94
 - 選択 65, 91
 - 不透明度 87, 95
 - 分割 73
 - 分割 トリミング 69
 - 埋め込み 67
 - 名前 93
- クリップ インспекタ 93
- クリップ エフェクト 96, 99
- クリップ エフェクトの編集 96
- クリップ ストリーム 94
- クリップ フェード 88
- クリップ フォルダ 93
- クリップ ライブラリ 94
- クリップ リスト 85
- クリップに名前を付ける 93
- クリップのコピー 79
- クリップのトリミング 75
- クリップのプレビュー 20
- クリップのボリューム 87
- クリップのレベル 87
- クリップの移動 66
- クリップの作成 38
- クリップの削除 81
- クリップの切り取り 79
- クリップの選択 65
- クリップの貼り付け 54, 79
- クリップの配置 49, 111
- クリップの不透明度 87
- クリップの複数選択 65
- クリップの分割 73

クリップ開始位置のトリミング 68
クリップ終了位置のトリミング 68
グレーディング色空間 12
グレード 12
クロスフェード クリップ 67

ゲ

ゲイン
クリップ 96
マスタ出力 12

コ

コンスタントパワー パン タイプ 59
コントロール ポイントの削除 109
コントロール ポイントの追加 109
コンボジット 49, 111

サ

サウンド デバイス 131
サポートしている形式 23
サムネイル表示 20
サンプル レート 12

ジ

ジェスチャ 139

シ

シャドウの色 106, 109
シャドウを有効にする 106
シャトル コントロール 45
ショートカット 133

ス

スクラブ コントロール 45
ストーリーボード 85
ストーリーボードからインポート 20
ストリーム 94
ストリーム編集 71
スナップ
クリップ 82
フレームに合わせてクオンタイズ 83
スパンされたクリップ, タイムラインへの追加 39
スリップ 74, 95

スリップ トリミング 70, 74

セ

セーフ エリア 43
セーフ エリアの表示 43
セカンダリ ウィンドウ 132
セカンダリ ウィンドウの表示 132

ソ

ソース オフセット
クリップ 95
ソロ
チャンネル 61
ソロ再生
トラック 55, 60

タ

タイトル クリップ 102
タイトル クリップの作成 102
タイムライン アスペクト 77
タイムライン アスペクトに一致させる 77
タイムライン インスペクタ 11
タイムライン エフェクト 13, 100
タイムライン エフェクトの編集 13
タイムライン オーディオ メーター 128
タイムライン プロパティ 11
タイムラインのズーム 38-39, 69, 72
タイムラインのネスト化 85
タイムラインへの追加 38
タイムラインをスクロール 45
タイムライン上の移動 45
タイムライン設定 62, 85
タッチスクリーン ナビゲーション 139

チ

チャンネル マップ 14
チャンネルの数 12
チャンネルの設定 12
チャンネル数 12

ツ

ツール 63

テ

テキスト

- クリップ 102-103
- サイズ 103
- ジェネレータ 96
- フォント 103
- 位置 103
- 回転 104
- 色 104

テキストの追加 102

テキストの編集 96, 102

デ

デフォルト値に設定 90

ト

トラック

- オーディオ メーター 129
- コントロールの調整 54
- プロパティ 57
- ボリューム 55
- 移動 48
- 高さ 62, 85
- 削除 48
- 順序 48
- 追加 47

トラック インスペクタ 57

トラック エフェクト 62, 100

トラック エフェクトの編集 62

トラック オーディオの設定 59, 61

トラックとして追加 47

トラックのパン 56, 58

トラックの移動 48

トラックの削除 48

トラックの追加 47

トラックの並べ替え 48

トラックパッド ナビゲーション 139

トランスポート コントロール 42

ネ

ネスト化されたタイムライン 85

ネスト化されたタイムラインの作成 85

ネスト化されたタイムラインを開く 86

バ

バネ式ショートカット 63, 136

パ

パラメータ キーフレーム 116

パンチイン クリップ 67

パンの種類

 チャンネル 61

 トラック 59

パンの種類の追加 59

ピ

ピクセル アスペクト比 11

ピクチャインピクチャ エフェクト 49, 111

ピクチャインピクチャの編集 49, 111

ヒ

ヒストグラム モニタ 44

ビ

ビデオ エフェクト 99

ビデオ エフェクト アニメーション 116

ビデオ エフェクトをバイパスする 43

ビデオ ジェネレータ 102

ビデオ トランジション 110

ビデオ プレビュー 131

ビデオのみのクリップ 94

ビデオペイン 41

ビデオ処理デバイス 131

フ

ファイナライズ、Professional Disc ボリューム 22

ファイル形式 23

ファインダーで表示 20

フェードアウトの長さ

 クリップ 95

フェードインの長さ

 クリップ 95

フェードカーブ 90

フォーマット、Professional Disc ボリューム 22

フォーマット、SxS 22

フォルダ

 クリップ 93

フォント 103

ブ

- プライマリディスプレイ 131
- フレームレート 12
- フレームに合わせてクオンタイズ 82-83
- プロキシ編集 10
- プロジェクト
 - プロパティ 11
 - 開く 9
 - 作成 9
 - 保存 11
 - プロジェクト オーディオ メータ 128
 - プロジェクト ファイルのバックアップ 9
 - プロジェクト メディアの再リンク 10
 - プロジェクトのエクスポート 15-16
 - プロジェクトのバックアップ 9
 - プロジェクトのレンダリング 14
 - プロジェクトの作成 9
 - プロジェクトの自動保存 9
 - プロジェクトの保存 11
 - プロジェクトを開く 9
 - プロパティの更新 93

ベ

- ベクトルスコープ モニタ 44

ボ

- ボリューム
 - クリップ 96
 - トラック 58, 60
 - マスタ出力 12
- ボリューム、オートメーション 88
- ボリューム、オートメーション | Default.Monaco | [4]
86

マ

- マーカー 84
 - ルーラー 62, 85
 - 位置
 - 位置 84
 - 色 84
 - マーカー ルーラーの表示/非表示 85
 - マーカーに名前を付ける 84
 - マーカーの移動 84
 - マーカーの削除 84
 - マーカーの色の変更 84
 - マーカーの選択 84

- マーカーの追加 84
- マーカー名の変更 84
- マークアウト 22
- マークイン 22
- マークイン/アウトポイントをリセット 46
- マイクロフェード 41, 68, 73
- マスク 2.39
 - 1 43
- マルチチャンネル オーディオ 120

ミ

- ミュート
 - チャンネル 61
 - トラック 55, 60
 - マスタ出力 12

メ

- メーター 128
- メディア 93
- メディア ブラウザ ペイン 19
- メディアの検索 19
- メディアの再生 41
- メディアの置換 10, 91

モ

- モニタ解像度 131

ラ

- ライブラリ
 - インポート 20
 - クリップ 94
 - プロパティ 94
- ライブラリのインポート 20
- ライブラリを開く 20

リ

- リスト表示 20
- リップル同期 57, 81
- リップル編集 81

ル

- ループ再生 42, 46
- ルーラー形式 12

レ

レイヤー クリップ 49, 111
レート
 クリップ 95
レベル 87

ロ

ロール トリミング 70
ローワーサード 104

位

位置, テキスト 103

画

画像シーケンス 14
画像シーケンスのレンダリング 14

回

回転 104

開

開始
 クリップ 94

外

外部モニタ デバイス 131
外部モニタ解像度 131

拡

拡大鏡 42
拡大率 38, 69, 72

格

格子線 44

空

空のトラック 47

固

固定フレーム 95

高

高さ 11
高速フェード (オーディオ) 41, 68, 73

合

合わせる 42

再

再生 42

最

最小値に設定 90
最大値に設定 90
最適な一致 14

次

次のフレーム 42

自

自動フェード 41, 68, 73

斜

斜体テキスト 103

終

終端に移動 42
終了
 クリップ 94

出

出力アスペクト 77

消

消去モード 69

色

色のグラデーション 108
色のグラデーションのアンクル 109
色のグラデーションのクリップの作成 108
色のグラデーションのセンター 109
色のグラデーションの種類 109
色のグラデーションの追加 107-108
色のグラデーションの編集 108

新

新規プロジェクト 9
新規ライブラリ 40

垂

垂直方向の配置 104

水

水平方向の配置 103

先

先頭に移動 42

前

前のフレーム 42

太

太字テキスト 103

単

単色 106
単色クリップの作成 106
単色の編集 107

長

長さ
クリップ 94

停

停止 42

波

波形モニタ 44

背

背景色 104, 109

範

範囲で選択する 65

表

表示モード 20

不

不透明度 87
クリップ 95
不明なメディア 10

幅

幅 11

分

分割トリミング 69
分割画面プレビュー 41, 43, 68, 73

編

編集ツール 63

埋

埋め込みクリップ 67

名

名前を付けてプロジェクトを保存 11

隣

隣接するクリップのトリミング 70

連

連続再生 46

